

# ビル商品取扱い説明書



## ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは、「ビル商品」の操作及びお手入れをしないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

# はじめに

この度トステムのビル商品をご採用いただき、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

ご採用いただきましたサッシ・カーテンウォールの取扱い上の注意事項、及びメンテナンスについての概略説明を記載いたしますので、ご一読くださいますようお願い申上げます。

サッシやドア及びカーテンウォールは、厳しい自然環境や都市環境において、気温、光、風、音といった要素をコントロールしながら生活環境を守り、快適な居住空間をつくっています。採光や換気、遮音などといった機能を、長い時間のなかで保ち続けていかなければなりません。

サッシが普及した現在においては、この快適さは、当然のこととして人々に思われています。少々であっても、開け閉めが重い、動きが悪いなどといったことで不自由さや不満を感じてしまいます。そうしたことのないように、円滑な操作をお約束するためには、お客様の留意や手間が欠かせません。開け閉めといった操作が支障なくでき、いつまでも快適さを保っていただくために、日常の点検・メンテナンス管理をお願い申し上げます。

# 重要なお知らせ

## ご使用の前に

### ●安全のために必ずお守りください。

「ビル商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、システム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「ビル商品」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

警告用語	意味
! <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。
! <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
<b>お願い</b>	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障等につながる場合があります。

# 目次

商品種類	商品名	ページ
■ 共通事項	管理者様向取説 お手入れ方法 台風に備えて 結露を防ぐために 商品保証について 保守委託契約書 ビルネットワーク	1~12
□ フロアヒンジドア	アルミ スチール ステンレス PRO-70シリーズ PRO-100シリーズ EXシリーズ MSシリーズ	13~14
□ 開きドア (框ドア、FD含む) □ 通風ドア	アルミ スチール ステンレス PRO-70シリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ MSシリーズ TBH-70IIシリーズ PROIIシリーズ PRO-SE	15~18
□ ノンレール(框ドア)	PRO-70FS PRO-SE	19
□ スチールドア	開き戸 引き戸	20~23
□ 引違い窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ BL-70BNIIシリーズ BL-70CNIIシリーズ TBH-70IIシリーズ EXシリーズ MSシリーズ TBR-100AT TBR-100TC PRO-SE UNIS TW-70	24~35
□ ノンレール(引違い窓)	PRO-70FS PRO-SE	36~37
□ 引戸	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ MSシリーズ PRO-SE	38
□ 片引き窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ TBH-70IIシリーズ TBR-70AT TBH-100AT EXシリーズ MSシリーズ TBR-100AT TBR-100TC PRO-SE UNIS ワイドシーベUD TW-70	39~41
□ ノンレール(片引き窓)	PRO-70FS PRO-SE	42~43
□ 換気小窓・換気框	PRO-SE PROシリーズ	44~45
□ 下枠換気FIX窓	PRO-SE	46
□ 網戸	可動網戸 固定網戸	47~50
□ 横引き収納網戸	内付け 外付け	51~56
□ 横引きロール網戸	額縁付タイプ テラスタイル	57~64
□ すべり出し窓 □ 突き出し窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ MSシリーズ TBR-100TC PRO-SE	65~66
□ 内倒し窓 □ 外倒し窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ MSシリーズ PRO-SE	67~68
□ 上げ下げ窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-SE	69~71
□ ガラスルーバー	ガラスルーバー PRO-SE	72
□ オーニング窓	PRO-SE	73
□ 排煙窓	ワンタッチ オペレータ	74~77
□ 開き窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ MSシリーズ TBR-100TC PRO-SE	78~80
□ たてすべり出し窓	PRO-70シリーズ PROIIシリーズ PRO-100シリーズ PRO-Rシリーズ EXシリーズ TBR-100TC PRO-SE	81~82

商品種類	商品名	ページ
□ たて軸回転窓	PRO-70シリーズ PRO-100シリーズ TBR-36OFF EXシリーズ TBR-100TC PRO-SE	83~84
□ ブラインド内蔵たて軸回転窓	アルベックス	85~86
□ 横軸回転窓	TBR-36OFF	87~88
□ 横軸回転窓	ホリゾンタルオープン	89
□ 並列内動片引き	インフロント	90
□ 反転窓	プロスイング70 プロスイング100	91~92
□ 出窓	ビル出窓シリーズ	93~95
□ 引違い窓(内窓)	プラウインⅡ	96
□ 開き窓(内窓)	プラウインⅡ	97
□ 嵌め殺し(ケンドン式)	プラウインⅡ	98
□ 窓手すり	PROⅡシリーズ	99
□ 手すり	レールテック(廊下、バルコニー) ベランダ手すり バー手すり ハンドライン	100
□ Vルーバ		101
□ 網付面格子		102~103
□ レポールウィンドウ	ヘーベシーベ 同網戸 キップドリー ブラインドインキップドリー シュビング ブラインドインシュビング ベンデ ブラインドインベンデ	104~121
□ 折れ戸	ウイングオープン	122~126
□ カーテンウォール	EXシリーズ OM テラコッタカーテンウォール	127~132

# 管理責任者様向け取扱い説明書

## ビル用

ご使用いただいている窓や扉等の建材を、安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱い説明書をお読みください。又、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

管理責任者様は、下記事項をお守りください。

(1)次の項目について点検をしてください。

□注意ラベルが汚損又はなくなっていないか点検してください。

→該当する場合は、新しい注意ラベルを弊社へお求めください。

→注意ラベルは、引違い窓、網戸、外開き窓、非常進入口、たてすべり出し窓、反転窓、たて軸回転窓、横軸回転窓等に張付してありますので、ご確認ください。

□引違い窓や網戸には、脱落防止のために外れ止め装置を設けています。

清掃、修繕等の折に外された場合、必ずもと通り調整されているかどうか点検してください。

→もと通りに調整されていない場合は、調整してください。

→調整の方法は、ラベル又は取扱い説明書の方法により行ってください。

□台風、暴風雨等の異常気象が予測される場合、必ず出入口や窓が閉まり、施錠されていることを点検してください。

又、台風、暴風雨等が通過後、出入口や窓に不具合がないかどうか点検してください。

→不具合を発見された場合は、応急処置を行い、弊社へご相談ください。

(2)その他、日常点検において、開閉や施錠等に不具合を発見された場合は、早急に弊社へご相談ください。

(3)保守点検委託契約制度をご利用ください。

□弊社では、保守点検委託契約制度を設けております。

保証期間経過後は、この制度をご利用ください。

## 集合住宅用

ご使用いただいている窓や扉等の建材を、安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱い説明書をお読みください。又、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

管理責任者様は、下記事項をお守りください。

### (1)入居者の方に取扱い説明書を手渡してください。

□弊社では、入居されている方に建材製品を正しく安全にご使用いただくために、取扱い説明書を用意しております。

→入居されている方に確実にお渡しください。

□入居者が入れ替った場合、新しい入居者に取扱い説明書をお渡しください。

→お手元に取扱い説明書がない場合、弊社へ必要部数をお申し付けください。

### (2)共用部分は、管理責任者様が点検してください。

□注意ラベルが汚損又はなくなっていないか点検してください。

→該当する場合は、新しい注意ラベルを弊社へお求めください。

→注意ラベルは、引違い窓、網戸、外開き窓、非常進入口、たてすべり出し窓、反転窓、たて軸回転窓、横軸回転窓等に張付しておりますので、ご確認ください。

□引違い窓や網戸には、脱落防止のために外れ止め装置を設けています。清掃、修繕等の折に外された場合、必ずもと通り調整されているかどうか点検してください。

→もと通りに調整されていない場合は、調整してください。

→調整の方法は、ラベル又は取扱い説明書の方法により行ってください。

□台風、暴風雨等の異常気象が予測される場合、必ず出入口や窓が閉まり、施錠されていることを点検してください。

又、台風、暴風雨等が通過後、出入口や窓に不具合がないかどうか点検してください。

→不具合を発見された場合は、応急処置を行い、弊社へご相談ください。

### (3)入居者が行う点検は、管理責任者様が点検事項を指示してください。

### (4)不具合がありましたらご連絡ください。

□入居者から製品の使用にあたって不具合のお申し出があった場合は、早急に弊社へご相談ください。

### (5)保守点検委託契約制度をご利用ください。

□弊社では、保守点検委託契約制度を設けております。

保証期間経過後は、この制度をご利用ください。

# お手入れ方法(清掃方法)

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

## 1.アルミ・スチール(ステンレス含む)製商品のお手入れ

### お掃除はなるべくマメに

●長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1~2回程度です。

特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

### お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水でぬらしたやわらかい布又はスポンジで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、その後水洗いします。
- ③最後にかたく絞ったやわらかい布又はスポンジで全体をふき取ります。



### お手入れのご注意

- 洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、及びアルコール以外の有機溶剤は、アルミサッシやステンレスなどの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起しますので、絶対に使用しないでください。
- お手入れの際には、やわらかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
- 表面の光沢やツヤが落ちてきたときには、自動車用ワックス(研磨材の少ないもの)を使い、メンテナンスを行ってください。  
光沢やツヤが回復します。(スチール・ステンレス商品は不可)
  - ①ホワイト色にはホワイト専用のワックスをお使いください。
  - ②ブロンズ色にはホワイト以外のワックスをお使いください。
  - ③ツヤ消しのアルミサッシには表面のツヤにムラができますので、ワックスは使えません。
- マジックインキなどが付着したときは、アルコールで軽くこすって除去してください。(化粧鋼板は不可)
- ステンレス製金物部品、網戸のステンレス網も環境条件により放置するとサビ発生のおそれがありますので、定期的な(年1~2回)お手入れをおすすめします。
- 樹脂製部品についても、次頁の樹脂製商品と同様のお手入れをおすすめします。
- 電装部品(電気錠・照明・インターフォンなど)が組み込まれている場合には、電装部品に水がかからないようご注意ください。  
水がかかると、故障するおそれがあります。電装部品に不具合が生じた場合には、最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

## 2.樹脂製商品のお手入れ

断熱商品には性能を高めるため、枠及び障子が樹脂でつくられているものがあります。樹脂の中でも特に酸、アルカリに対して強い材質を選択していますが、長く快適に使用していただくために、樹脂製商品に対して注意すべき点があります。

### お掃除はなるべくマメに

- 樹脂製品の場合、レール部分にたまつた砂やゴミをそのままにして使用を続けると、キズの原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

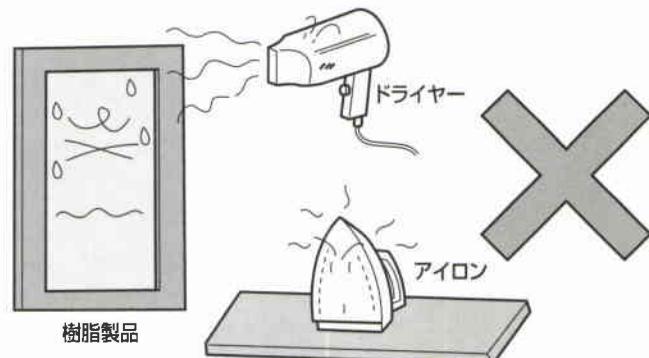
### お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水でぬらしたやわらかい布又はスポンジで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、その後水洗いします。
- ③最後にかたく絞ったやわらかい布又はスポンジで全体をふき取ります。



### お手入れのご注意

- 洗浄剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、及びアルコール以外の有機溶剤は、樹脂部材を溶かしたり、表面と塗膜のはがれを引起こしますので絶対に使用しないでください。
- お手入れの際には、やわらかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
- 樹脂製品にストーブ、ドライヤー、アイロンなどを近づけたり、接触させないでください。
- マジックインキや塗料などが付着すると落ちなくなるのでご注意ください。



### 3.台風に備えて

台風や暴風雨は、サッシの性能を超える風雨を伴うこともありますので、暴風雨圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

#### 台風がくる前に

- 網戸が飛ばされないよう、網戸のはずれ止め部品がかかっていることを確認してください。(取付け方法は本取扱い説明書又は製品ラベルを参照願います)
- 窓やドアを閉めて、必ず錠をかけてください。又、窓やドアの周辺に濡れては困るものを置かないようにして、万一に備えることをおすすめします。

#### 台風がきたら

- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したりドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。特に子様にはご注意ください。
- サッシの性能を超えた暴風雨の場合には、風の吹き方によっては雨水が浸入する場合がありますので、このときは、布きれなどを内部からサッシ枠内に詰めるなど対応してください。

### 4.結露を防ぐために

窓ガラスやサッシ枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止、木部の腐食防止のために、十分に拭き取ってください。

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生し、サッシの不具合ではありません。(室内の環境条件によっては、複層ガラスを使用していてもあるいは断熱サッシを使用していても、結露が発生する場合があります。)

一般的には、秋、冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止のために加湿器をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。特に、新築の家では、使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期に、その水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。

結露を完全に無くすことはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことを心がけてください。

- 換気をこまめに行い、水分を含んだ室内の空気を排出すること。
- 室内で洗濯物を干さないこと。
- 灯油ストーブの上でやかんの湯を沸かさないこと。

# 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの建築会社様、工務店様、販売店様又は、当社お客様担当窓口にご相談ください。

## ■対象商品

ビル用建材商品    住宅用建材商品

## ■保証期間

建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、工事完了後建築主様への引き渡し日とします。

## ■保証内容

取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出したり、あふれ出たりすることです。又、ドアについても強風雨時に扉と枠の間などから雨水が浸入することがありますが、これも商品上の不具合ではありません。

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙・各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかつことによる不具合
- ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

\*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

\*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様担当窓口にお問い合わせください。

\*BL認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。

# 保守委託契約書

印紙

管理部(以下、甲という)  
は、甲が所有(又は管理)するビルに付随する金属製建具とその付属部品の保守業務委託に関し、次のとおり契約を締結する。

※保守委託金

円／年間

- 第1条(目的)…………… 甲が所有する ビルに付随している金属製建具が常に正常な機能を発揮し、甲並びに利用者の満足と信頼を得ることを目的とする。
- 第2条(対象物件)…………… 甲が所有する ビルの金属製建具(ステンレスドア・スチールドア・アルミサッシ・カーテンウォール)とそれに付属する金具・部品(ドアクローザ・オペレーター・錠前など)とする。
- 第3条(保守の範囲)…………… 保守の範囲は、別紙「金属製建具配置図」に符号で図示された金属製建具とする。
- 第4条(保守の内容)…………… 金属製建具の点検・調整を行い、常時、正常な状態で使用できるよう定期点検を年回(　月)実施する(破損部品は別途契約とする)。
- 第5条(検査)…………… 乙は、委託業務が終了したときは直ちに甲に届け出て、検査を受けるものとする。
- 第6条(契約外の業務)…………… 天災地変又は第三者などにより損害を受けたために生じた業務は、その都度甲・乙協議のうえ取決める。
- 第7条(無償貸与)…………… 乙が業務遂行上必要とする電力・水の使用・工具・部品の置き場などは、甲が無償貸与するものとする。
- 第8条(契約の解除)…………… 甲は、必要があるときは乙と協議のうえ、この契約を解除することができる。
- 第9条(請求・支払方法)…………… 甲の規定に従う。
- 第10条(損傷の原状復帰)… 委託業務実施にあたり、乙が故意・過失で甲の建造物、備品などに損傷を与えた場合は、甲に直ちに報告し、乙の責任で原状に復すものとする。
- 第11条(第三者損害)…………… 乙は業務遂行中、第三者に損害を及ぼしその責めが乙に起因する場合は、その損害を賠償するものとする。
- 第12条(災害発生時の処理)… 乙の作業者が業務遂行中に発生した事故などにより蒙った作業者の災害は、乙の責任により処理するものとする。
- 第13条(違法義務)…………… 乙は、委託業務遂行にあたって、労働基準法・労働安全衛生法・建設業法などの関係法令及び甲の指示した事項を遵守しなければならない。
- 第14条(協議事項)…………… 本契約の内容に疑義を生じたとき、又は本契約書に定めのない事項については、その都度、甲・乙協議のうえ決定するものとする。
- 第15条(契約期間)…………… 本契約の有効期間は本契約取決めの日から1年とし、期間満了の1ヶ月前までに甲・乙いづれか一方より文書による解除および変更の意思表示がない場合、本契約は同一条件で自動更新されるものとし、その後も同様とする。

年　月　日

(甲) 会社名 印

所在地〒

電話

(乙) 会社名 支店 印

所在地〒

電話

□札幌支店

〒004-0051 北海道札幌市厚別区厚別中央1条  
7-3-35ビバホーム3F  
TEL 011-896-0792  
FAX011-896-0795

□東北支店

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東4-4-6  
3F  
TEL (代)022-390-5535  
FAX022-287-0811

□北関東支店

〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町  
4-261-1キャピタルビル4F  
TEL 048-601-3121  
FAX048-601-3102

□東関東支店

〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町  
3-2-13  
TEL 043-209-2871  
FAX043-209-2880

□関東第一支店

〒110-0014 東京都台東区北上野1-8-1  
住友不動産上野ビル3号館5F  
TEL 03-3845-7342  
FAX03-3845-7554

□関東第二支店

〒124-0021 東京都葛飾区細田3-8-9  
トステム葛飾ビル本館3F  
TEL 03-5612-3015  
FAX03-3658-6401

□関東第三支店

〒110-0014 東京都台東区北上野1-8-1  
住友不動産上野ビル3号館5F  
TEL 03-3845-7314  
FAX03-3845-7322

□名古屋第一支店

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-2  
第2昭和ビル5F  
TEL 052-223-5950  
FAX052-223-5958

□名古屋第二支店

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-2  
第2昭和ビル5F  
TEL 052-223-5950  
FAX052-223-5958

□関西第一支店

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北  
1-7-62  
TEL 06-6615-2771  
FAX06-6615-2781

□関西第二支店

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島  
3-10-11トステム新大阪ビル4F  
TEL 06-6390-5152  
FAX06-6390-5138

□中四国支店

〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-20-24  
リヨーコーセンタービル7F  
TEL 082-532-8134  
FAX082-532-8135

□九州支店

〒810-0097 福岡県福岡市博多区半道橋  
2-15-10  
TEL 092-415-3939  
FAX092-415-3923

□沖縄支店

〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-4-15  
TEL 098-897-8293  
FAX098-897-8350

□改装東京支店

〒110-0014 東京都台東区北上野1-8-1  
住友不動産上野ビル3号館  
TEL 03-3845-7498  
FAX03-3845-7493

# フロアヒンジドアの取扱い

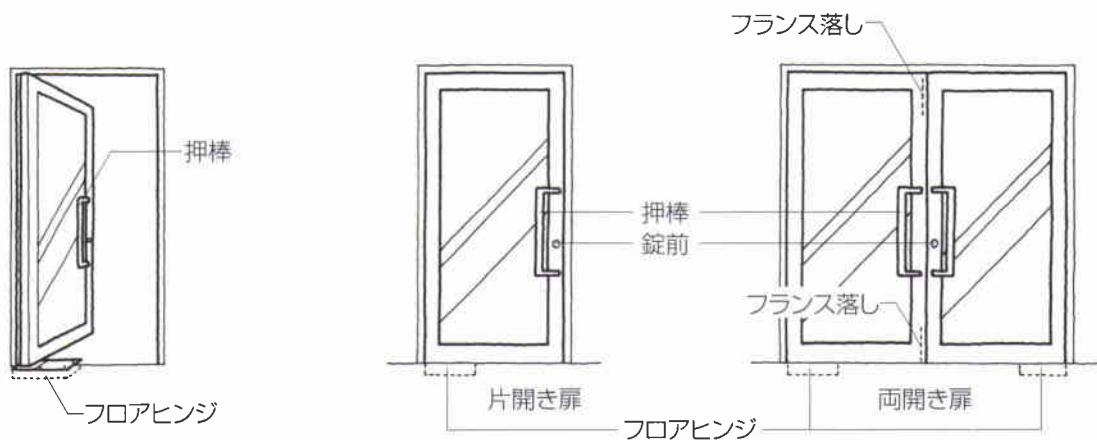
□アルミ □スチール □ステンレス □PRO-70シリーズ □PRO-100シリーズ □EXシリーズ □MSシリーズ

## お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんで大ケガのおそれがあります。特に子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特に子様にはご注意ください。

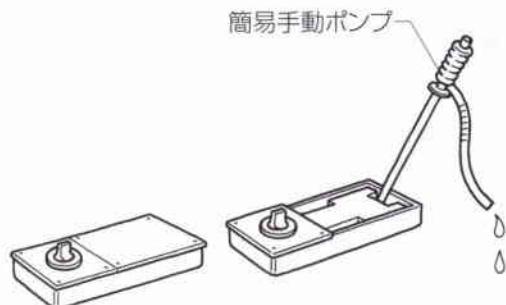
## ■フロアヒンジ(自閉装置)

- 開けた扉を自動的に閉める装置で、ストップ付きとストップなしの2種類の商品があります。(ストップ付きは扉を90°開いたときにのみ自閉装置が働かず、開いたままの状態になります。)
- フロアヒンジは引渡し時に閉鎖スピード調整をしておりますが、使用中に閉鎖スピードが変化してきますので定期的な点検が必要です。又、同室内で扉以外の開口部(窓など)が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなりますので注意してください。



- フロアヒンジが油もれをした場合は、閉鎖スピードの調整が不可能になり危険ですので、交換の必要があります。

※床の清掃時の水洗いや雨水などにより、フロアヒンジ内にたまつた水をそのまま長期間放置されると、フロアヒンジ本体が腐食します。フロアヒンジのプレートを取り外し、簡易手動ポンプなどで水抜きをしてください。(右図)



## ■押棒

- 扉を開閉するための棒で、固定ボルトにより扉に固定されています。押棒にガタつきが発生した場合は、固定ボルトのゆるみが原因です。そのまま使用されますと外れる場合もあり、危険ですので固定ボルトの締付けなおしが必要です。

## ■錠前

### ■日常の簡単なメンテナンスの方法

●力ギの抜差しがスムーズでない場合には、鍵穴専用の潤滑剤を使用願います。鍵穴用パウダー潤滑剤(有料)の設定もありますので、当社お客様担当窓口にご相談ください。

### 【油などは厳禁】

(市販の一般的な潤滑剤(サビ止め)やスプレー式潤滑油やミシン油は、ほこりが付着しやすく故障の原因となります)

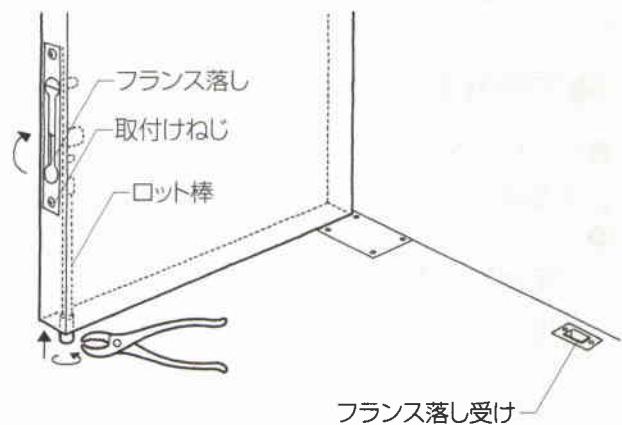
●錠前がガタつく場合には、錠前の取付け用ビスをドライバーで適度に締付けてください。

## ■フランス落し

### ■メンテナンス方法

●両開きの場合には、片側の扉を固定する金具(フランス落し)が上下に取付けられています。固定忘れや破損があると、施錠しても扉が開いてしまいますので確認をしてください。

※フランス落しに破損がなく、動かしても扉の上下がスムーズに開かない場合は、フランス落しのロット棒のゆるみが原因ですので、フランス落しの取付けビスを取り外し、フランス落しを手前に引きながら10mm程度引上げて扉を開いてください。扉を90°まで開き、フランス落しをもと通りに戻して取付け、ロット棒をプライヤーなどで締付けてください。



# 開きドアの取扱い(框ドア・フラッシュドア含む)

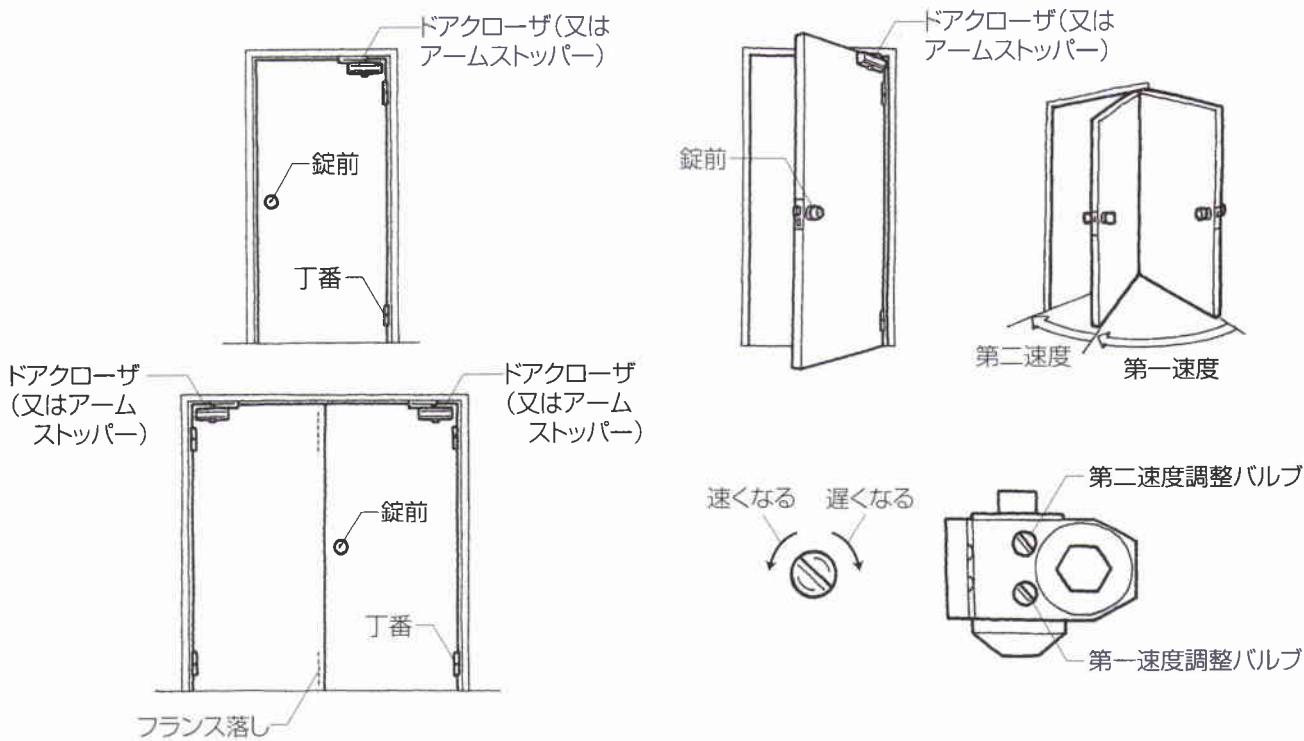
□アルミ □スチール □ステンレス □PRO-70シリーズ □PRO-100シリーズ □TBH-70IIシリーズ  
□EXシリーズ □MSシリーズ □PROIIシリーズ □PRO-Rシリーズ □PRO-SE

## お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんで大ケガのおそれがあります。特に子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。(アームストッパーは簡易固定金具のため、特に注意願います。)
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。  
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。  
特に子様にはご注意ください。

## ■ドアクローザ(自閉装置)

- 開けた扉を自動的に閉める装置で、ストップ付きとストップなしの2種類の商品があります。(ストップ付きは扉を90°開いたときにのみ自閉装置が働かずに、開いたままの状態になります。)
- ドアクローザは引渡し時に閉鎖スピード調整をしておりますが、使用中に閉鎖スピードが変化してきますので定期的な点検が必要です。又、同室内で扉以外の開口部(窓など)が開いていると、風の流動により閉鎖スピードが速くなりますので注意してください。



\*ドアクローザ本体が油もれをした場合は、閉鎖スピードの調整が不可能になり危険ですので、交換の必要があります。

## ■閉鎖速度の調整方法

- ドアクローザ本体の調整バルブ横の1、2番号を確認し、ドライバーで調整してください。  
(調整は、2mm程度の微小な回転で行ってください。)

## ■錠前

### ■日常の簡単なメンテナンスの方法

①カギの抜差しがスムーズでない場合には、鍵穴専用の潤滑剤を使用願います。鍵穴用パウダー潤滑剤(有料)の設定もありますので、当社お客様担当窓口にご相談ください。

### 【油などは厳禁】

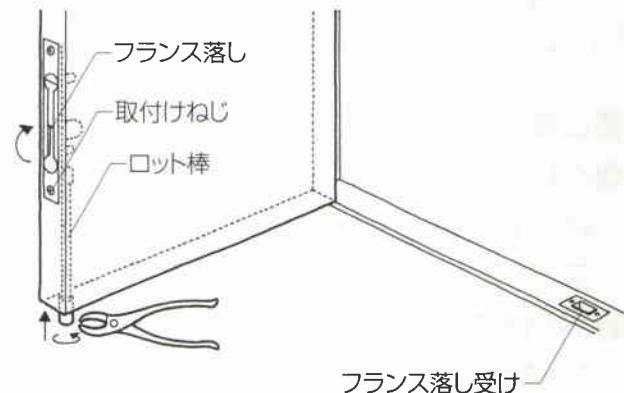
(市販の一般的な潤滑剤(サビ止め)やスプレー式潤滑油やミシン油は、ほこりが付着しやすく故障の原因となります)  
②錠前がガタつく場合には、錠前の取付け用ビスをドライバーで適度に締付けてください。

## ■フランス落し

### ■メンテナンス方法

●両開きの場合には、片側の扉を固定する金具(フランス落し)が上下に取付けられています。固定忘れや破損があると、施錠しても扉が開いてしまいますので確認をしてください。

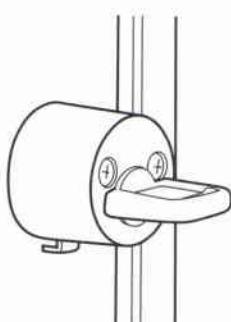
※フランス落しに破損がなく、動かしても扉の上下がスムーズに開かない場合は、フランス落しのロット棒のゆるみが原因ですので、フランス落しの取付けビスを取り外し、フランス落しを手前に引きながら10mm程度引上げて扉を開いてください。  
扉を90°まで開き、フランス落しをもと通りに戻して取付け、ロット棒をプライヤーなどで締付けてください。



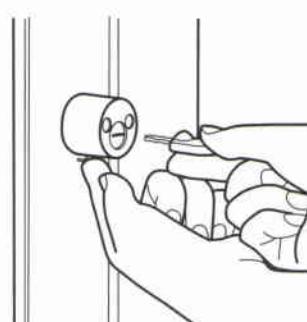
## ■セキュリティサムターン(オプション)

●防犯のため、就寝時や外出時は、室内側のサムターンを取外してください。

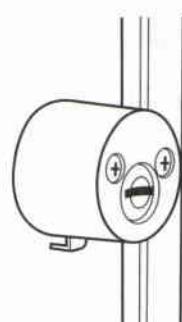
●室内側に付いているサムターンは、ボタンを押すだけで簡単に取外すことができます。万一ガラスを割られて外から手を入れられても、サムターンがないため鍵が開けられないシステムです。(なおサムターンのキーで外部シリンダーは操作できません。)



サムターンが装着されて  
いる状態



シリンダ下部のボタンを  
押すだけでサムターンを取  
外せます。



サムターンを取外した状態

# 通風ドアの取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-SE

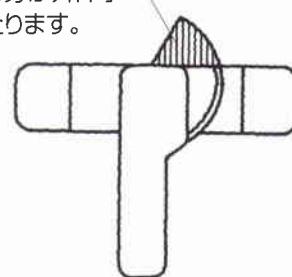
## お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。(アームストッパーは簡易固定金具のため、特に注意願います。)
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。  
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。  
特にお子様にはご注意ください。

## ご使用上のお願い

- クレセントを左に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。実施しないと、障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。
  - 外出やおやすみの際には、上げ下げ窓を全閉しクレセントをかけてください。
- ※ドアクローザの調整方法、錠前のメンテナンス方法は、開きドアの頁をご覧ください。

※この部分が外障子にあたります。



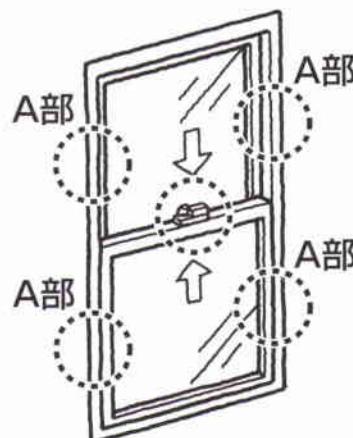
## メンテナンス時のお願い

- 上げ下げ窓部の障子ストッパーは、ガラスの交換以外は外さないでください。外したときは、必ず取付けてください。手や指をはさむ原因になるおそれがあります。
- ※障子ストッパーは、左右両側についています。(下記A部)

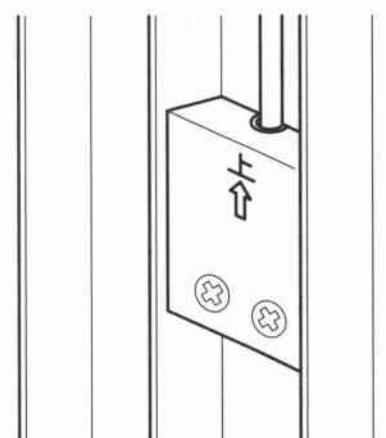
## 障子の開閉

### クレセント方式

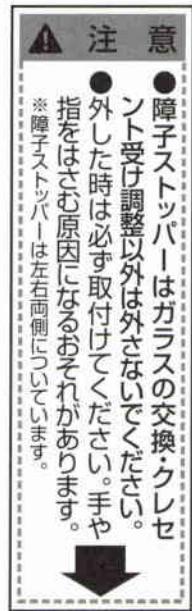
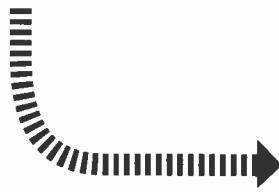
- ①クレセントを左に180°回してください。ロックが解除され、障子が移動可能になります。
- ※クレセントは必ず180°回転させてください。回転させないと障子が当たり、破損します。
- ②閉めるときは、クレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてからクレセントを回してロックしてください。



### A部詳細図



※上下の障子がすれ違わないように、障子ストップバー部品が取付いています。商品に**注意ラベル**を張付けていますので、指示に従ってください。



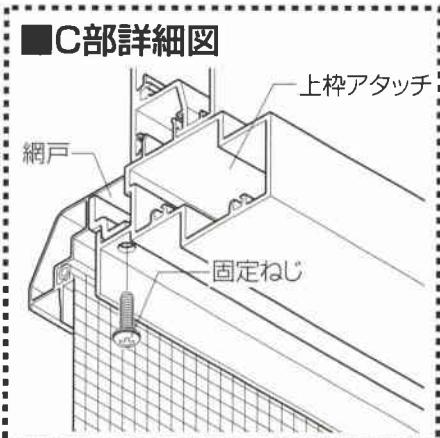
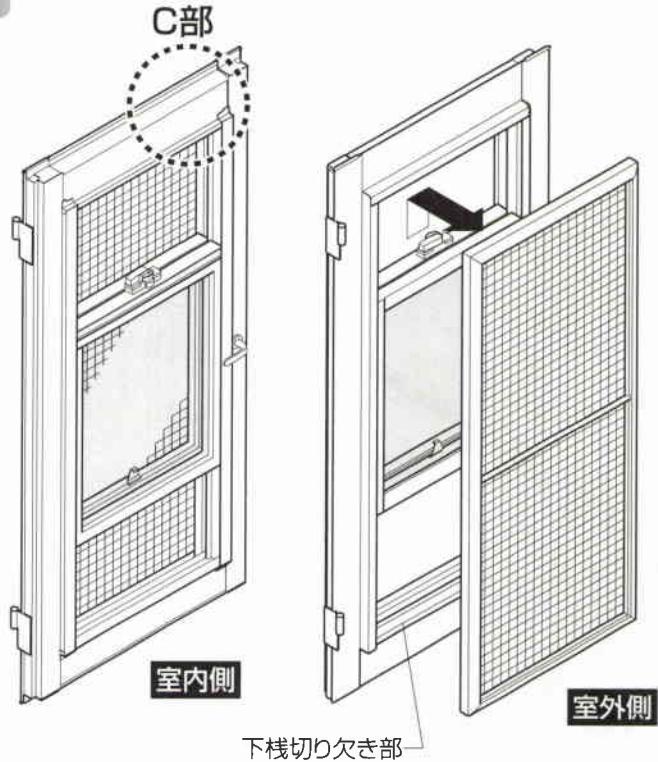
## ■網戸の脱着

### ■網戸を取外すには

- ①窓を開き、室内側から上枠固定ねじを外します。
- ②室外側から網戸の左右をつかみ、持上げながら外します。

### ■網戸を取付けるには

- ①室外側から網戸のフック金具を下桟の切欠きに差込み、網戸を持上げながら上部をかぶせます。
- ②室内側からねじを固定します。



## ■C部詳細図

# ノンレール(框ドア)のメンテナンス方法

□PRO-70FS □PRO-SE

## ■メンテナンス時のお願い

- 清掃時等に下枠アタッチメントを外すときは、小口、下枠の水抜き穴にふれないでください。思わぬケガをするおそれがあります。又、外したアタッチメントは清掃後、すぐにもとの通りに固定してください。歩行中に踏みつけるなどしてケガをするおそれがあります。

## ■お手入れについて

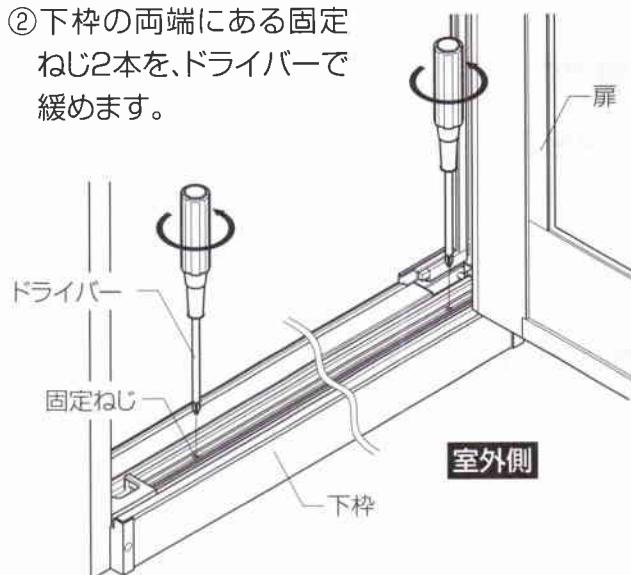
- 日常の清掃は、下枠の上面のゴミを掃除機で吸い取ったり、雑巾がけを行ってください。
- 下枠内にゴミなどがたまってきた場合は、破損や漏水の原因となりますので、下枠アタッチメントを外して下枠及び下枠アタッチメントを掃除機、雑巾、ホースの水などで時々清掃してください。

## ●下枠アタッチメントの外し方

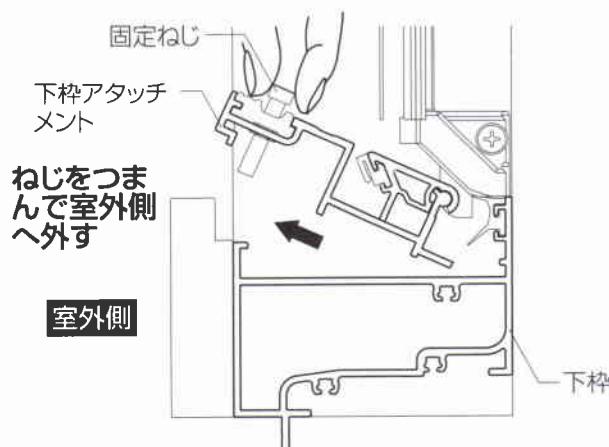
- ①扉を90°以上開きます。



- ②下枠の両端にある固定ねじ2本を、ドライバーで緩めます。



- ③緩めたねじを両手の指先でつまみ、下枠アタッチメントを室外側へ外します。



\*清掃後は逆の手順で、下枠アタッチメントを下枠へ固定します。(固定ねじを確実に締付けてください。)

# 軽量・重量スチールドア(開き戸)の取扱い

## お願い

- ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大ケガをするおそれがあります。特に子様にはご注意ください。
- ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。特に子様にはご注意ください。
- 風の強いときはドアを閉めて、必ず鍵をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ケガやドアの破損につながることがあります。



## その他ご留意いただきたいこと

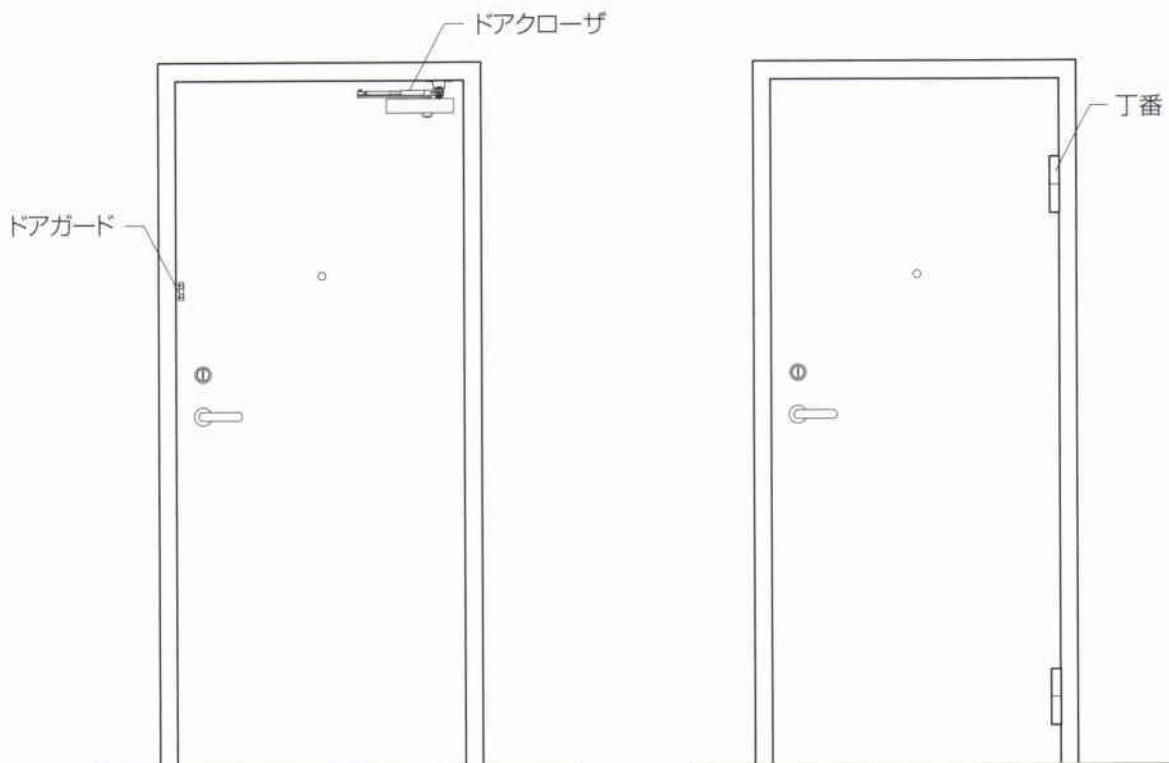
※ご使用にあたっては、以下の点にご留意ください。

- 出入口のドアは、防火設備として使用する場合は、防火管理上いつも閉まった状態にしておくことが必要です。ドアにくさび、ストッパー、ドアガードなどをかませて開放状態にしておきますと、火災発生時、延焼するなど被害の拡大につながるおそれがありますので、開放状態にしないでください。
- 不用意にドア丁番側にくさびなどをかませて開放状態にしますと、ドアの変形や開閉に支障をきたす場合がありますので、絶対にくさびなどをかませないでください。
- 玄関ドアに使用される用心鎖やドアガードは、錠の代用として使用しないでください。用心鎖やドアガードは、来訪者の確認などのために使用する防犯上の補助的な役割を果たす金物です。錠と同様の防犯効果はありません。
- 台風などの暴風雨時にはドアの性能を超えて、雨水が玄関や屋内に浸入することがあります。下枠部分に雑巾やタオルをあてておきますと、吹き込みを防止できます。

## ■困った場合には

●長期間ご使用になりますと、丁番のネジのゆるみ、ドアのがたつきなどの不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。ドアの使用にあたり、異常を感じた場合、次のように対処してください。

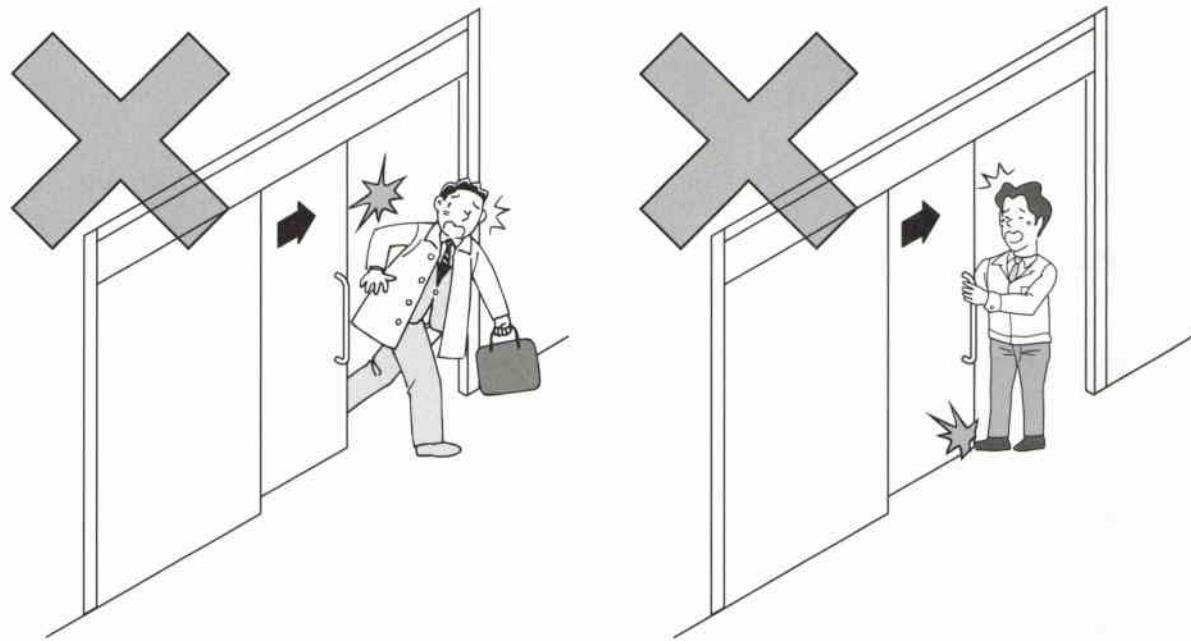
不具合状況	対処
□ドアの開閉速度が変化するなど動きがおかしくなった。	□ドアクローザの不調が考えられます。調整によって直ることがあります。詳細はドアクローザの取扱い説明書をよくお読みの上、調整してください。 ※ドアクローザの取扱い説明書がない場合、弊社までご連絡ください。 ※BLマーク張付商品のドアクローザについては、BL認定の基準として「特殊な工具以外では閉じ速度を調整できない構造とする」となっておりますので、建物管理責任者に依頼してください。
□ドアががたついたり、開閉時に枠にあたる。	□丁番を止めているネジがゆるんでいることが考えられます。このときは、ドアの下に木片をあてがってドアを水平に保持してネジを締め直してください。
□鍵の抜き差しが悪くなつた。	□鉛筆の黒芯の粉(黒鉛粉)を鍵にまぶすか、又は、市販の錠前専用潤滑剤を鍵穴に入れてください。 ※錠前専用以外の潤滑剤は注入後は良くてもほこりを吸着し、かえって動きを悪くするおそれがありますので、使用しないでください。



# 軽量・重量スチールドア(引き戸)の取扱い

## お願い

- 扉は自動的に閉まります。扉が閉まりかけているときの出入りはしないでください。
- 扉は上吊であるので、扉下部と下枠の間にすき間があります。扉の下部に足を置かないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

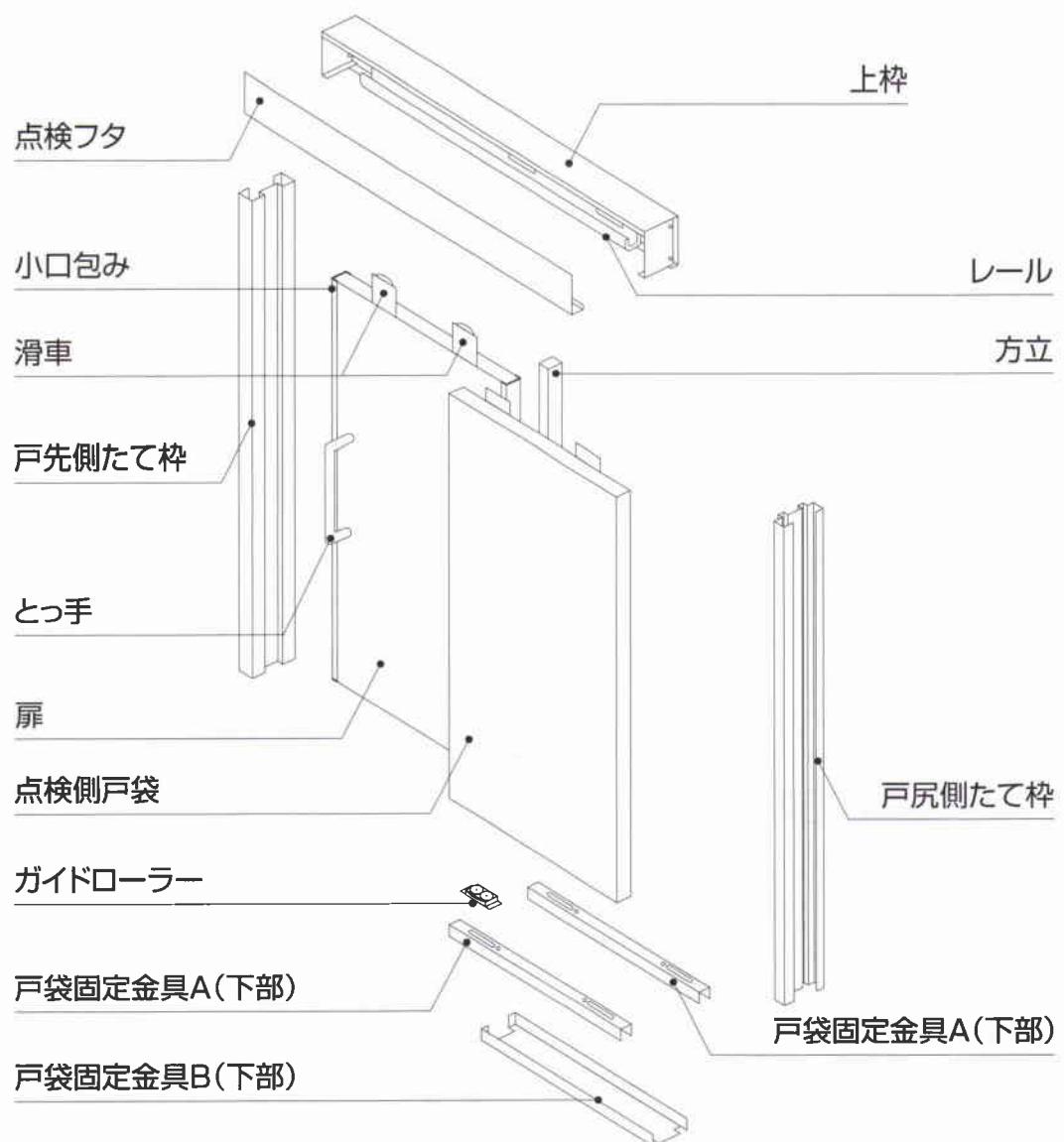


## ■その他ご留意いただきたいこと

※ご使用にあたっては、以下の点にご留意ください。

- 出入口のドアは、防火設備として使用する場合は、防火管理上いつも閉まった状態にしておくことが必要です。ドアにくさび、ストッパーなどをかませて開放状態にしておきますと、火災発生時、延焼するなど被害の拡大につながるおそれがありますので、開放状態にしないでください。
- 出入口のドアに使用される用心鎖は、錠の代用として使用しないでください。用心鎖は、来訪者の確認などのために使用する防犯上の補助的な役割を果たす金物です。錠と同様の防犯効果はありません。
- 台風などの暴風雨時にはドアの性能を超えて、雨水が玄関や屋内に浸入することがあります。下枠部分に雑巾やタオルをあてておきますと、吹き込みを防止できます。
- 扉を開放した状態で錠前を動かし、鎌又はロット棒を出したままにしないでください。扉を閉めたときにたて枠と当たり、故障の原因になります。
- 点検フタは、装置の機能をそこなう可能性があるので、絶対に開けないでください。

## ■主要部材名称



## ■錠

扉を開いて  
いる時は錠  
を出したま  
まにしない  
でください。



## ■ロット錠

扉を開いて  
いる時はロッ  
ト棒を出した  
ままにしない  
でください。



# 引違窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-100シリーズ □TBH-70IIシリーズ □BL-70BN・II □BL-70CN・II  
□EXシリーズ □MSシリーズ □TBR-100TC □TBR-100AT □PRO-Rシリーズ □PRO-SE □UNIS □TW-70

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・お手入れなどでガラス障子を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

### ■ご使用上のお願い

#### 【クレセント操作について】

- クレセントを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。実施しないと障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。(図1)(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)
- 窓を閉めてクレセントを施錠しないと、サッシの諸性能(耐風圧、気密、水密等)は保持できません。
- グレモン方式の場合は、一般クレセントと比べて、作動が重くなります。これは機構上によるもので、不具合ではありません。

#### 【障子開閉について】

- 開閉操作は引手部に手をかけてゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やケガにつながります。
- 4枚建障子を開け閉めするときは、施錠されているクレセントに強い衝撃を与えないようしてください。クレセントおよび受が破損するおそれがあります。(図2)
- 障子を開けるときに障子ストッパーに強い衝撃を与えないでください。障子や部品の変形・破損が生じたり、それによるクレセントの施解錠が困難になるなどのおそれがあります。

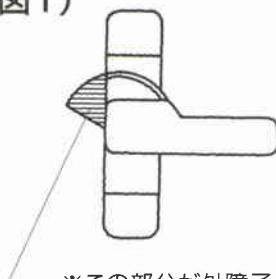
#### 【お手入れについて】

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。(図3)
- 空かけ防止付クレセントのトリガー部は、時々汚れを布で拭き取ってください。ハンドルの開閉時に引っ掛かりが発生する場合があります。

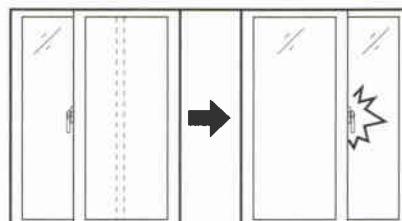
#### 【こんなときには】

- レンジフードや換気扇を作動させると、サッシから音なりや風の流入が発生する場合があります。これは建物全体の気密性が高く、換気量が大きい場合に起きる現象で、サッシの欠陥ではありません。適切な吸排気口の設定や、サッシを少し開けるなどの対応をお願いします。(24時間換気している場合も同様で、サッシから漏気する場合があります。)

(図1)

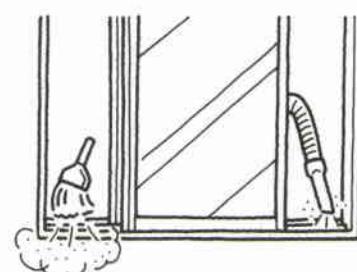


(図2)



※強く閉めないでください。

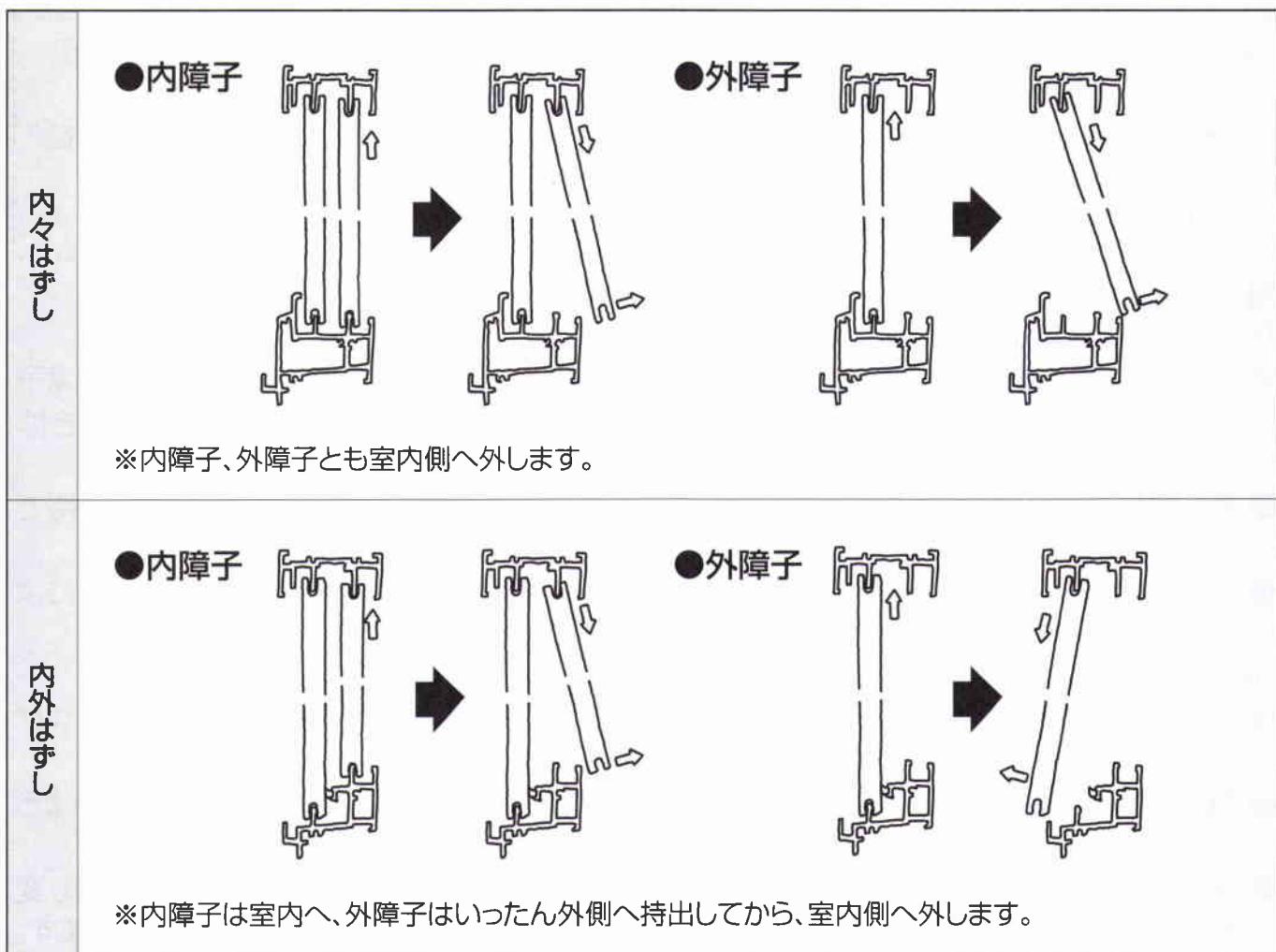
(図3)



※バリアフリー用下枠のときは、掃除機で清掃してください。

## ■障子の外し方

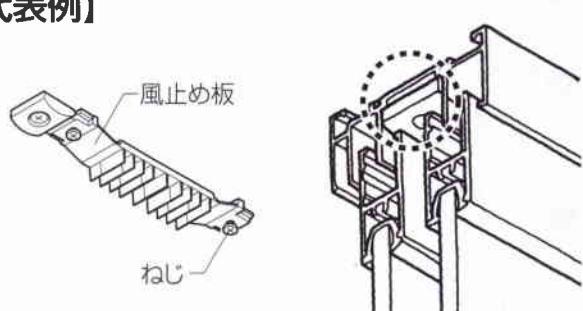
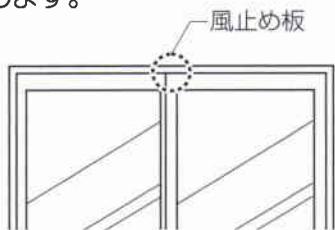
- 引違い窓の障子は内々はずし・内外はずし方式を採用しています。



## ■風止め板

### 【代表例】

- 召合せ上部からの風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、樹脂製又はゴム製の部品です。  
※障子の脱着時にずらしたときや、位置がずれていたときは、もとの位置にもどしてください。水密、気密性能に影響します。



## ■外れ止め部品のセット

- 外れ止め部品は障子の落下を防止するために、取付けられている部品です。必ずセットしてください。
- PRO、TBHなどのバリアフリータイプや下記以外の商品は、外れ止め形式が異なりますので商品張付の本体表示ラベルの指示を必ずお守りください。

商品名	外れ止め位置(商品上)	(商品形状と部位)	セット方法
PRO-100 シリーズ			<p>※商品に本体表示ラベルを張付してありますので、よくお読みのうえ その指示を必ずお守りください。</p>
TBH-70Ⅱ シリーズ TW-70	外障子用 		
PRO-SE PRO-70 シリーズ PRO-II シリーズ BL-70BN-II BL-70CN-II PRO-R シリーズ			
UNIS			
MSR-N MS-70N			<p>下げるとき障子の脱落のおそれがあります。</p>

## ■本体表示ラベルの表示例(PRO-SE)



## ■障子の外し方(PRO-SE・PRO-70・PRO-IIシリーズ 引違い(内外外し))

- 障子を外すときは、以下の手順で実施してください。
- 障子の建込みは、以下と逆の手順で実施してください。
- 障子建込み後、風止め板が中央に①ねじで固定されていることを確認してください。

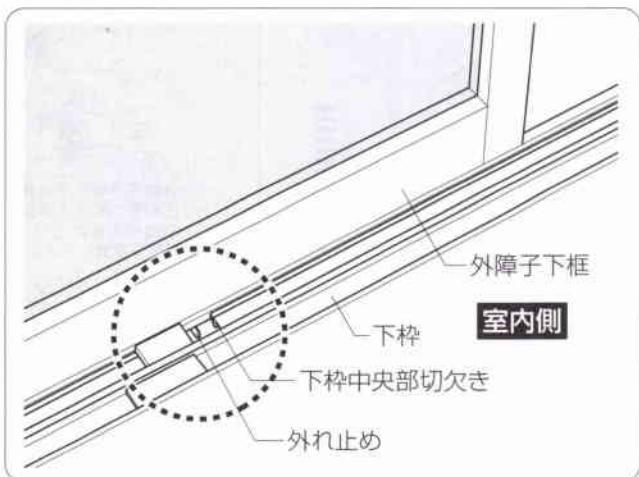
①上枠の風止め板を①ねじをゆるめて左端へ移動します。



②内障子を持上げて室内側へ外します。



③外障子下框中央の外れ止めを、下枠中央の切欠きに合わせます。



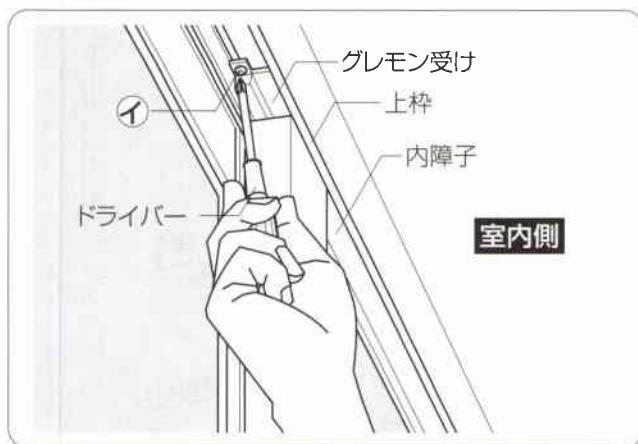
④外障子を持上げ、室外側へ外します。



## ■障子の外し方(TBH-70Ⅱシリーズ・TW-70 引違い)

- 障子を外すときは、以下の手順で実施してください。
- 障子の建込みは、以下と逆の手順で実施してください。
- 障子建込み後、グレモン受、外れ止めが上枠中央に①ねじで固定されていることを確認してください。

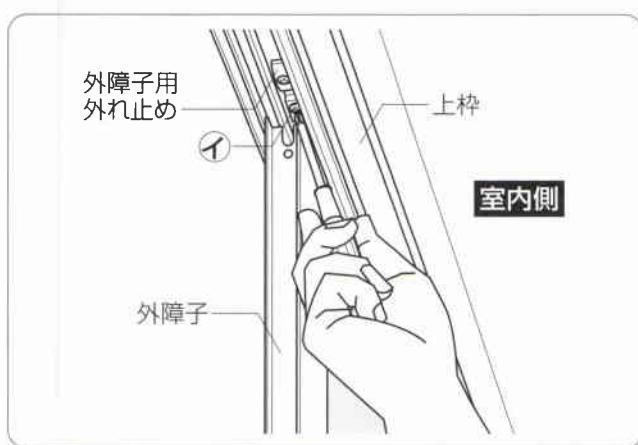
①上枠中央(内障子側)のグレモン受の①ねじをゆるめて左端へ移動します。



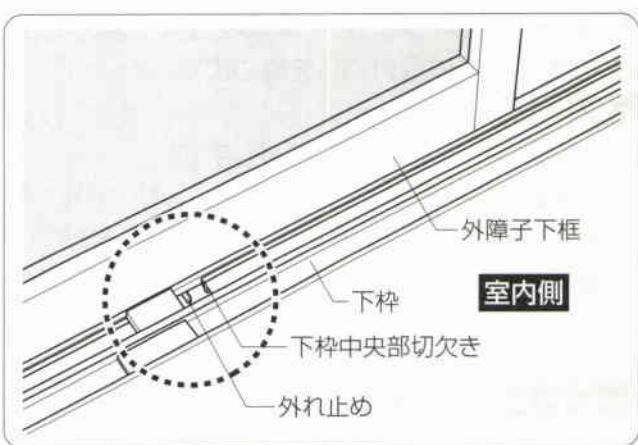
②内障子を持上げて室内側へ外します。



③上枠中央(外障子側)の外障子用外れ止めの①ねじをゆるめて、左端に移動します。



④外障子下框中央の外れ止めを、下枠中央の切欠きに合わせます。

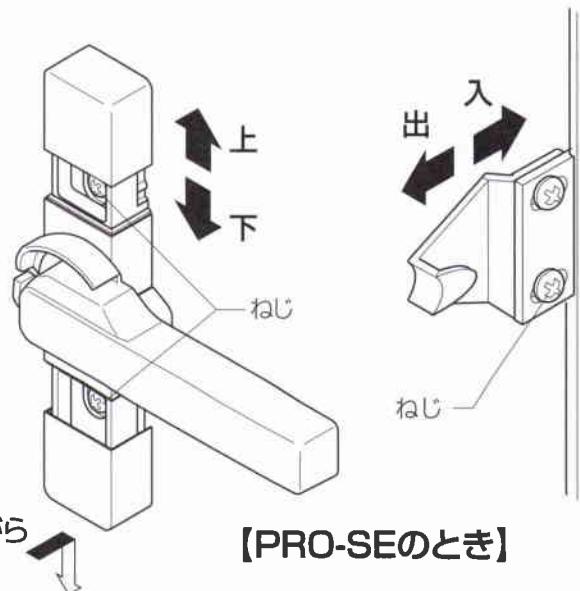


⑤外障子を持上げ、室外側に外します。



## ■クレセントのかかり調整

- クレセントのかかりが悪くなったら、クレセント本体のキャップをずらしてねじをゆるめ上下調整するか、クレセント受のねじをゆるめて、出入調整をすることで、クレセントのかかりを調整することができます。



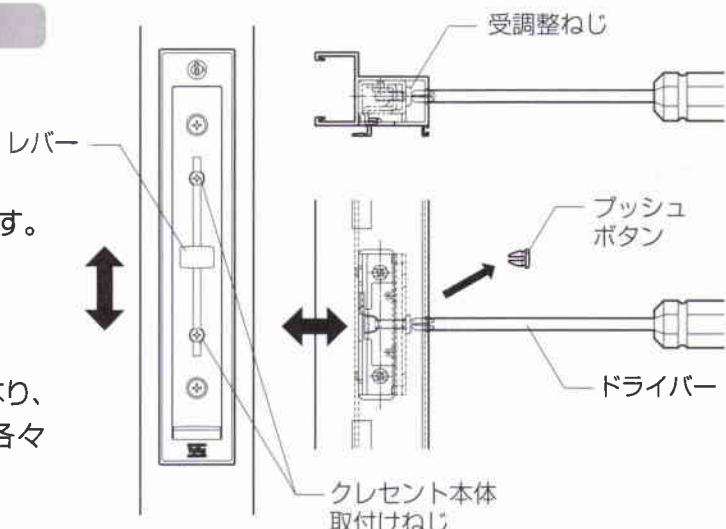
## ■内蔵クレセントのかかり調整

### ■クレセント本体

- ①カバーを下げてレバーを水平にします。
- ②クレセント本体取付けねじをゆるめます。
- ③レバーを持ってクレセント本体を上下に動かします。
- ④クレセント本体取付ねじを締めます。

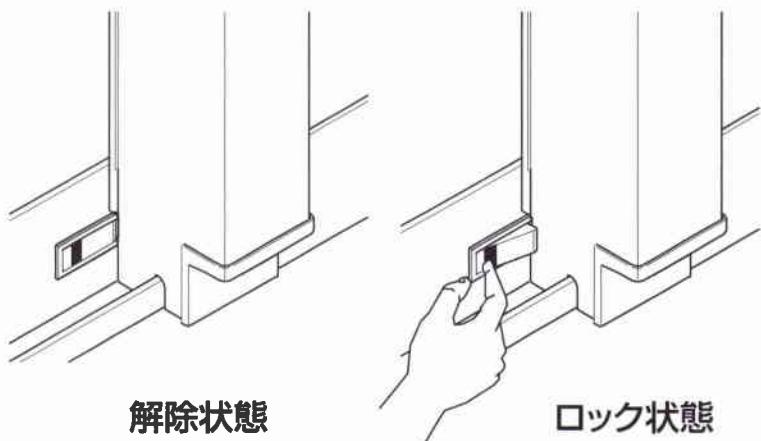
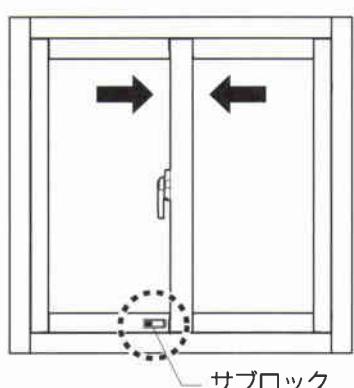
### ■クレセント受

- ①召外框のプッシュボタンを外します。
- ②受調整ねじを時計回りに回すと引分けが強くなり、反時計回りに回すと引分けが弱くなります。(各々2mm調整可能)



## ■サブロックの操作方法

- ①サブロックを押すことでロック状態にできます。
  - ②ロック状態を解除するときは、起き上がっている部分を押してください。
- 防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めて、クレセントとサブロックの両方をかけてください。



## ■クレセントの操作と種類(代表例)

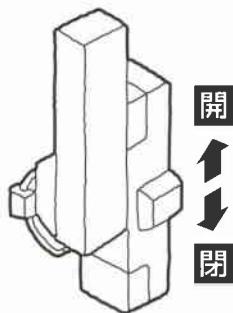
### ■シングルロック

- 標準型のクレセントでハンドルを180°回転させることにより、施錠/解錠することができるタイプです。



### ■ダブルロック

- クレセントの横についているボタンを上下に動かすことにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



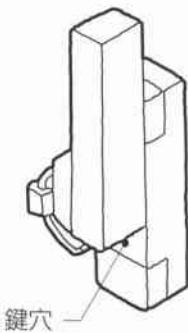
### ■ダブルロック

- 自動的にハンドルのロックがかかるタイプです。内々のツマミを押しながら解錠します。(MSシリーズの一部に使用)

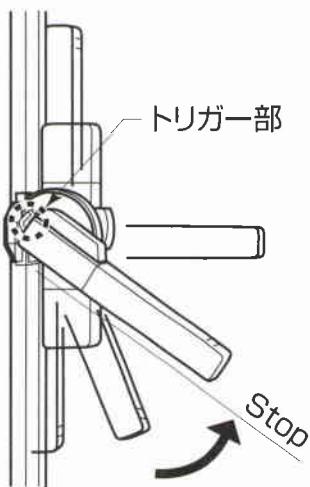


### ■キー付き

- クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。

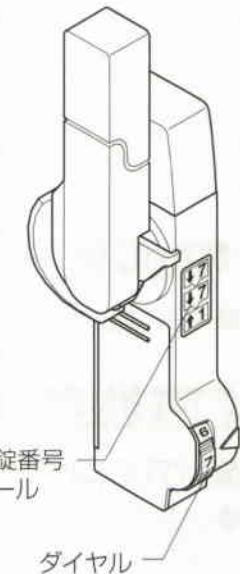


### ■空かけ防止付き (トリガー付)



### ■ダイヤルロック付き

- 解錠:解錠番号シールの上から順番の「方向」と「番号」にダイヤルを回して合せることで、クレセントが解錠できます。
- 施錠:クレセントをかけて、ダイヤルを1回転ほど回すとロック状態になります。



障子が最後まで閉まっていない場合、トリガーが受けに押されないためクレセントが回らず、無締まりを防止します。

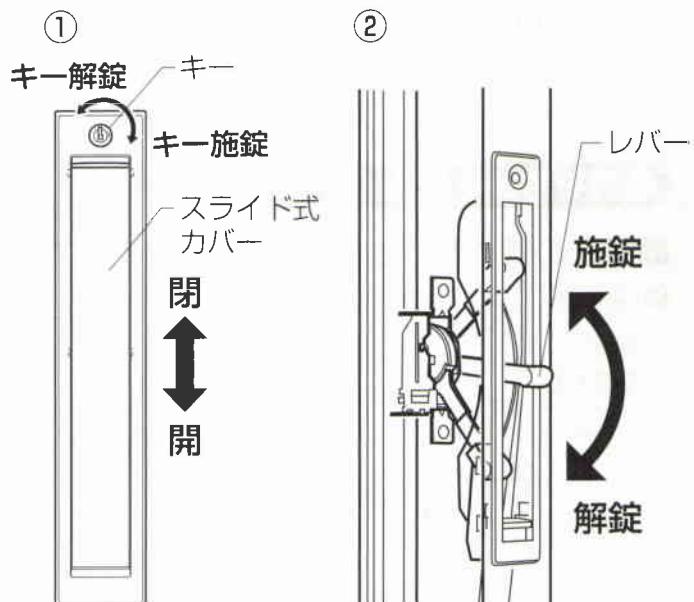
### ■内蔵式クレセント(キー付)

- クレセントを召合せ框に内蔵し、すっきりとした意匠を実現しました。外部からはクレセントが見えないため防犯性も向上します。

※召合せ框見付け寸法は60mmのみの設定になります。

- ①解錠はカバーを開けて、レバーを下へ下げます。
- ②施錠はレバーを上へ上げてからカバーを閉めます。
- ③キーを90°右に回すとカバーがロックされ開かなくなります。

注)施錠は召合せ框を内外そろえてから行ってください。トリガー付ですので召合せ框をそろえないと施錠できません。



## ■PRO-SE キー付クレセント操作方法

- キー付クレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。

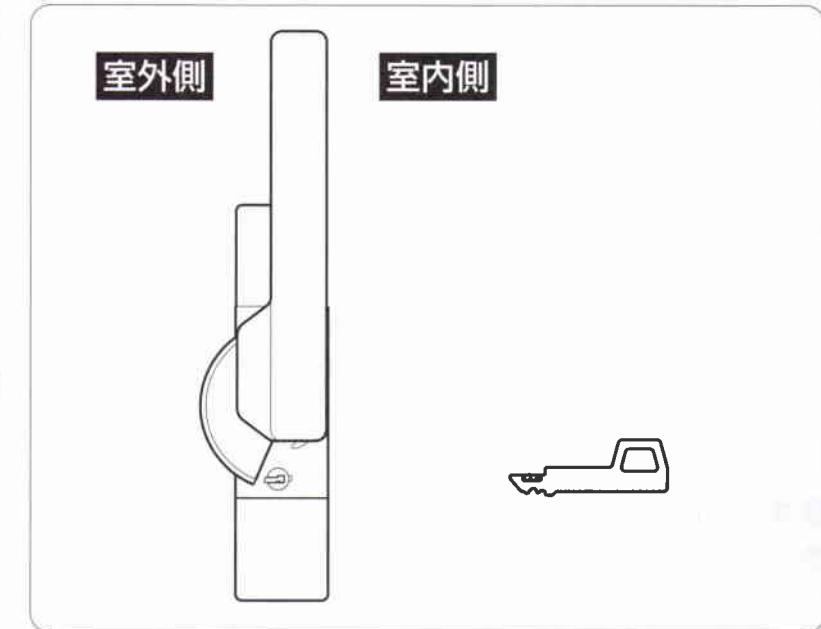
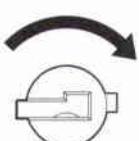
### ●鍵をかけるとき

- 鍵を差込み反時計まわりにまわす。



### ●鍵をあけるとき

- 鍵を差込み時計まわりにまわす。



## ■PROシリーズ他 キー付クレセント操作方法

- キー付きクレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。

### ●鍵をかけるとき

#### ■鍵穴の向き及びまわす方向

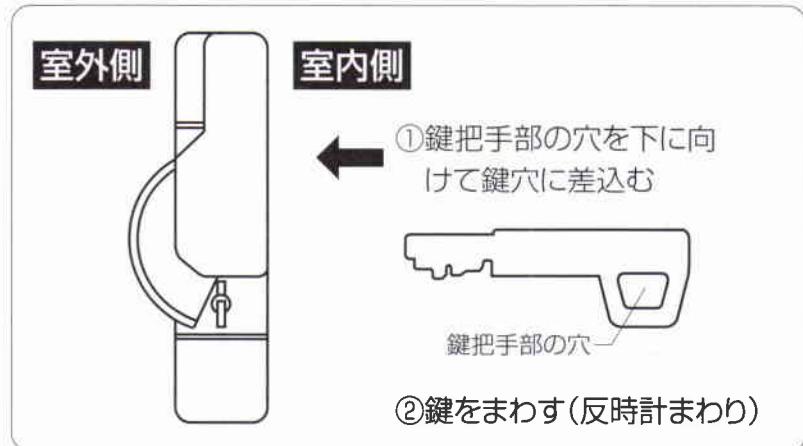
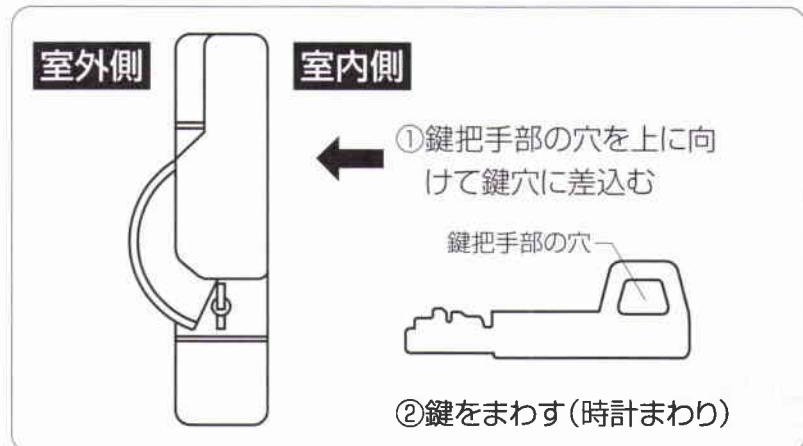
- 鍵を差込むとき、鍵穴の丸い部分の切れ込みが上になっていることを確認してください。



### ●鍵をあけるとき

#### ■鍵穴の向き及びまわす方向

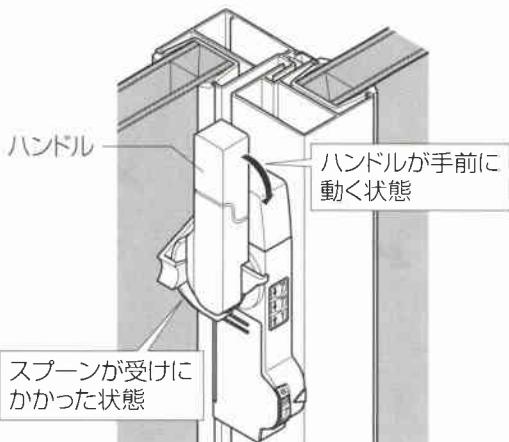
- 鍵を差込むとき、鍵穴の丸い部分の切れ込みが下になっていることを確認してください。



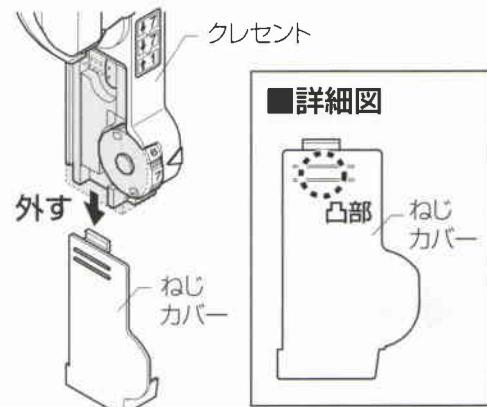
## ■ダイヤルロック付クレセントの施錠番号の変更方法

- 変更可能な番号は最終解錠番号(3番目に合せる数字)のみとなります。最終番号の前に2回合せている番号は初期設定のパターンをもとに自動で決定されます。
- ハンドルがロックされた状態では番号を変更しないでください。正しい番号に変更できません。

①クレセントを施錠状態にしてください。



②クレセント下部の「ねじカバー」を下方向にスライドさせ、外してください。(下図凸部に指をかけて外してください)



③「ダイヤル」を下図のようにつまんで垂直に引っ張ってください。



④「目印」に合うように、変更したい番号になるまで「ダイヤル」を回転させてください。

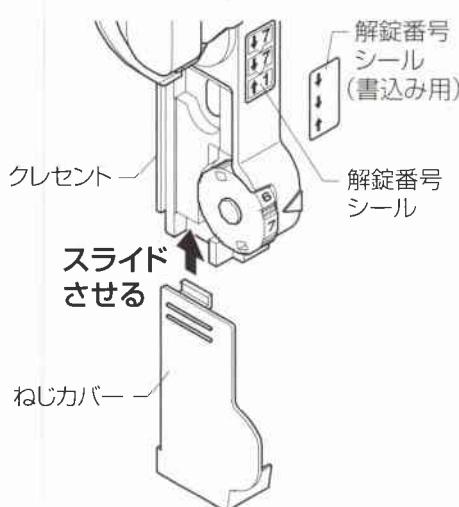


⑤「目印」と変更したい番号が合っていることを確認後、引き上げた「ダイヤル」を元の位置に押し込んでください。



\*ダイヤルをつまんで上記のようにすき間ができるまで引っ張ってください。

⑥「ねじカバー」を上方向にスライドさせながら、取付けてください。



### <変更後の施錠番号の確認方法>

●解錠番号の変更で、最終解錠番号を設定すると、それ以外の番号は下表のように自動的に変更されます。下表のA～Fの初期設定パターンを元に右の一覧表から変更後の番号を確認してください。

初期設定	お客様が設定可能な解錠番号							
	↓ 8	↓ 8	↑ 1	↓ 7	↓ 7	↑ 1	↓ 6	↓ 6
A	↓ 8	↓ 8	↑ 1	↓ 7	↓ 7	↑ 1	↓ 6	↓ 7
B	↓ 7	↓ 7	↑ 1	↓ 8	↓ 8	↑ 1	↓ 5	↓ 6
C	↓ 6	↓ 6	↑ 1	↓ 7	↓ 7	↑ 1	↓ 4	↓ 5
D	↓ 5	↓ 5	↑ 1	↓ 6	↓ 6	↑ 1	↓ 3	↓ 4
E	↓ 4	↓ 4	↑ 1	↓ 5	↓ 5	↑ 1	↓ 2	↓ 3
F	↓ 3	↓ 3	↑ 1	↓ 4	↓ 4	↑ 1	↓ 1	↓ 2

(例) ↓ 7 の最終解錠番号を「1」から「5」に変更した場合

●左の一覧表の「初期設定」のうち、↓ 7 の行(B行目)を見ます。

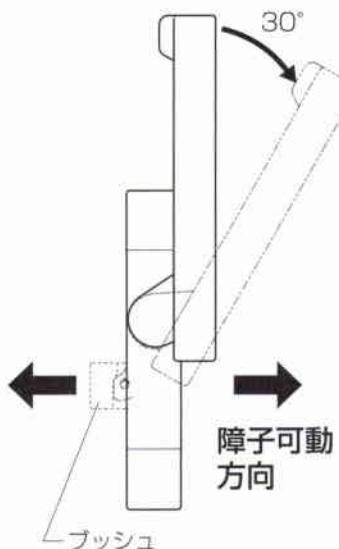
●「お客様が設定可能な解錠番号」の中で、最終解錠番号が「5」のものは ↓ 3 となります。

□ …最終解錠番号

## ■把手、引手、錠の種類(代表例)

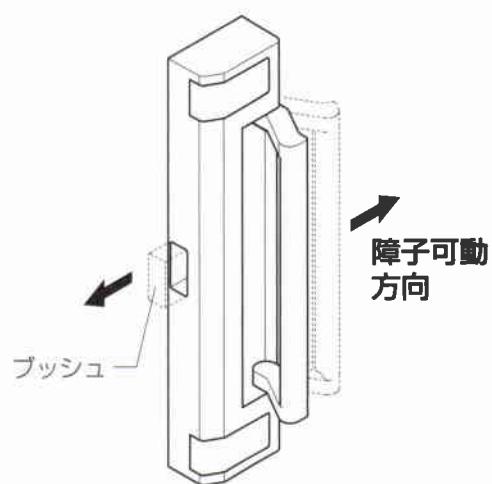
### ■アシスト把手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



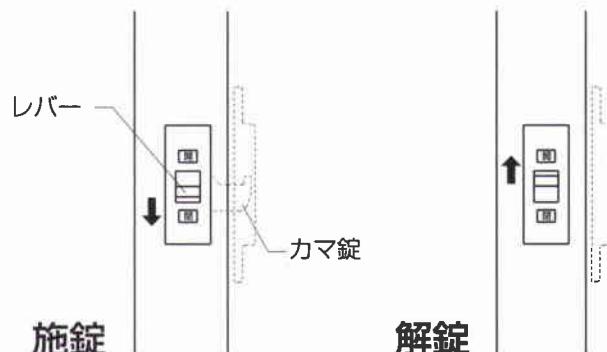
### ■アシスト引手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向に引手をスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



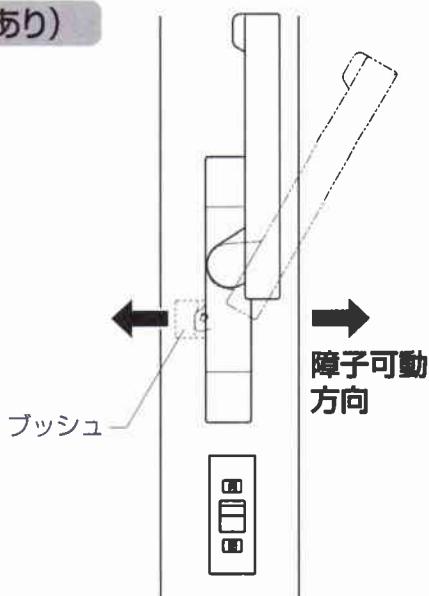
## ■戸先錠(オプション)(外部シリンダー付もあり)

- ①レバーを下へさげると閉状態になり施錠されます。
- ②レバーを上へあげるとカマ錠が収納されて開状態になり解錠されます。



## ■アシスト把手連動戸先錠(オプション)(外部シリンダー付もあり)

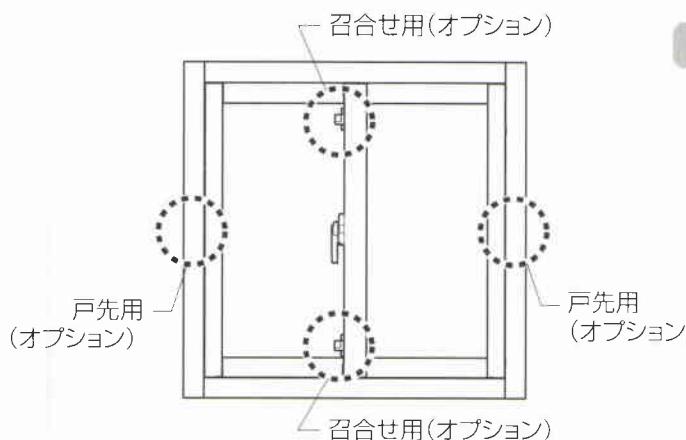
- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②アシスト把手のハンドルを傾けると、戸先錠の施解錠にかかわらず、連動して戸先錠が解錠状態になり、窓が開けられます。



# 引違い窓・片引き窓 指はさみ防止ストッパーの取扱い

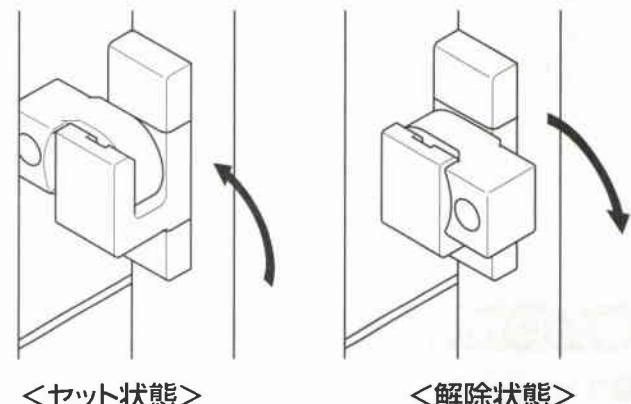
## ■ご使用上のお願い

- クレセントを解錠したら指はさみ防止ストッパーをセット状態にしてお使いください。又清掃時や網戸使用時は、解除状態でお使いください。
- 外障子を開けて網戸を使用するときは、解除状態で使用してください。虫などが侵入するおそれがあります。



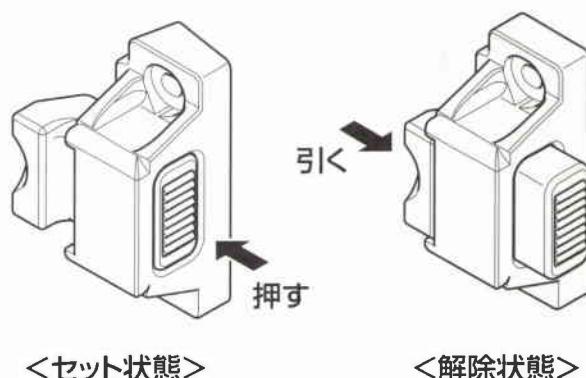
- 戸先框と召合框の間および戸先框と縦枠の間に25mmのクリアランスをつくり、指はさみによるケガに配慮しています。

## ■起倒式(召合せ用・PRO-SE)

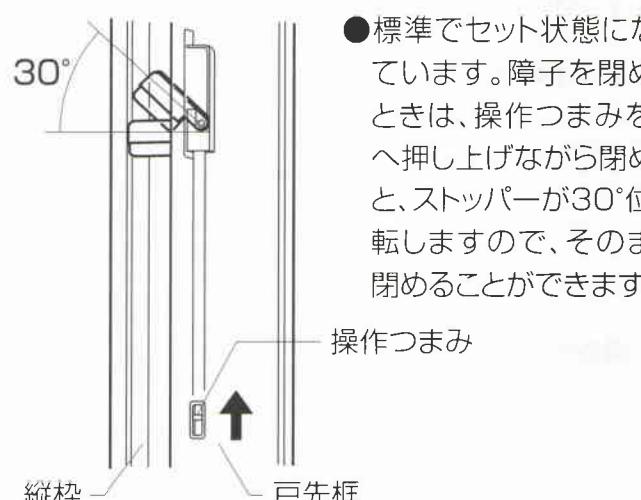


(※UNIS用も形態はちがいますが起倒式です。)

## ■プッシュ式(召合せ用・PROシリーズ)



## ■戸先用(PRO-SE)



- 標準でセット状態になっています。障子を開めるときは、操作つまみを上へ押し上げながら閉めると、ストッパーが30°位回転しますので、そのまま閉めることができます。

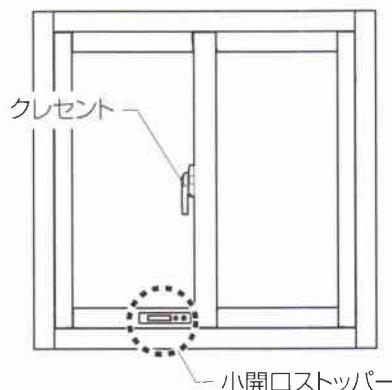
# 引違い窓・片引き窓 小開口ストッパーの取扱い

## ■ご使用上のお願い

- 小開口ストッパーは、換気のため窓を少し開けてストップさせる部品です。就寝時、外出時は、必ずクレセントを施錠してお使いください。
- 障子の開閉する際、強い衝撃を与えないでください。部品が破損するおそれがあります。

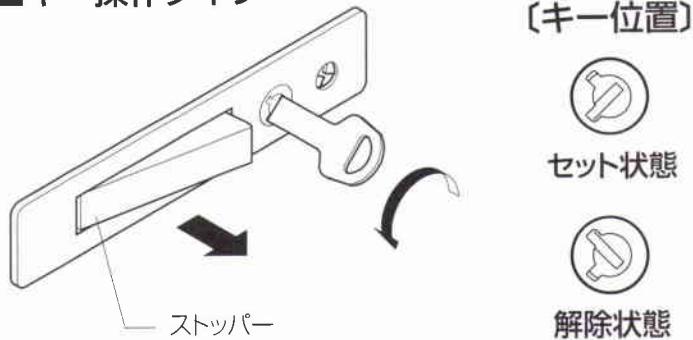
## ■小開口ストッパー

- 障子の開口寸法を規制する部品で、キー操作タイプとコイン操作タイプと各々の外部操作運動タイプがあります。

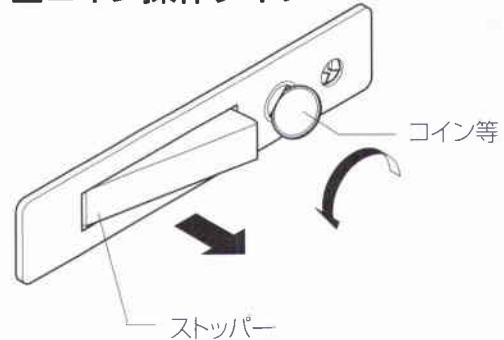


## ●操作方法(PRO-SEのとき)

### ■キー操作タイプ



### ■コイン操作タイプ



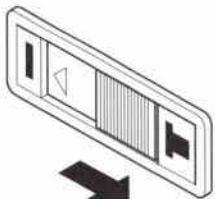
- キーを左に回すとセット状態になり、ストッパーができます。逆に回すと解除します。

- コインを左に回すとセット状態になり、ストッパーができます。逆に回すと解除します。

### ■外部操作運動タイプ

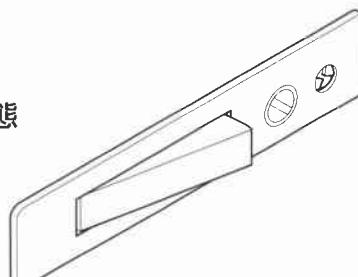
#### 〔室外側〕

セット状態

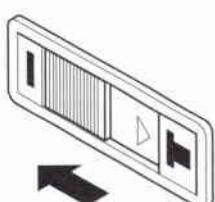


#### 〔室内側〕

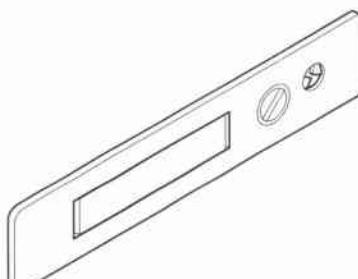
セット状態



解除状態



解除状態



# ノンレール(引違い窓)のメンテナンス方法

□PRO-70FS □PRO-SE

## ■メンテナンス時のお願い

- 清掃時等に下枠レール、アタッチメントを外すときは、小口にふれないでください。思わぬケガをするおそれがあります。又、外したレール、アタッチメントは清掃後、すぐにもとの通りに固定してください。歩行中に踏みつけるなどしてケガをするおそれがあります。
- 下枠レールを外しているときは、障子を動かさないでください。障子が脱輪します。

## ■お手入れについて

- 日常の清掃は、下枠の上面のゴミを掃除機で吸い取ったり、雑巾がけを行ってください。
- 下枠内にゴミなどがたまってきた場合は、破損や漏水の原因となりますので、下枠、アタッチメントを外して下枠及びアタッチメントを掃除機、雑巾、ホースの水などで時々清掃してください。

## ●下枠レール、アタッチメントの外し方

※本図は内観右側の障子を開いたときの場合を表します。左側の障子は、本図と逆側に障子を開けて、レールを外してください。

①障子をいっぱいに開きます。



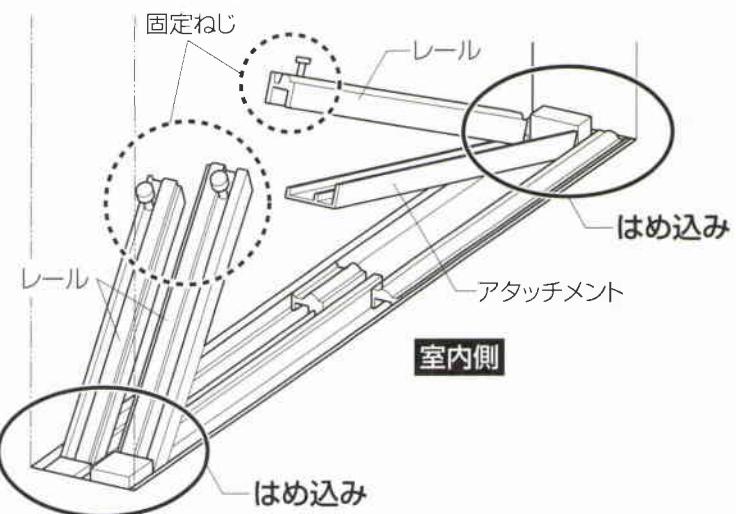
②召合框下部に近い所にあるレール固定ねじを緩めます。



③緩めたねじを指先でつまみ、レールを上に引張ります。内観右側には、外部側レールを外した後、アタッチメントを外してください。



### 【脱着可能な部材】



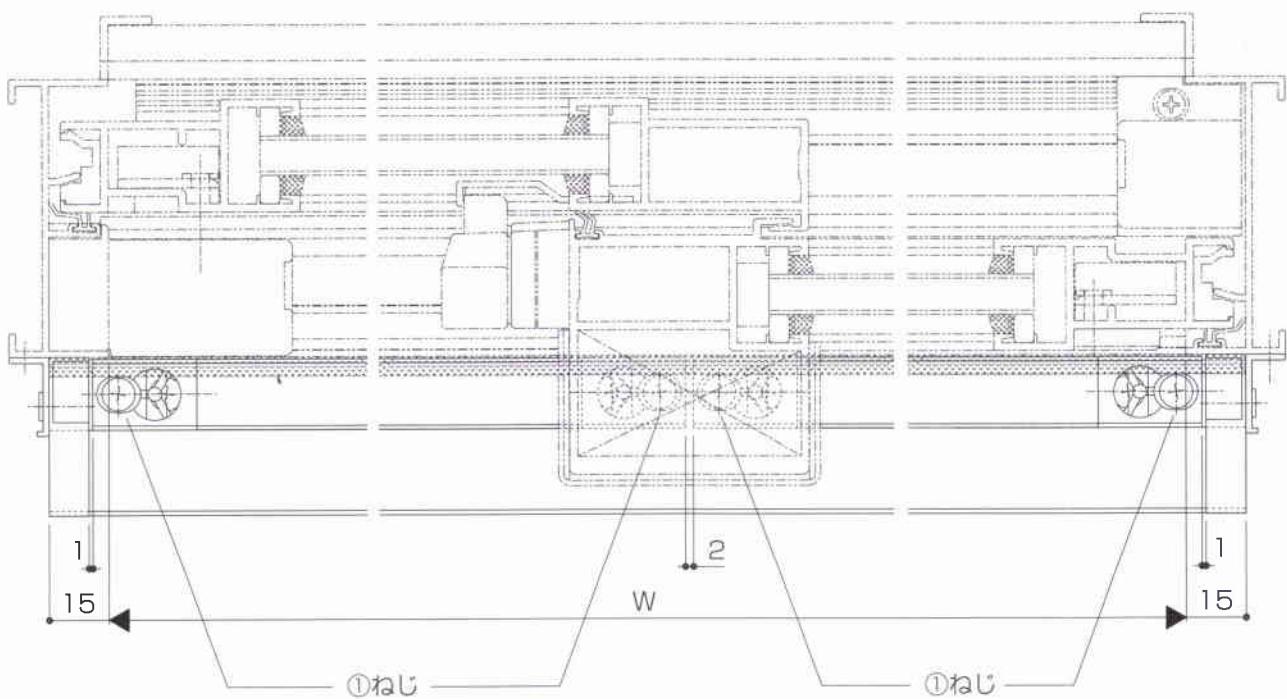
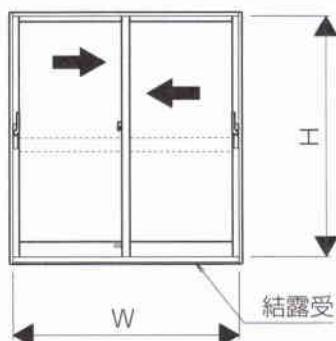
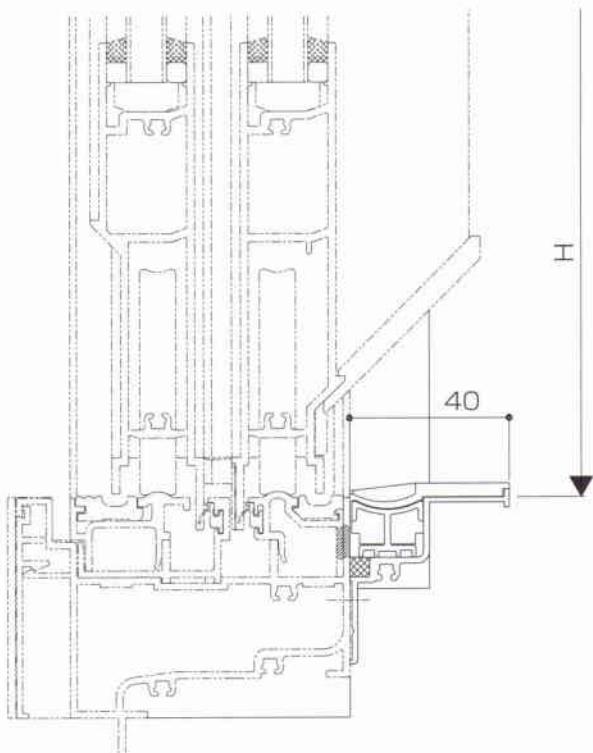
※清掃後は逆の手順で、下枠レール、アタッチメントを下枠へ固定します。(固定ねじを確実に締付けてください。)

## ■結露受用アングルのお手入れ方法

- ゴミ等がつまると結露水を排水できなくなりますので、時々清掃してください。

## ●結露受用アングルの取外し方

- ①結露受用アングル両端の樹脂部品のねじを外します。
- ②樹脂部品に指をかけて持ち上げます。
- ③清掃が終ったら、元にもどしねじを締め付けてください。



# 引戸の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-100シリーズ □PRO-IIシリーズ □EXシリーズ □MSシリーズ □PRO-Rシリーズ □PRO-SE

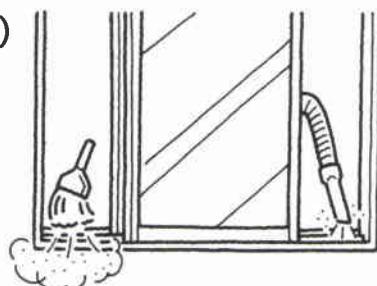
## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・お手入れなどでガラス障子を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
- ・ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

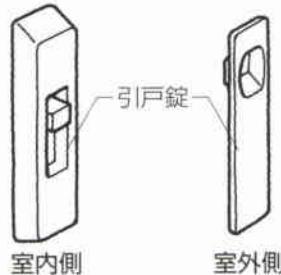
### ■ご使用上のお願い

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。(図4)
- 引戸錠は、戸が完全に閉まっている状態を確認して作動してください。閉まっていないと、作動不可の状態となり、無理に操作すると錠前が破損のおそれがあります。(図5)

(図4)

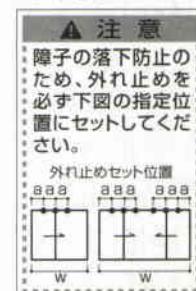


(図5)



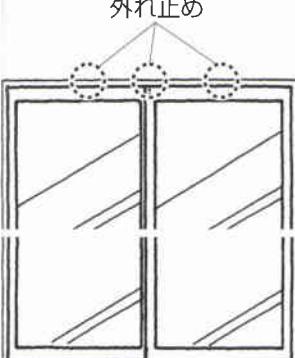
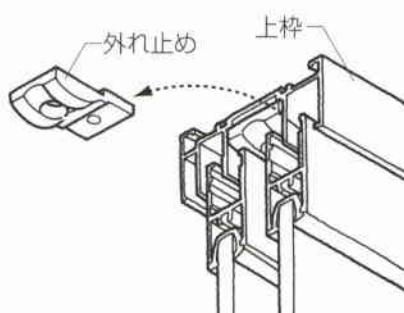
※引戸のクレセント仕様のクレセントは引違い窓の頁を参照願います。

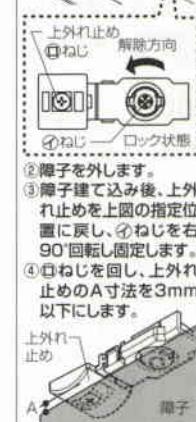
### ■本体表示ラベルの表示例(PRO-SE)



### ■外れ止め部品のセット

- 外れ止め部品は、障子の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。

外れ止め位置(商品上)	(商品形状と部位)	セット方法
		<p>※商品に本体表示ラベルを張付してありますので、よくお読みのうえその指示を必ずお守りください。</p>



# 片引き窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-100シリーズ □EXシリーズ □MSシリーズ □PROⅡシリーズ □TBH-70Ⅱシリーズ □TBR-70AT  
□TBH-100AT □TBR-100TC □TBR-100AT □PRO-Rシリーズ □PRO-SE □UNIS □TW-70 □ワイドシーベUD

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・お手入れなどでガラス障子を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

### ■ご使用上のお願い

#### 【クレセント操作について】

- クレセントを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。実施しないと障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。(図6)(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)
- 窓を閉めてクレセントを施錠しないと、サッシの諸性能(耐風圧、気密、水密等)は保持できません。
- グレモン方式の場合は、一般クレセントと比べて、作動が重くなります。これは機構上によるもので、不具合ではありません。

#### 【障子開閉について】

- 開閉操作は引手部に手をかけてゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やケガにつながります。
- 引分け障子を開け閉めするときは、施錠されているクレセントに強い衝撃を与えないようしてください。クレセントおよび受が破損するおそれがあります。(図7)
- 障子を開けるときに障子ストッパーに強い衝撃を与えないでください。障子や部品の変形・破損が生じたり、それによるクレセントの施解錠が困難になるなどのおそれがあります。

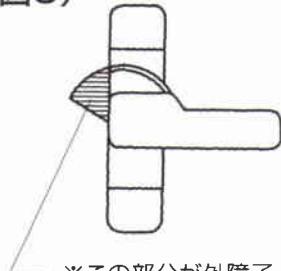
#### 【お手入れについて】

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。(図8)
- 空かけ防止付クレセントのトリガー部は、時々汚れを布で拭き取ってください。ハンドルの開閉時に引っ掛けかりが発生する場合があります。

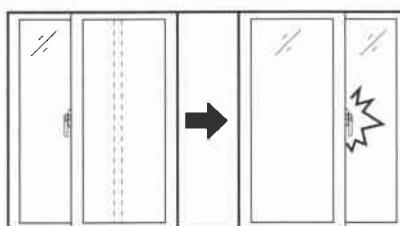
#### 【こんなときには】

- レンジフードや換気扇を作動させると、サッシから音なりや風の流入が発生する場合があります。これは建物全体の気密性が高く、換気量が大きい場合に起る現象で、サッシの欠陥ではありません。適切な吸排気口の設定や、サッシを少し開けるなどの対応をお願いします。(24時間換気している場合も同様で、サッシから漏気する場合があります。)

(図6)

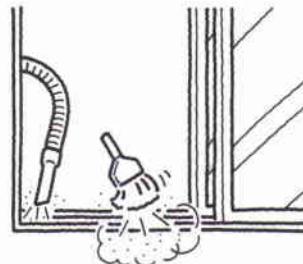


(図7)



※強く閉めないでください。

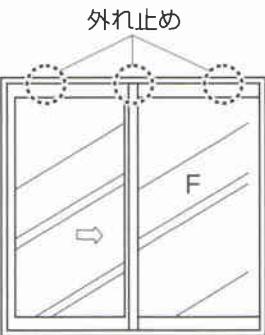
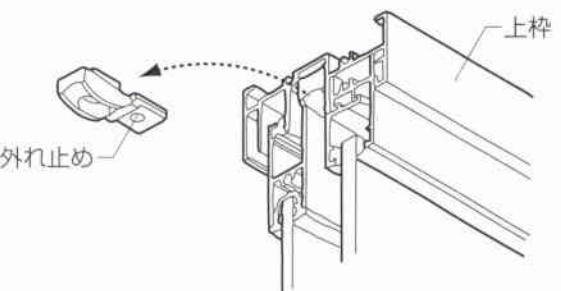
(図8)



※バリアフリー用下枠のときは、掃除機で清掃してください。

## ■外れ止め部品のセット

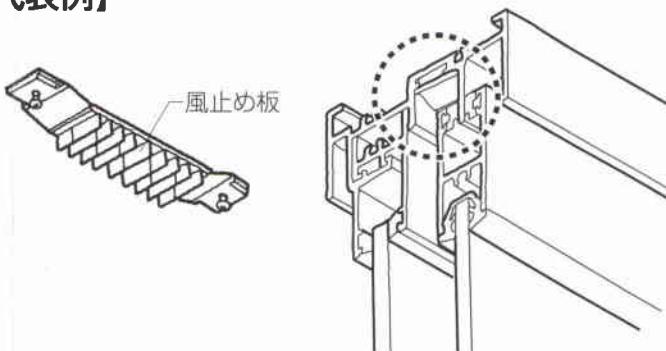
- 外れ止め部品は、外障子の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。
- バリアフリータイプは、外れ止め形式が下記と異なりますので、商品張付の本体表示ラベルの指示を必ずお守りください。

形式	外れ止め位置(商品上)	(商品形状と部位)	セット方法
外動	 <p>PRO-70シリーズ TBH-70II UNIS ワイドシーベUD PRO-SE TW-70</p>		<p>※商品に本体表示ラベルを張付してありますので、よくお読みのうえその指示を必ずお守りください。</p>

## ■風止め板

- 召合せ上部からの風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、ナイロン樹脂製の部品です。  
※障子の脱着時にずらしたときや、位置がずれたら、もとの位置にもどしてください。

## 【代表例】



## ■本体表示ラベルの表示例 (PRO-SE)



## ■クレセントの操作と種類(代表例)(その他金物は引違窓を参照願います)

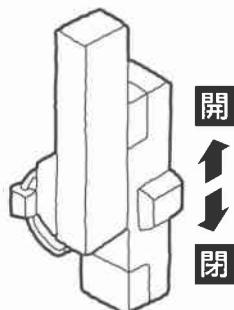
### ■シングルロック

- 標準型のクレセントでハンドルを180°回転させることにより、施錠することができるタイプです。



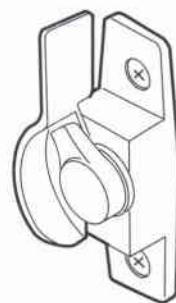
### ■ダブルロック

- クレセントの横についているボタンを上下に動かすことにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



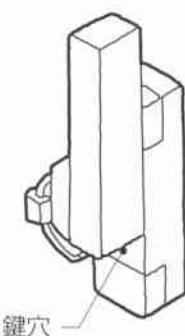
### ■ダブルロック

- 自動的にハンドルのロックが掛かるタイプです。内々のツマミを押しながら解錠します。(MSシリーズの一部に使用)

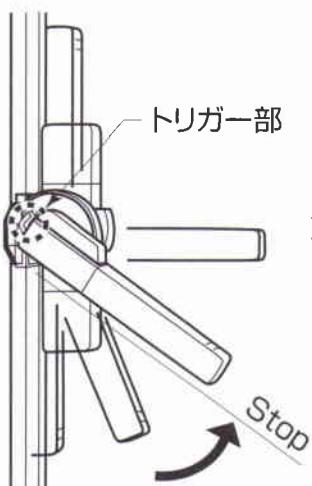


### ■キー付き

- クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。

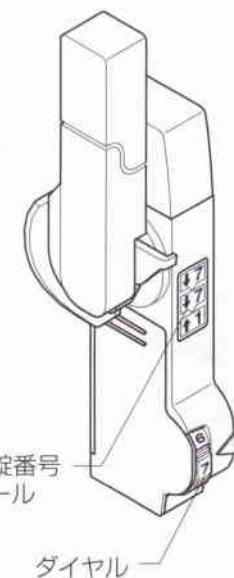


### ■空かけ防止付き (トリガー付)



### ■ダイヤルロック付き

- 解錠・解錠番号シールの上から順番の「方向」と「番号」にダイヤルを回して合せることで、クレセントが解錠できます。
- 施錠:クレセントをかけて、ダイヤルを1回転ほど回すとロック状態になります。



障子が最後まで閉まっていない場合、トリガーが受けに押されないためクレセントが回らず、無締まりを防止します。

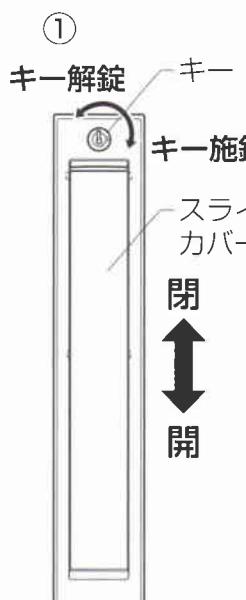
### ■内蔵式クレセント(キー付)

- クレセントを召合せ框に内蔵し、すっきりとした意匠を実現しました。外部からはクレセントが見えないため防犯性も向上します。

※召合せ框見付け寸法は60mmのみの設定になります。

- ①解錠はカバーを開けて、レバーを下へ下げます。
- ②施錠はレバーを上へ上げてからカバーを閉めます。
- ③キーを90°右に回すとカバーがロックされ開かなくなります。

注)施錠は召合せ框を内外そろえてから行ってください。トリガー付ですので召合せ框をそろえないといけません。



# ノンレール(片引き窓)のメンテナンス方法

□PRO-70FS □PRO-SE

## ■メンテナンス時のお願い

- 清掃時等に下枠レール、アタッチメントを外すときは、小口にふれないでください。思わぬケガをするおそれがあります。又、外したレール、アタッチメントは清掃後、すぐにもとの通りに固定してください。歩行中に踏みつけるなどしてケガをするおそれがあります。

## ■お手入れについて

- 日常の清掃は、下枠の上面のゴミを掃除機で吸い取ったり、雑巾がけを行ってください。
- 下枠内にゴミなどがたまってきた場合は、破損や漏水の原因となりますので、下枠レール、アタッチメントを外して下枠及び下枠アタッチメントを掃除機、雑巾、ホースの水などで時々清掃してください。

## ●下枠レール、アタッチメントの外し方

※本図は内観右側が障子の場合を表します。左側が障子の場合は、本図と逆になります。

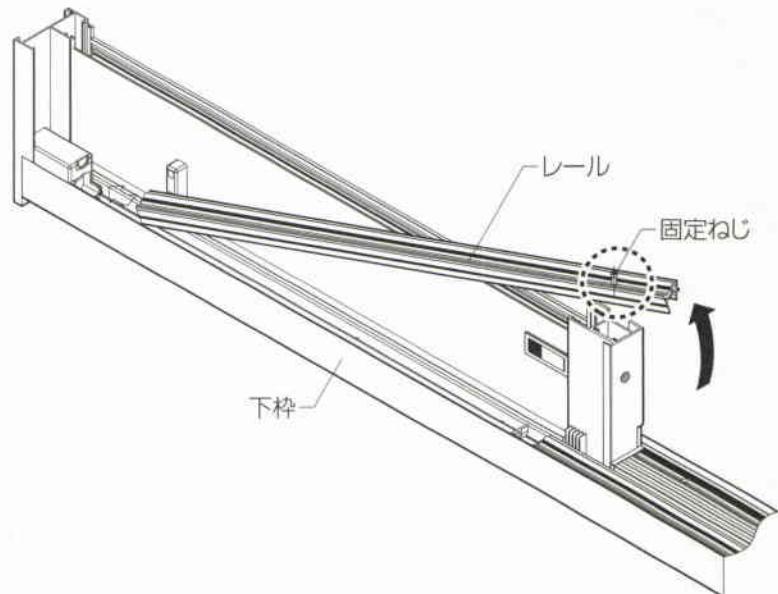
## ■レールの外し方

- ①障子を閉めた状態で召合せ框下部に近いところにあるレール固定ねじを緩めます。



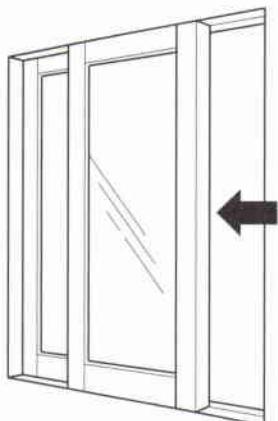
- ②緩めたねじを指先でつまみ、レールを上に引張ります。

※清掃後は、障子を動かす前にレールをもとにもどしてから、レール固定ねじを締付けてください。



## ■アタッチメントの外し方

①障子をいっぱいに開けます。

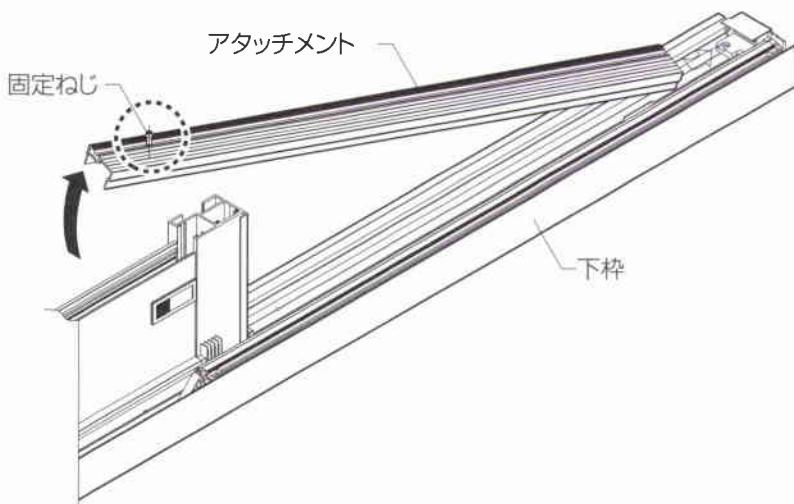


②召合せ方立下部に近い所にある固定ねじを緩めます。



③緩めたねじを指先でつまみ、アタッチメントを上に引張ります。

※清掃後は逆の手順で、アタッチメントを下枠へ固定します。(固定ねじを確実に締付けてください。)



# 換気小窓・換気框の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-SE

## ■ご使用上のお願い

- 降雨、強風時には、換気小窓のガラスを閉めて小窓締りを施錠してください。又換気框も、操作つまみを「閉」の状態にして換気口を閉じてください。
- 就寝、外出時には必ず換気小窓のガラスを閉めて施錠してください。

## ■換気小窓の操作方法

- 小窓中央部の小窓締りの開閉操作をすることで施錠できます。(商品により形式がちがいます。)

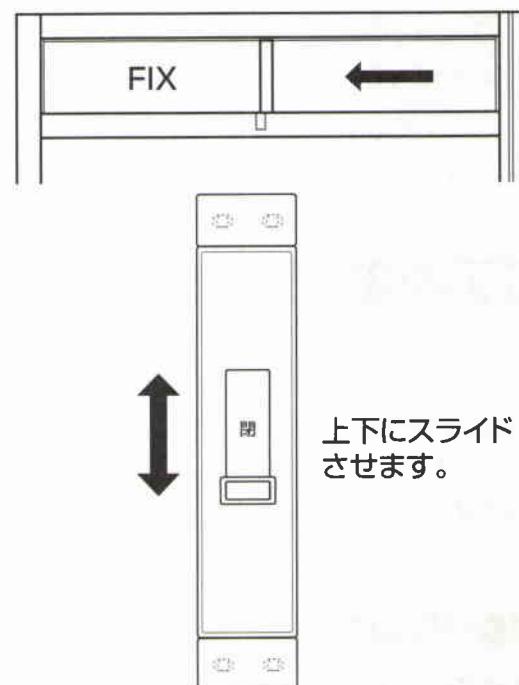


押しながら回転させると  
開閉できます。



<回転式>(PRO-SE用)

<プッシュ式>(PROシリーズ)

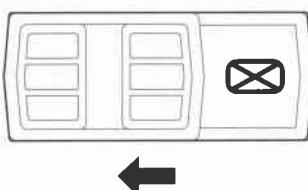


<スライド式>(PROシリーズ)

## ■換気框の操作方法

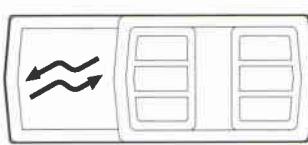
- 換気框の操作つまみをスライドさせることにより開閉します。(商品により形式がちがいます。)

閉状態

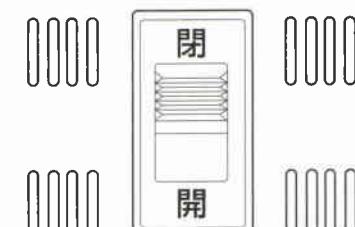
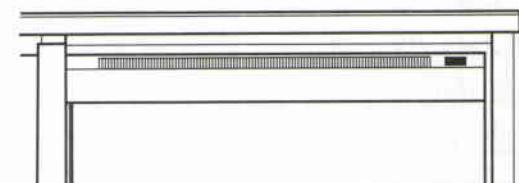


押しながら左右に  
スライドさせると  
開閉できます。

開状態



<スライド式>(PRO-SE用)



上下にスライドさせます。

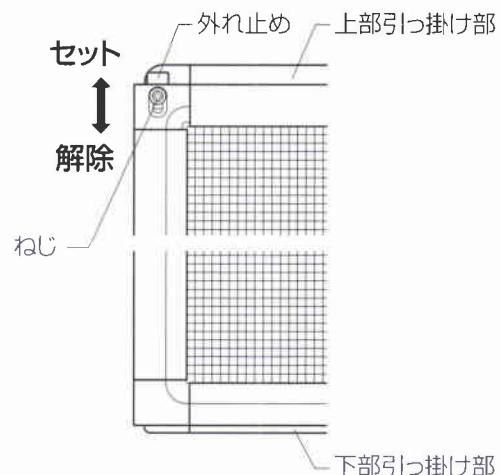
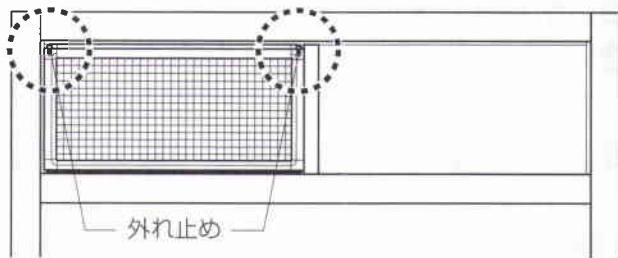
<スライド式>(PROシリーズ)

## ■換気小窓の網戸のメンテナンス

### ▲注意

- お手入れなどの後、網戸を取付けたときは表示ラベルに従って外れ止めを必ずかけてください。又、ご使用中、外れ止めがずれることがあります。時々点検してください。外れ止めが正しくかかっていないと網戸の落下による事故(人身・物損)につながるおそれがあります。

【外観】



## ●網戸外れ止めのセット方法

- ①網戸の上部引っ掛け部を換気小窓に引っ掛けます。
- ②次にケンドンで下部引っ掛け部を引っ掛けます。
- ③外れ止めのねじを上へずらして締め付けます。(左右2力所)
- ④網戸が外れないことを確認してください。

## ■換気框のフィルターのお手入れ

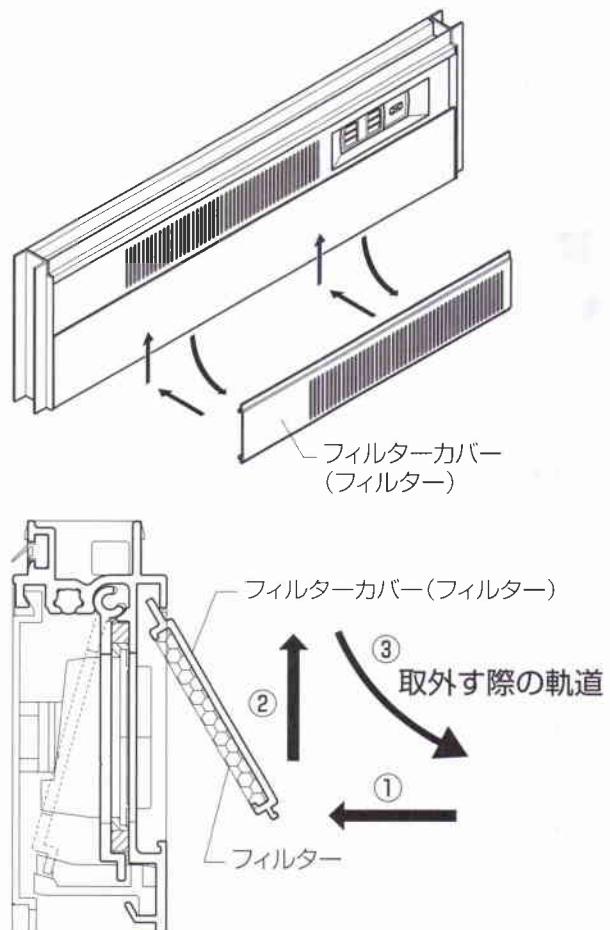
### ■お手入れ時のお願い

- 目安として半年ごとの清掃をおすすめします。
- フィルターカバーを取付けた後は、換気框に正しく納まっていて、外れないことを確認してください。

## ●お手入れ方法

- ①フィルターカバーを上へ押し上げ、側面を指で引っ掛けて手前側に外します。
  - ②取外したフィルターの汚れが少ない場合は、軽く手でたたいて落としてください。
  - ③汚れがひどい場合は、フィルターカバーごと水又はぬるま湯につけて押し洗いをするか、シャワーなどで洗い流してください。
- \*その際、フィルター自体をもみ洗いしたり、強く絞ったりしますと、フィルターの纖維がほつれたり破れたりしますので注意してください。
- ④洗浄後は、自然乾燥を十分してください。
  - ⑤換気框への取付けは、取外しと逆の要領で行ってください。

\*フィルターカバーが新規に必要なときは、当社お客様担当窓口へお問合せください。



【換気窓断面図】

# 下枠換気FIX窓の取扱い

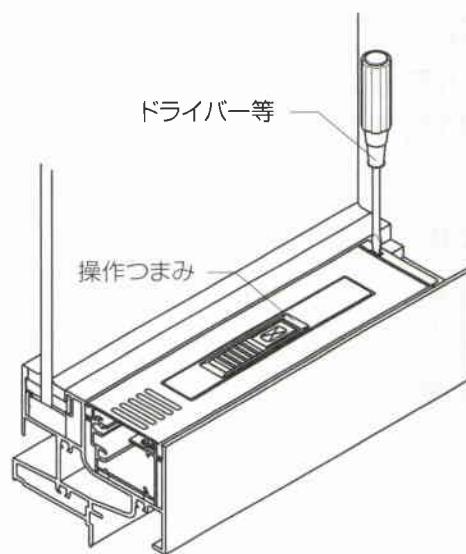
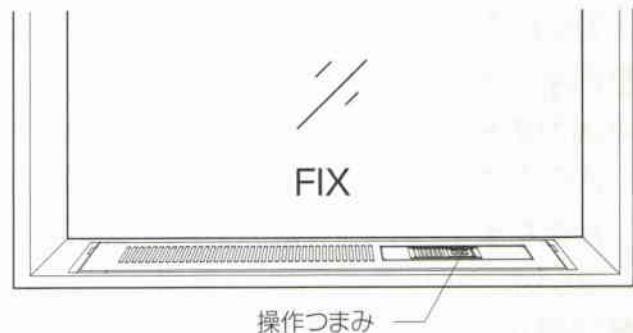
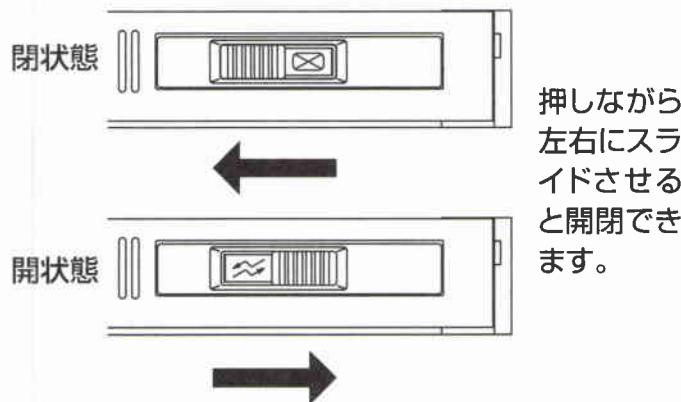
□PRO-SE

## ■ご使用上のお願い

- 強風雨時には、換気装置の操作つまみを「閉」状態にして換気装置内の作動板を閉じてください。
- 換気装置の上に物をのせたり、ぶつけたりしないでください。フィルターカバーの破損のおそれがあります。

## ■下枠換気FIX窓の操作方法

- 換気装置の操作つまみをスライドさせることにより、換気口が開閉します。



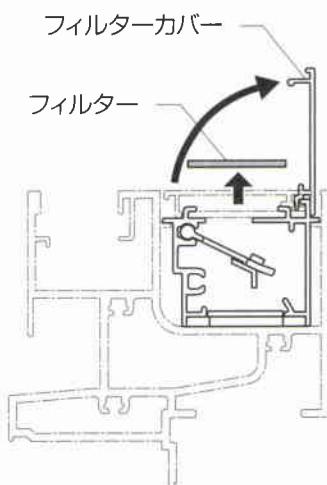
## ■換気装置のフィルターのお手入れ

### ■お手入れ時のお願い

- 目安として半年ごとの清掃をおすすめします。
- フィルターとフィルターカバーを取り付けた後は、換気装置に正しく納まっていることを確認してください。

### ○お手入れ方法

- ①換気装置の両端部キャップのミゾ部分にドライバー等を差し込んでフィルターカバーを開けフィルターを外します。
- ②取外したフィルターの汚れが少ない場合は、軽く手でたたいて落としてください。
- ③汚れがひどい場合は、フィルターを水又はぬるま湯につけて押洗いをするか、シャワーなどで洗い流してください。
- ※その際、フィルターをもみ洗いしたり、強く絞ったりしますと、フィルターの繊維がほつれたり破れたりしますので注意してください。
- ④洗浄後は、自然乾燥を十分にしてください。
- ⑤換気装置への取付けは、取外しと逆の要領で行ってください。



# 網戸の取扱い

□可動 □固定

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・お手入れなどで網戸を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

### ■ご使用上のお願い

- この製品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったりしないでください。

### ■お手入れ時のお願い

- 網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光があたったり、風雨にさらされたり、ご使用いただいている立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、網の外れ、網押さえのひび割れ等がないか確認してください。異常があれば、早めに張り替えてください。
- 網戸がステンレス網の場合、サビにくい材質を使っていますが、環境条件によっては、汚れや塩分やもらいサビを放置するとサビ発生のおそれがあります。  
7頁の「お手入れ方法」を参照の上、汚れの軽いうちに清掃してください。
- 網戸の清掃時に網を強く押すと、網が外れることがあります。力を入れすぎないでください。

### ■網戸の防虫性について

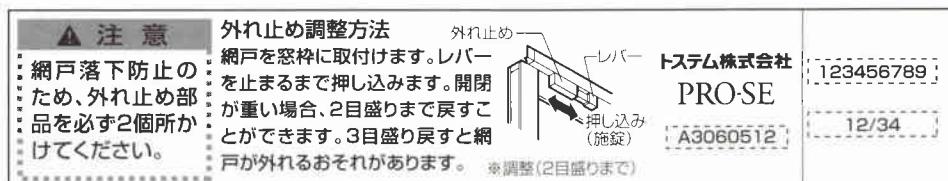
- 網戸の防虫性は、網目より大きい蚊などを防ぐには効果があります。しかし、網戸を可動させるために微小すき間があるため、使用環境によっては、蚊より小さな虫やはい回る虫などの防虫性が劣る場合があります。

## ■外れ止め部品のセット(その1)

●外れ止め部品は網戸の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。

形式	商品名	外れ止め位置(商品上)	セット手順	セット方法
	PRO-SE	<p>→ 解除① ロック② ← → ③1段階引出す</p>	①操作レバーをいっぱいに引出して網戸を建込みます。 ②建込み後、操作レバーをいっぱいに押込んで網戸の開閉をします。 ③スムースに開閉できなければ、操作レバーを1段階引出します。(最大の引出しは2段階までにしてください)	※商品により形式が異なります。本体表示ラベルを張付してありますので、その指示を必ずお守りください。
可動網戸	PRO シリーズ TBH-II シリーズ MS シリーズ	<p>※両端に寄せると解除される。</p>	①つまみをドライバー等で両端に押します。 ②網戸を持上げ建込みます。 ③つまみが内側にもどっていることを確認します。又、網戸を持上げ、下を外に押して外れないことを確認します。	
	S-L シリーズ KS-KL シリーズ	<p>外れ止め ロック ↑ ↓ 解除</p>	①外れ止め金具のねじをゆるめます。 ②網戸の開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げます。 ③ねじを締めます。 ④網戸を持上げ、下部を外に押して外れないことを確認します。	
内倒し窓用固定網戸	PRO シリーズ PRO-II シリーズ PRO-SE	<p>外れ止め 金具 上枠 外れ止め 金具 ロック ↑ ↓ 解除</p>	①外れ止め金具のねじをゆるめます。 ②上枠に当るまで上に上げます。 ③ねじを締めます。 ④網戸を持上げ、下部を外に押して外れないことを確認します。	

## ■本体表示ラベルの表示例(PRO-SE)



## ■外れ止め部品のセット(その2)

●外れ止め部品は網戸の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。

形式	商品名	外れ止め位置(商品上)	セット手順	セット方法
開き網戸	PRO シリーズ PRO-II シリーズ PRO-SE	<p>●上下スライド式(開き窓用)</p>	<p>①ねじをゆるめます。 ②ガタツキ防止金具を上に上げ サッシ枠丁番に当てます。 ③ねじを締めます。 ④網戸を持上げ、下部を外に押し て外れないことを確認します。</p>	※商品により形式が異なります。本体表示ラベルの指示を必ずお守りください。
上げ下げ窓用固定網戸	PRO-SE		<p>①上部外れ止めのねじをゆるめ ます。 ②外れ止め金具を上に上げま す。 ③外れ止め金具を横にスライド させ、上枠に引っ掛けます。 ④ねじ④を締めて固定します。</p>	
ガラスルーバー用固定網戸	PRO-SE		<p>①ねじをゆるめます。 ②ねじを上にスライドさせます。 ③ねじを締めて固定します。</p>	
オーニング窓用固定網戸	PRO-SE		<p>●網戸の上・下にある外れ止めの ツマミを回転し、横向きにする と、ロックされます。</p>	

## ■網戸の掃除

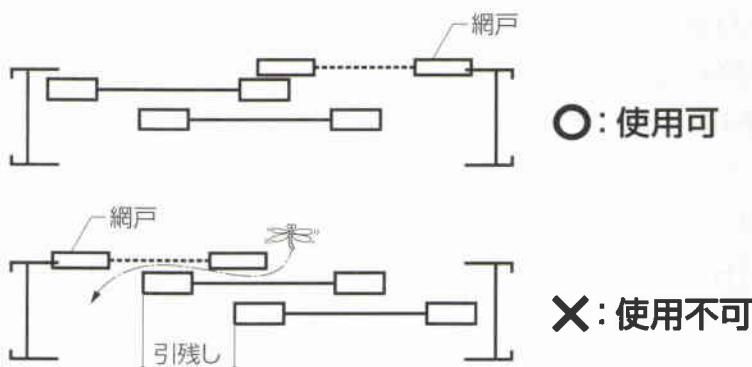
- 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミや埃も防ぎます。それだけに汚れるのも早いので、まめに掃除をしないと風通しも悪くなります。
- 網戸の掃除は、外れ止め金具のビスをゆるめて網戸を外し、庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこります。そしてゴミや埃を落としてから中性洗剤をスポンジにつけ網の部分に塗るような気持ちでつけます。このとき、力を入れすぎると網が外れことがあります。
- 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- 網戸を取付けたら、必ず外れ止め金具が機能するように調整してください。
- 網戸を外に持出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシのついた吸込み口を取付けた電気掃除機で吸収してください。
- 網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光があたったり、風雨にさらされる等、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網が外れことがあります。時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部の外れのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。異常があれば、お早めに張替えてください。



## ■網戸の使い方(アシスト把手・大型把手使用時の障子引残しがあるとき)

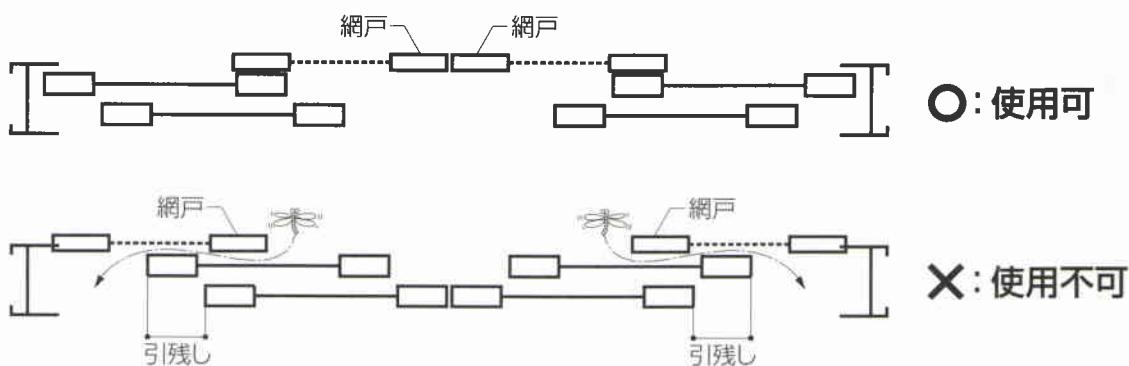
### ■2枚建ての場合

- 網戸を使用するときは、右側の障子を開けて網戸を右に寄せて使用してください。左側で使用すると虫が入るおそれがあります。



### ■4枚建ての場合

- 網戸を使用するときは、中央の障子を開けて網戸を2枚とも中央に寄せて使用してください。左右縦枠側で使用すると虫が入るおそれがあります。



# 横引き収納網戸の取扱い

□内付け □外付け

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・外付タイプはお手入れなどのために網戸を外し、再び窓枠に取付ける時は、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

### ■ご使用上のお願い

- 網戸を使用しないときは、必ず網を収納するようにしてください。網の特性上、開いた状態にしておくと折り目にシワができる、たたみづらくなることがあります。
- 網戸に寄りかかったり、網を押したりしないでください。  
網戸本体や網が外れるおそれがあります。
- 強風時には使用しないでください。網の不具合やワイヤー等部品の破損が生じるおそれがあります。
- 本製品は網戸を折りたたむ構造のため、網の上下を枠部と固定していません。  
従って風により網がたわむと網と枠の上下部にすき間が生じやすくなり、使用状況によっては蚊などへの防虫性が劣る場合があります。

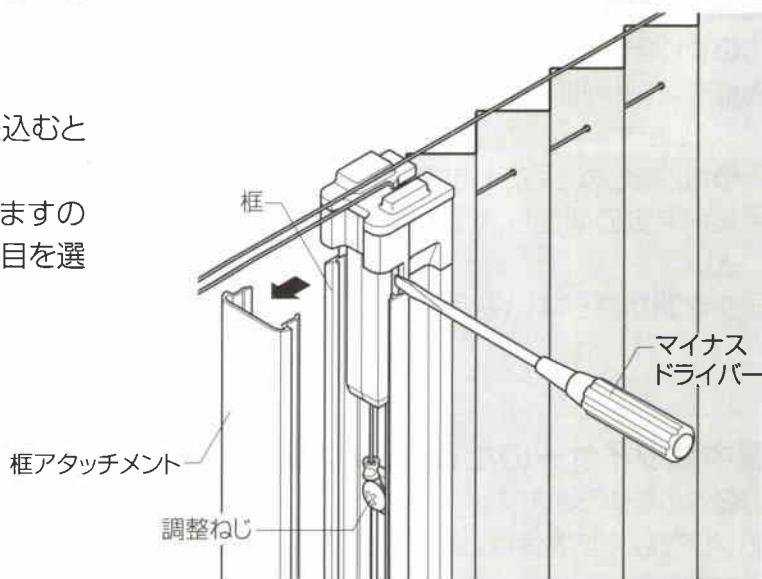
### ■操作方法のお願い

- 開閉操作は縦框の中央付近を持ってゆっくり行ってください。上部や下部を持って操作すると縦框が斜めになり開閉が重くなったり、ワイヤーに無理な力がかかるて破損の原因になります。又、急な操作はワイヤーの寿命を早める原因になります。
- 両分けタイプ( $Mh > 2000$ )は突き合せ框中央にマグネットが組込まれていますので、網戸引出し時は左右の突き合せ框を組合せて、マグネットで必ず固定してください。

## ■建付け調整(現象別調整方法)

### ■建付けが悪くなつた場合

- ①網戸の框からアタッチメントを取り外します。  
※框の端部にある溝にマイナスドライバーを差込むと  
外しやすくなります。  
※不具合の内容により、調整するねじが異なりますので、下記の【現象別調整方法】から該当する項目を選んでください。



### ■網戸のタイプ

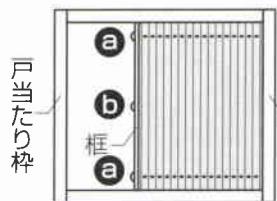
※調整ねじは下記の様に色分けしています。

- a…シルバー
- b…ホワイト
- c…ブロンズ

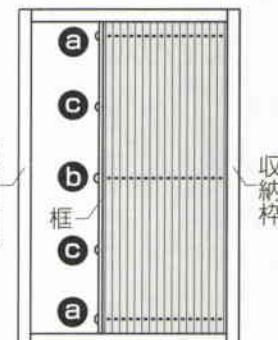
※図は片引きタイプ。

※両引きタイプも同様の調整方法。

### ●3本ねじタイプ



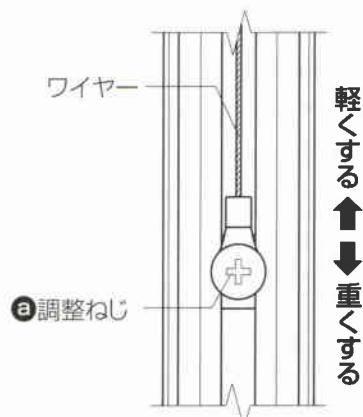
### ●5本ねじタイプ



## ●現象別調整方法

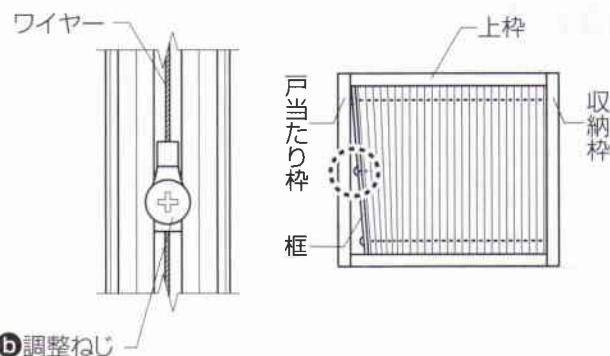
### ■網戸の開閉が重い(軽い)

- ①aねじをゆるめます。  
②軽くする場合は、調整ねじをワイヤーの見える方向に移動します。  
重くする場合は、逆方向に移動します。  
※aねじは2本あります。通常は片方だけで調整できますが、調整しきれない場合は、もう一方のねじも使用してください。



## ■網戸と戸当たり枠の間にすき間が発生

- ①**b**ねじをゆるめます。
- ②框を収納枠側に押付け、収納枠と框が平行になるようにします。
- ③**b**ねじをしめて固定します。
- ④網戸を数回開閉し、すき間がでないか確認してください。
- ⑤すき間が直らない場合、①～④をくり返してください。

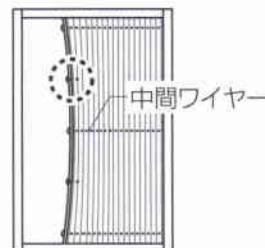


## ■中間ワイヤーのたるみ、又は框にソリが発生

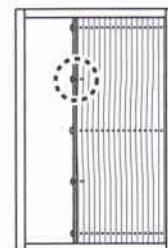
- ①**c**ねじをゆるめます。
  - ②ソリをなくす場合は、調整ねじをワイヤーの見える方向に移動します。  
たるみを取る場合は、逆方向に移動します。
- ※**c**ねじは2本あります。通常は片方だけで調整できますが、調整しきれない場合は、もう一方のねじも使用してください。



●ソリ



●たるみ



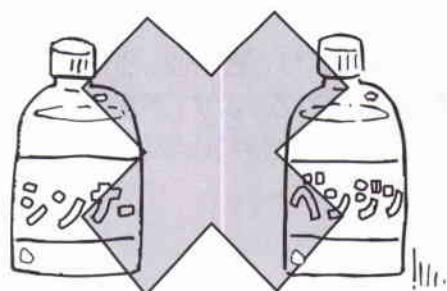
## ■お手入れ方法

### ■レール枠の清掃方法

- 掃除機で砂やほこりを取り、水ぶきをしてください。特に汚れがひどい場合は、歯ブラシ等で汚れを落としてください。汚れを放置しておくと開閉できなくなります。



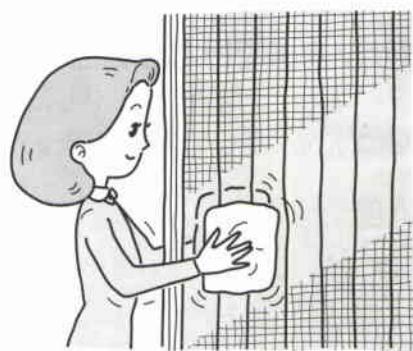
※シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。



※殺虫剤や洗剤で塩素を含むものも使用しないでください。

## ■内付け網戸のお手入れ方法

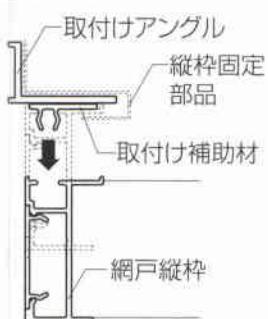
- ①網をはさみ込み、両側から同時に水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、その後、洗剤が残らないようによくふき取ってください。



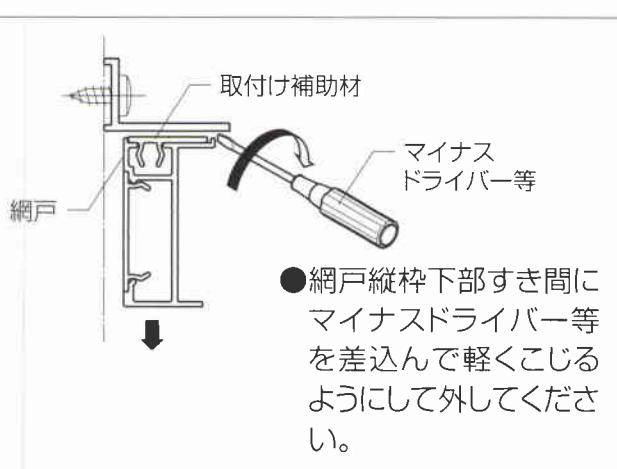
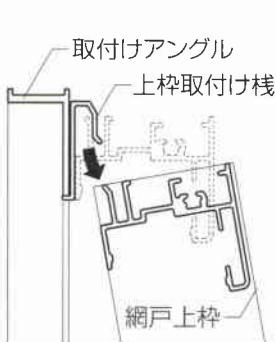
## ■網戸の外し方(補修の場合以外は外さないでください)

- ①網戸縦枠と取付けアングルに差込まれてねじ止めしてある、縦枠固定部品を外します。  
②網戸全体を上に約3mm程度持ち上げます。  
(高さ1700mmを超える網戸、又は幅1690mmを超える網戸には下枠部、及び幅1830mmを超える網戸には上枠部に固定部品がねじ止めしてありますので、先に外してください。又縦枠部に固定部品がねじ止めしてある場合も、先に外してください。)  
③網戸を持ち上げた状態で縦枠下部すき間にマイナスドライバー等を差込んで軽くこじるようにして、取付けアングルの取付け補助材から外します。  
④上枠取付け桿から網戸上枠部が外れるように、上枠を下にずらしながら縦枠下部を手前に引いてください。  
⑤網戸を取付ける場合は、③→①の逆の操作をして取付けます。

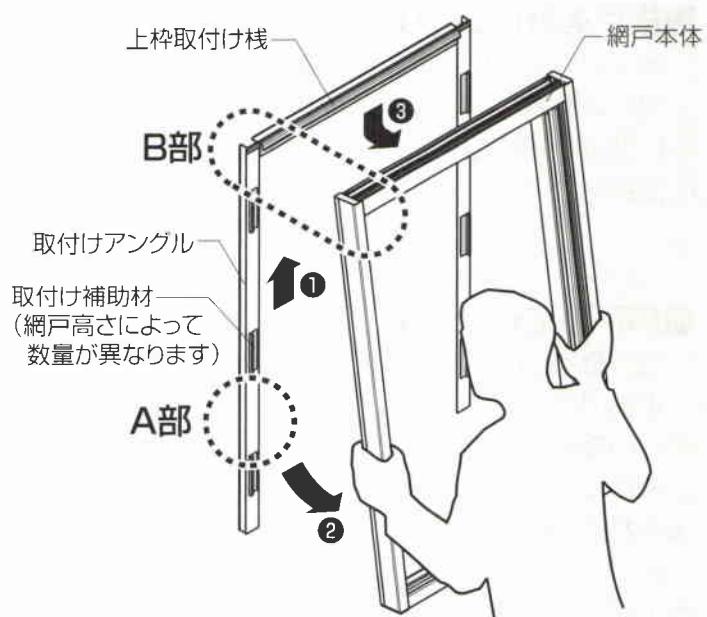
■A部詳細図



■B部詳細図



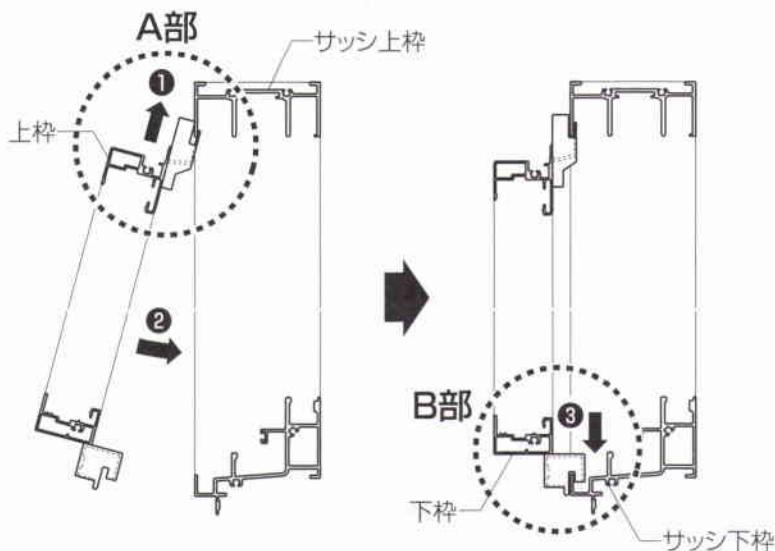
●網戸縦枠下部すき間に  
マイナスドライバー等  
を差込んで軽くこじる  
ようにして外してください。



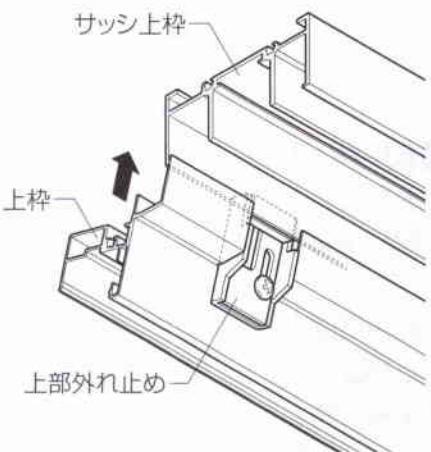
## ■外付け網戸のお手入れ方法

### ■網戸を取付けたままで行なう場合

- ①網戸をはさみ込み、両側から同時に水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、洗剤が残らないよう水洗いをした後、ふき取ってください。



### ■A部詳細図



### ■網戸を外して行なう場合

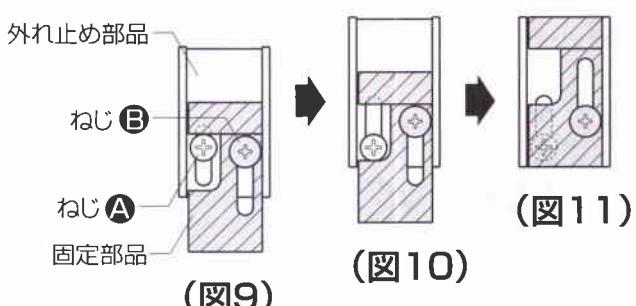
- ①網戸を取り外す場合は、下記(■網戸の取付け方法)の⑥→③の逆の操作をして取り外します。  
②網戸本体をやわらかいスポンジ等で水洗いしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、洗剤が残らないよう水洗いをした後、ふき取ってください。  
③網戸を取り付ける場合は、下記(■網戸の取付け方法)を参照してください。

### ■網戸の取付け方法

- ①ねじⒶねじⒷをゆるめ、上枠の外れ止め部品・固定部品をいっぱいに下げます。(図9)  
②ねじⒸをしまった状態から3回転ゆるめます。  
③網戸本体を建て込みます。  
④外れ止め部品を網戸本体の移動に支障のない範囲でいっぱいに上げ、ねじⒶを締めます。(図10)  
⑤上枠の固定部品をいっぱいに上げて、ねじⒷを締めます。(図11)  
⑥ねじⒸを締めます。

### ■上部外れ止め・固定部品詳細図

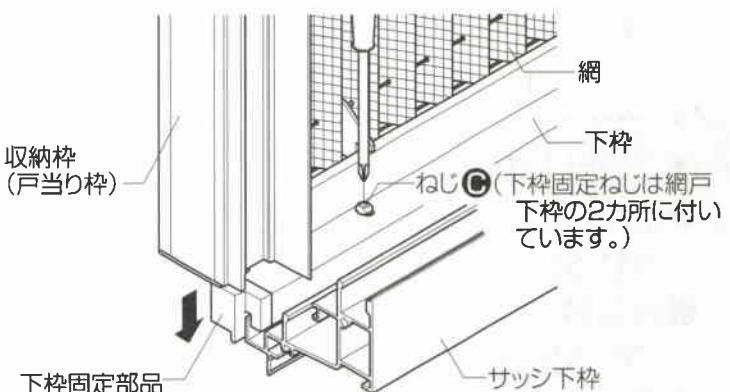
※上部外れ止めは、網戸上枠の2カ所に付いています。



## ■網戸の移動方法

- ①ねじBをゆるめ、上枠の固定部品をいっぱいにさげます。
- ②ねじCを2回転ゆるめます。
- ③網戸本体を固定したい位置に移動します。
- ④上枠の固定部品をいっぱいに上げて、ねじBを締めます。
- ⑤ねじCを締めます。

## ■下枠固定ねじ詳細図(B部詳細図)



## ■ウィングオープン用網戸のお手入れ方法

- 網戸本体が大きくなりますので、取付けたままでお手入れを行ってください。お手入れ方法は、内付け網戸と同様に行ってください。

# 横引きロール網戸の取扱い

## お願い

- 本商品(中間ストップ仕様を除く)は、手を離すと自動で網が収納されます。収納口付近に手や足などが無いことを確認してから、網を収納してください。はさまれて思わずケガにつながるおそれがあります。

## ご使用上のお願い

- 網戸によりかかったり、網を押したりしないでください。網がたるんだり、網戸本体や網が外れるおそれがあります。
- 強風時には使用しないでください。網戸がひらいてしまう、又は網を収納できなくなるなどの不具合が生じます。
- 網を収納するとき、収納しきれなかった場合は、戸先框を大きく引出して2~3回出し入れを繰り返して収納し直してください。(網が折れ曲がったまま収納されると、クセがつき収納しづらくなるおそれがあります。)
- 網を引出したときに、網の一部にたるみや波打ちが発生する場合がありますが、商品の特性によるもので、機能上の問題ではありません。
- 開閉時のスピードにより、網の収納部よりバタツキ音が発生しますが、商品の特性によるもので機能上の問題ではありません。
- 浴室での使用について
  - ・浴室など網がぬれる場所でご使用される場合は、網が乾いてから網を収納してください。カビの原因となります。
  - ・漂白剤は使用しないでください。色あせ、変色の原因となります。

## 操作方法のお願い

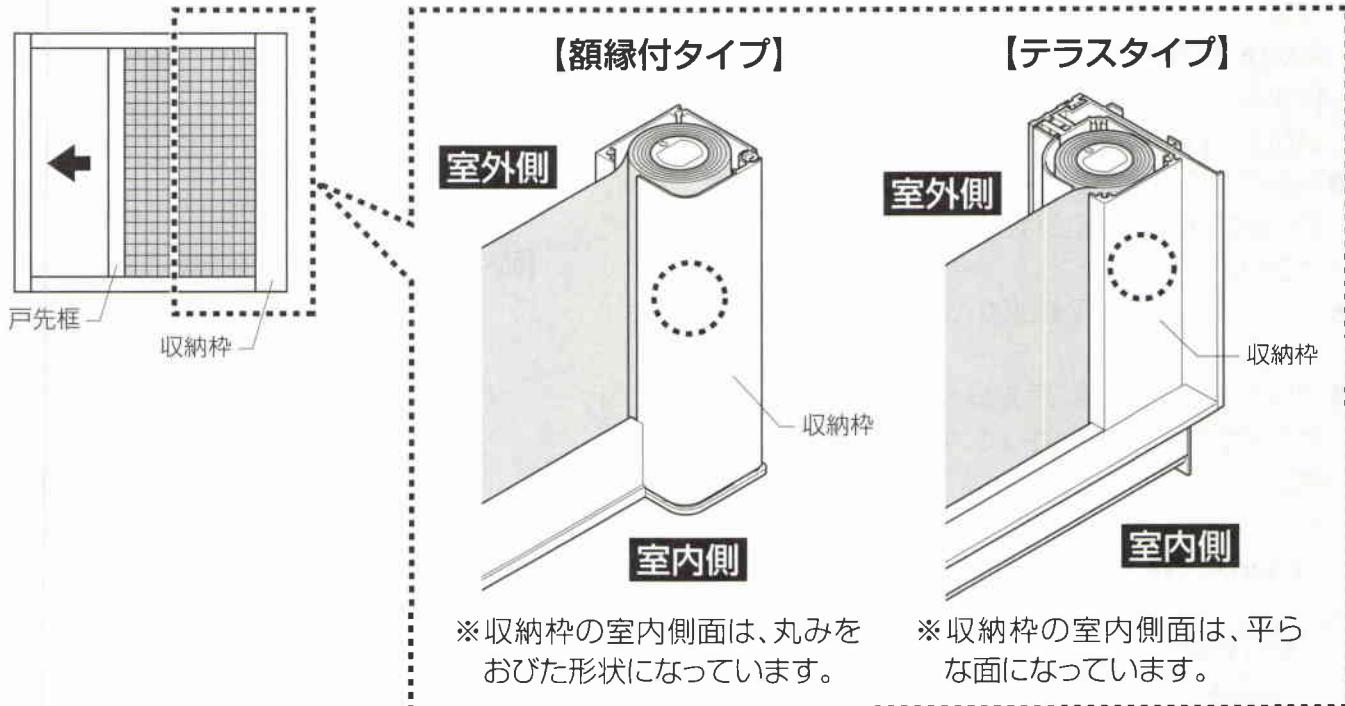
- 網戸の開閉操作は、戸先框の中央付近を持って行なってください。上部や下部を持って操作すると、戸先框が極端に斜めになり開閉が重くなったり、網がレールから外れる原因になります。(高さのあるハイサッシに取付けてもスムーズな開閉操作を確保するため、戸先框の上下にクリアランスを設けています。中央付近を持って操作しないと戸先框が斜めになり、開閉が重くなるおそれがあります。)
- 開閉操作はゆっくり行ってください。網が引っ掛かり開閉不良になる場合があります。
- 網を引出すとき、網が引っ掛かり戸先框が引出せなくなった場合はいったん戻して引出し直してください。

## お手入れ時のお願い

- 網戸の清掃時に網を強く押すと、網が外れことがあります。力を入れすぎないでください。
- 本製品をご自分で取外したり分解しないでください。分解すると開閉操作に支障が生じるおそれがあります。

## ■はじめに

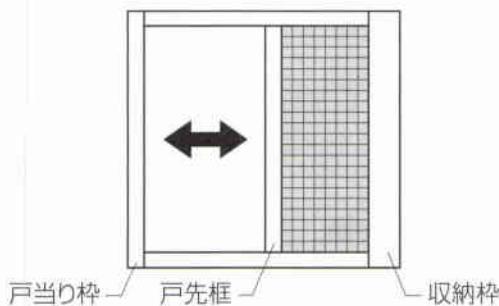
●本商品は、「横引きロール網戸(額縁付タイプ)」と「横引きロール網戸(テラスタイル)」の2タイプに分れて います。網の収納部(収納枠)の形状で、タイプを見分けることができます。



※なお(テラスタイル)については、さらに2タイプに分れます。

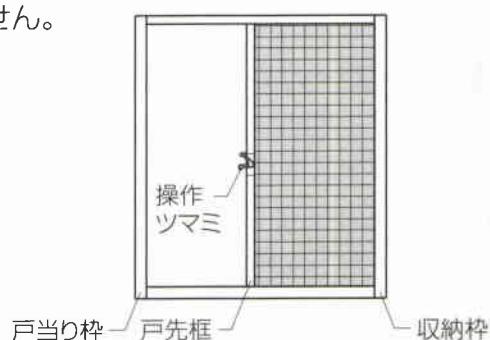
### 【全閉・全開仕様】

●手を離すと自動で網が収納されます。

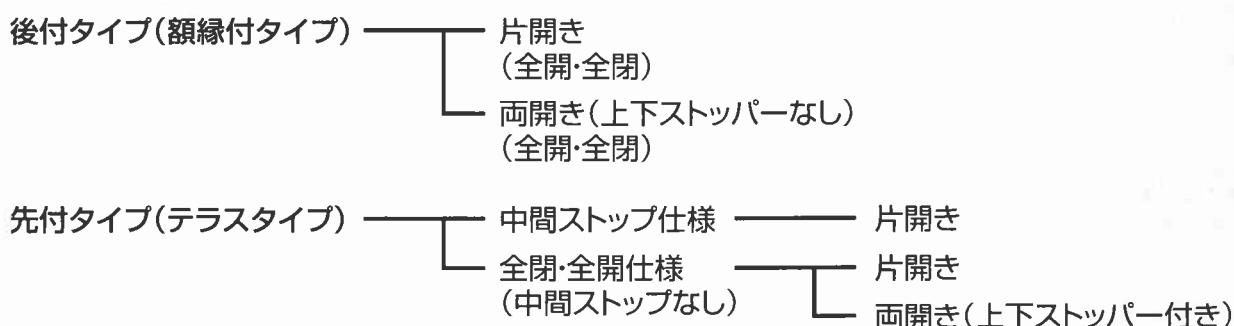


### 【中間ストップ仕様】

●操作ツマミがついており、操作ツマミを握らないと 戸先框がその位置で保持され、動かすことができま せん。



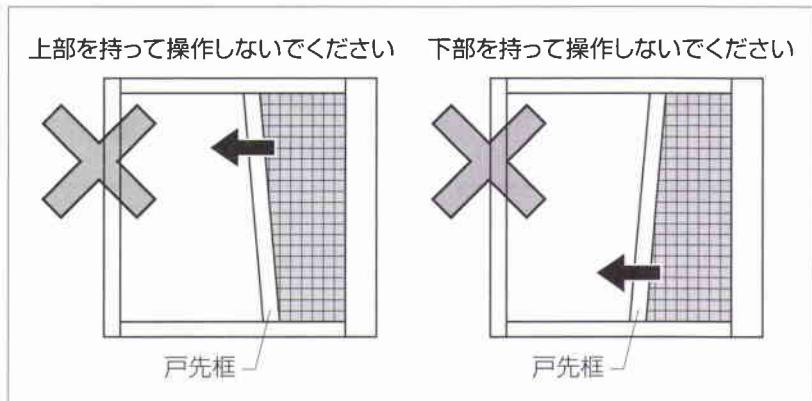
## ■タイプ区分



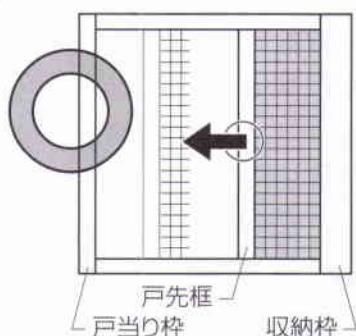
## ■網戸の操作方法

### ①額縁付タイプ・テラスタイル(全閉・全開仕様)

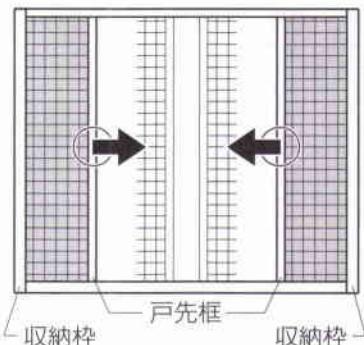
- 開閉操作は戸先框の中央付近を持って行ってください。(なお、開閉操作中に、戸先框が少し斜めになる場合がありますが、問題はありません。ただし、上部や下部を持って操作すると、戸先框が極端に斜めになり開閉が重くなったり、網が上下レールから外れる原因になります。)
- 戸先框から手を離すと、自動で網が収納されます。自動収納しきれなかった場合は、手を添えて最後まで収納してください。
- 勢いを付けて網を収納しないでください。破損の原因になります。
- 網戸を閉めるときは、戸先框と戸当り枠もしくは戸先框同士のマグネットが合わさっていることを確認してから、手を離してください。



### 【片引き】 中央付近を持って操作してください



### 【両引き】



### ■両引き(上下枠・ストッパー付き)の操作方法

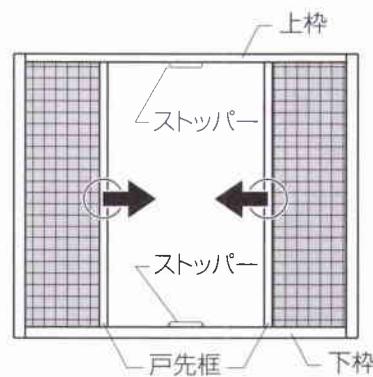
- テラスタイル(全閉・全開仕様)の両引きを、テラスやベランダのような大きな窓に取付ける場合、上下枠中央にストッパーが付きます。このストッパーにより、片側だけの網戸を出し切ったままで保持することができます。

### ●網戸を使用する(閉める)とき

- ①片方の戸先框を上下枠のストッパーにロックするまで引出す。(上枠ストッパーはロックがなく磁石のみなので、ずれた場合はもう一度磁石に合せてください)
- ②もう一方の戸先框を引出し、框同士のマグネットを合せて、固定します。

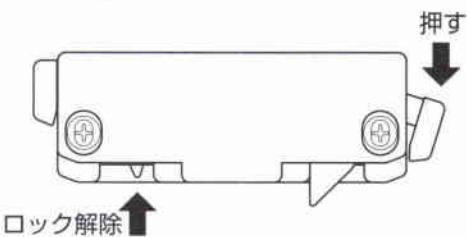
### ●網戸を収納するとき

- ①ロックのかかっていない方の戸先框を動かします。(どちらか先に引出した方の戸先框だけロックがかかります)
- ②下枠ストッパーのつまみを押してロックを解除します。
- ③残っていた戸先框を動かします。



### <右のつまみを押したとき>

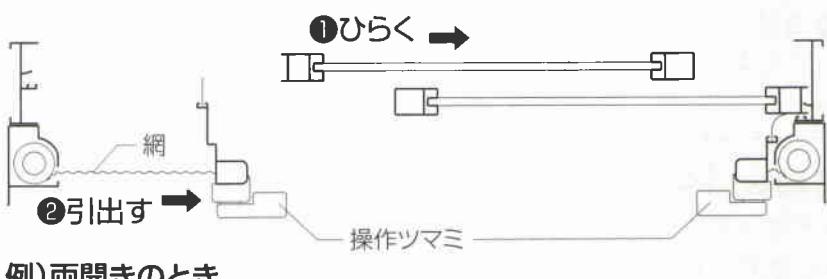
- 右のつまみを押すと左のロック、左のつまみを押すと右のロックが解除されます。



## 2 テラスタイル(中間ストップ仕様)

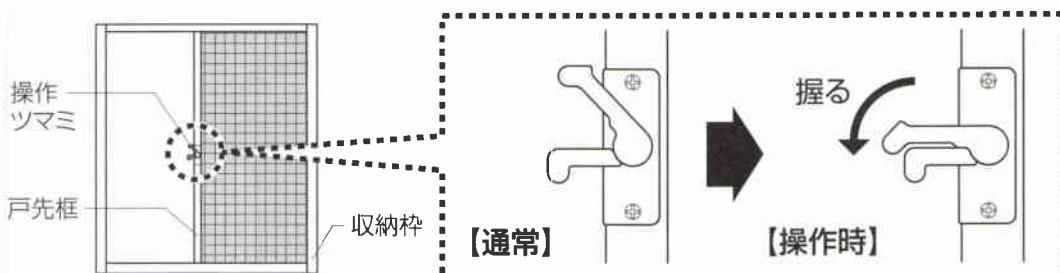
### ■網戸の操作方法

- ①サッシの障子をひらきます。
- ②操作ツマミを握ってから、網戸を引出します。

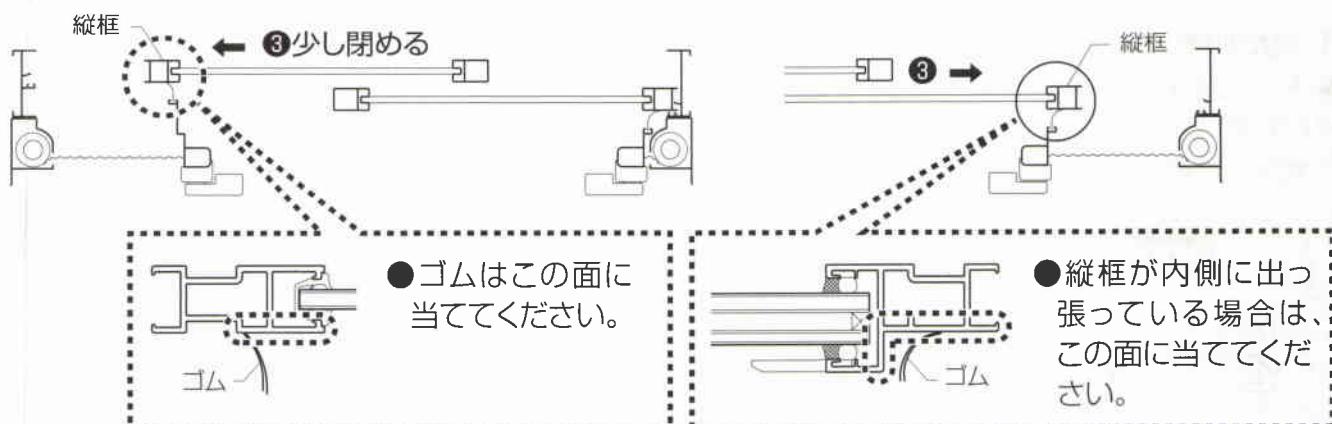


### ■操作ツマミについてのお願い

- 戸先框を動かす場合は、操作ツマミを握ってから動かしてください。  
操作ツマミを握らないと、戸先框がその位置で保持され、動かすことができません。



- ③網戸戸先框のゴムに、サッシの縦框が当たるところまでサッシの障子を閉めてください。



### ■操作上のお願い

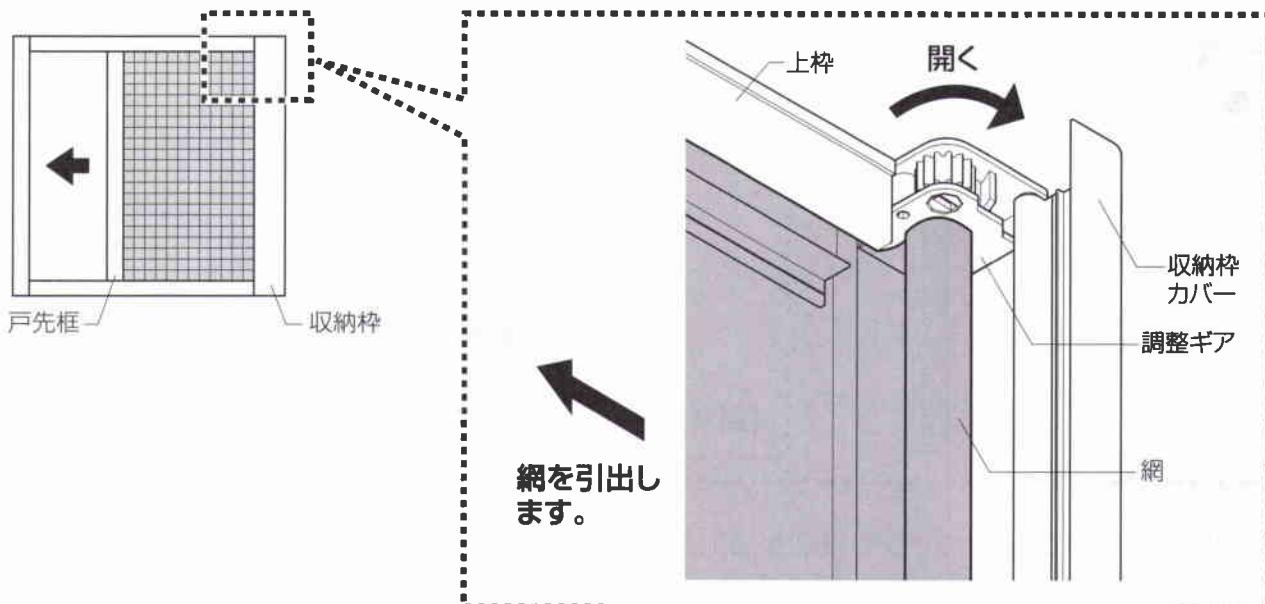
- 網戸は障子の全開位置までは引出せない設定になっています。室外側から操作ツマミを操作できるようにするためです。

## ■網収納の調整(現象別調整方法)

- 調整は下記内容で行えますが、調整を誤ると不具合につながります。下記内容をよく理解したうえで、調整を行ってください。  
※不明な場合は、当社お客様担当窓口にお問合せください。

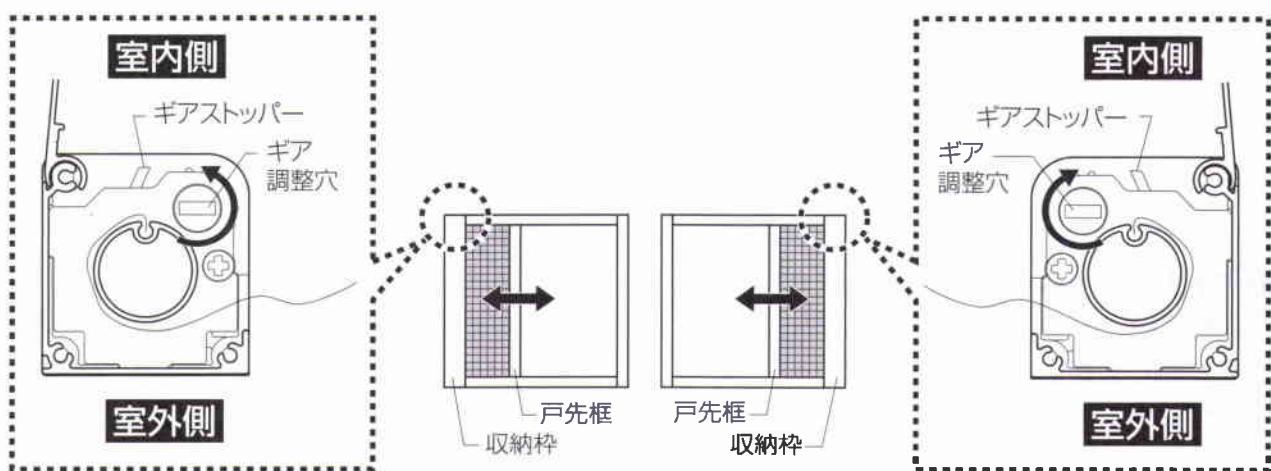
### ①額縁付タイプ

- まず最初に、網を引出した状態で、収納枠カバーをひらきます。調整ギアは上部に付いています。  
※収納枠カバーは、簡単にひらいてしまわないように固めに閉まっています。



#### ① 網が収納しきれない場合／網の収納が遅い場合

- ギア調整穴にマイナスドライバーを差込み、矢印方向に回します。  
※回転数は3回転以内としてください。内部のスプリングが破損し、網が収納できなくなります。  
※開閉力は重くなります。



【室内から見て調整ギアが左上の場合】

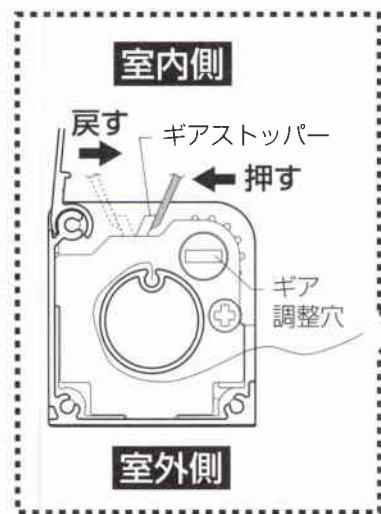
【室内から見て調整ギアが右上の場合】

## ② 網の収納が早い場合／開閉力が重い場合

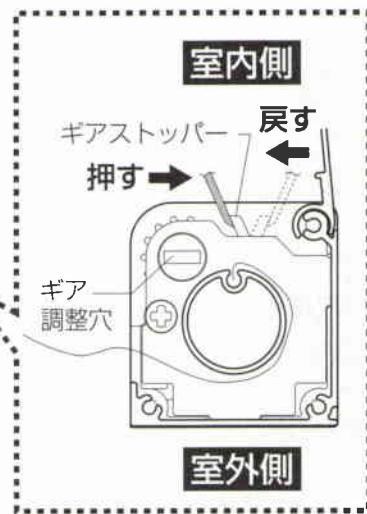
●ギアストッパーをマイナスドライバーで下図の矢印方向に操作を数回くり返します。

①ギアストッパーを「押す」方向へ動かします。

②ギアストッパーを「戻す」方向に動かします。（「押す」「戻す」の操作1往復でギアが1山戻ります）



【室内から見て調整ギアが左上の場合】



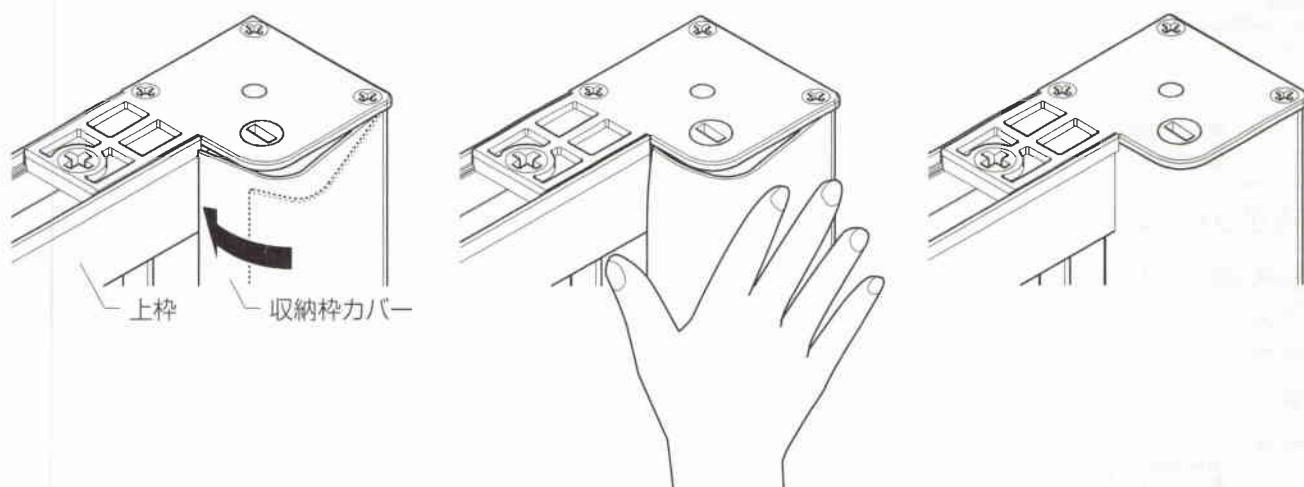
【室内から見て調整ギアが右上の場合】

●調整が完了後、収納枠カバーを閉めてください。

①収納枠カバーを閉めます。

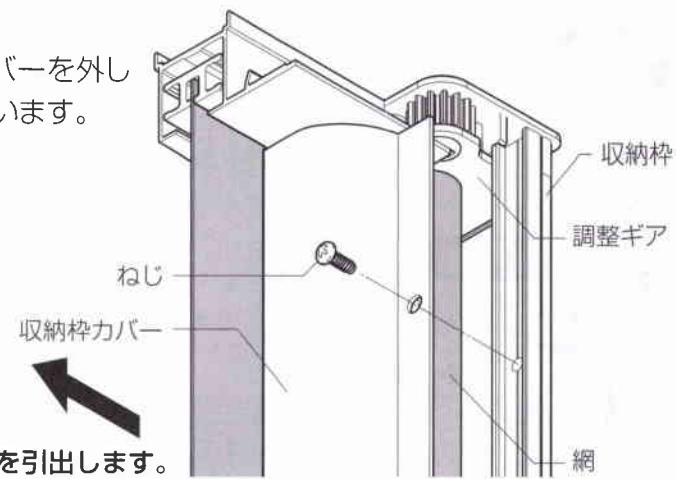
②上下枠にもぐりこむよう、強く  
押込みます。

③上下枠に収納枠カバーがもぐり  
こむことで、完全に閉まります。



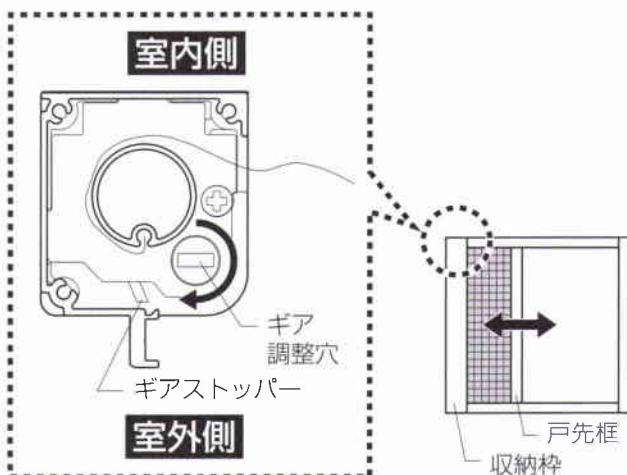
## 2 テラスタイル

- まず最初に、収納枠カバーのねじを外し、収納枠カバーを外します。又、網は引出します。調整ギアは上部に付いています。  
※取外したねじは無くさないように注意してください。

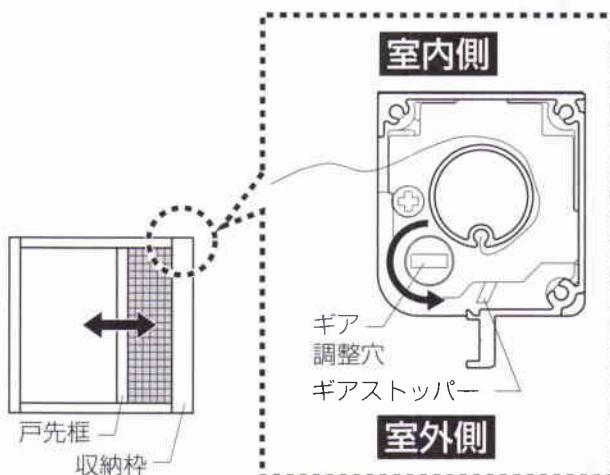


### ① 網が収納しきれない場合／網の収納が遅い場合

- ギア調整穴にマイナスドライバーを差込み、矢印方向に回します。  
※回転数は3回転以内としてください。内部のスプリングが破損し、網が収納できなくなります。  
※開閉力は重くなります。



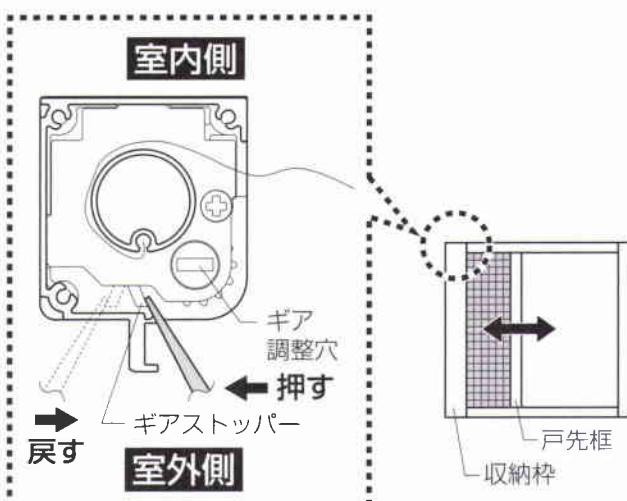
【室内から見て調整ギアが左上の場合】



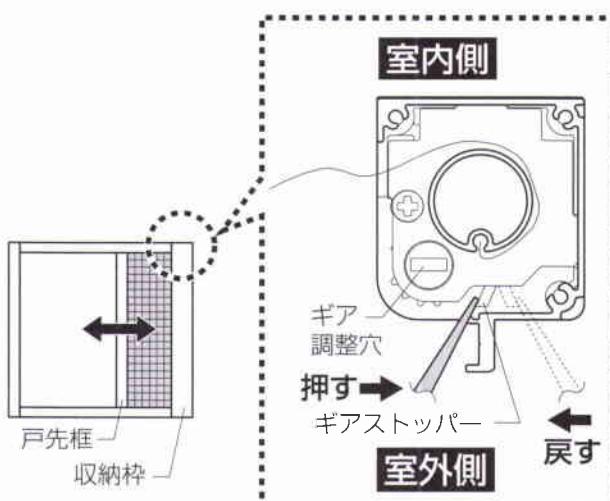
【室内から見て調整ギアが右上の場合】

### ② 網の収納が早い場合／開閉力が重い場合

- ギアストッパーをマイナスドライバーで下図の矢印方向に操作を数回くり返します。
  - ①ギアストッパーを「押す」方向へ動かします。
  - ②ギアストッパーを「戻す」方向に動かします。（「押す」「戻す」の操作1往復でギアが1山戻ります）



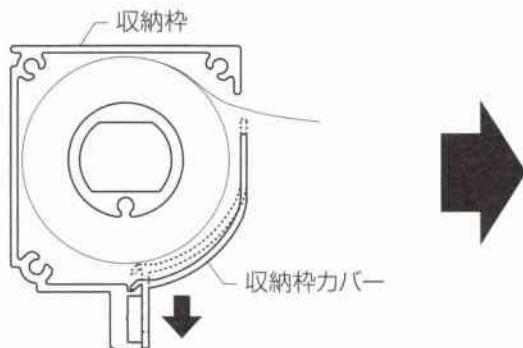
【室内から見て調整ギアが左上の場合】



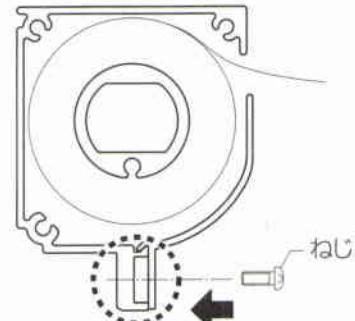
【室内から見て調整ギアが右上の場合】

●調整が完了後、収納枠カバーを取付けてください。

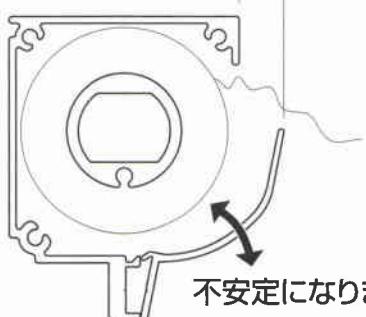
①収納枠カバーと収納枠がかみ合うように、  
収納枠カバーを合わせます。



②収納枠カバーと収納枠がかみ合っていることを  
確認してから、ねじで固定します。



面が揃いません。



不安定になります。

※かみ合っていないと、  
収納枠カバーは不安  
定になり、収納枠と  
面が揃いません。

## ■お手入れ方法

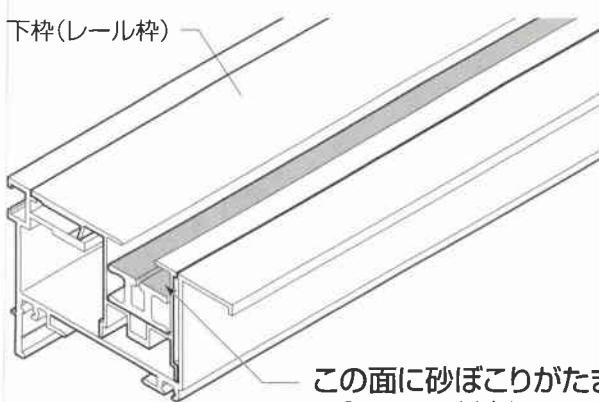
### ■レール枠の清掃方法

●掃除機で砂やほこりを吸い取り、水ぶきをしてください。  
特に汚れがひどい場合は、歯ブラシなどで汚れを落として  
ください。汚れを放置しておくと開閉できなくなります。

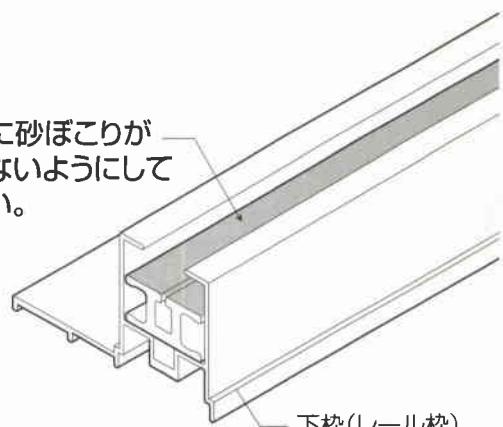


●下枠(レール枠)内に、砂ぼこりがたまらないようにしてください。  
汚れを放置しておくと開閉できなくなります。

※中間ストップ仕様の場合は、戸先框が保持されなくなります。



この面に砂ぼこりが  
たまらないようにして  
ください。



下枠(レール枠)

# 突き出し窓・すべり出し窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-100シリーズ □EXシリーズ □MSシリーズ □TBR-100TC  
□PRO-Rシリーズ □PRO-SE

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■ご使用上のお願い

- 障子開放時、ストップ機構はありませんので、障子を押さえながら行ってください。風あるいは物が当たって障子が閉まることがあります。
- 窓を閉めるとき、閉鎖位置にきたら無理な力を加えないでください。ハンドル等が破損するおそれがあります。

## ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回転させ、ロックを解除してください。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。
- ③窓の両側に付いているフリクションアーム・ステーが伸びて障子が止まります。(出寸法約200mm・突き出し窓の場合)
- ④障子を閉めるときは、ハンドルを上向きのまま手前に引いてください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。

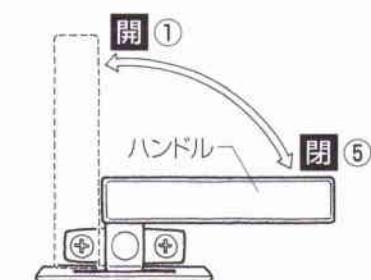
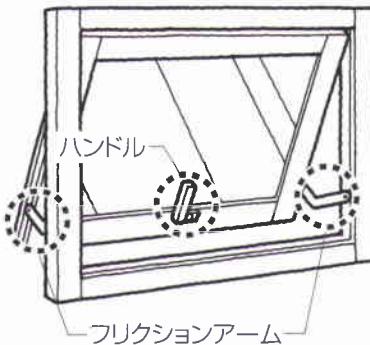
- 商品に注意ラベルを張付していますので、その指示をお守りください。



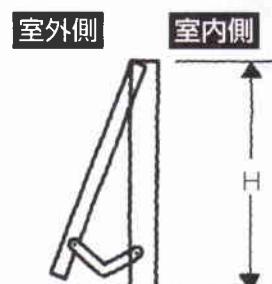
### ▲注意

窓やガラスの落下防止のため、風の強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。

## ■突き出し窓

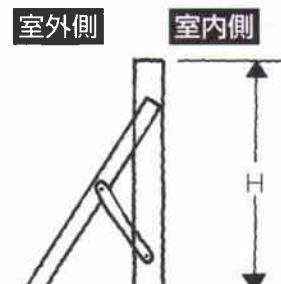
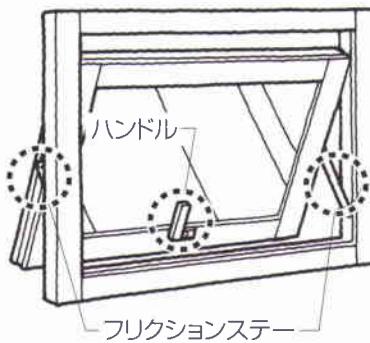


(※キー付の設定もあります)



※障子の出寸法は、窓の高さには関係ありません。  
約200mm

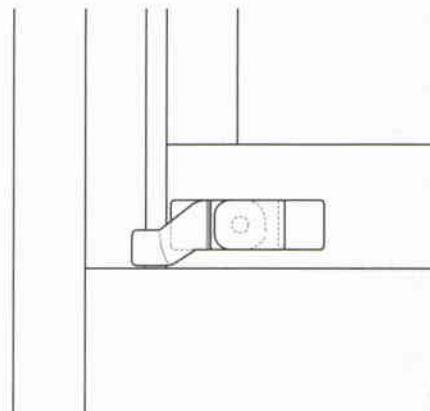
## ■すべり出し窓



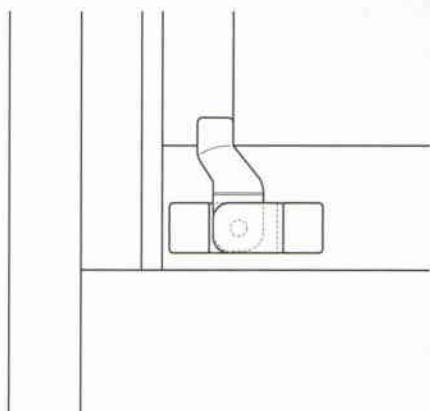
●開き角度  
※サッシ高さにより、角度が違います。

## ■サブロック(オプション)の操作方法

- ①ロック部を回転させて、ロック状態にすることで、ロック機能が働きます。
- ②解除するときは、ロック部を90°回転させます。
- 防犯のため、就寝・外出時には必ず窓を閉めて、ハンドルで施錠すると同時にサブロックをかけてください。



ロック状態



解除状態

# 内倒し窓・外倒し窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-100シリーズ □BL-70BNII □EXシリーズ □MSシリーズ  
□PRO-Rシリーズ □PRO-SE

## ▲注意

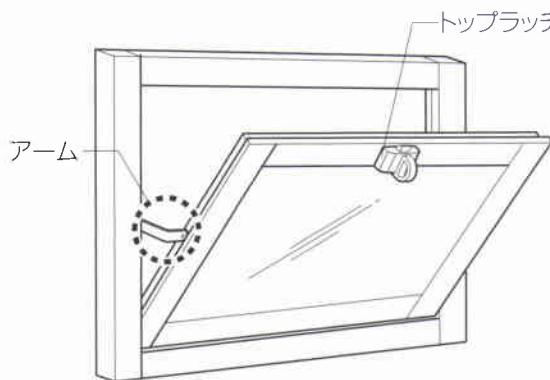
- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(トップラッチ)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### ■ご使用上のお願い

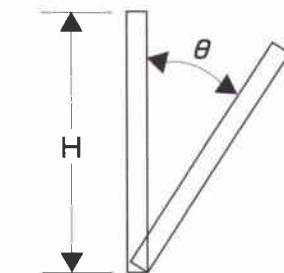
- 障子を閉めるときはトップラッチをしっかり持って閉めてください。風にあおられることがあります。

### ■障子の開閉(内倒し窓)

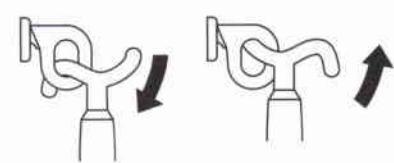
- ①トップラッチを下に引いてください。窓の位置が高くて手が届かない場合は、フック棒(オプション品)を使用してください。
- ②トップラッチを下に引いたまま、手前に引いてください。
- ③窓の両側に付いているアームが伸びて障子が止まります。
- ④障子を閉めるときは、トップラッチを持って押してください。
- ⑤トップラッチが完全に引掛るまで押してください。



■障子の開き角度



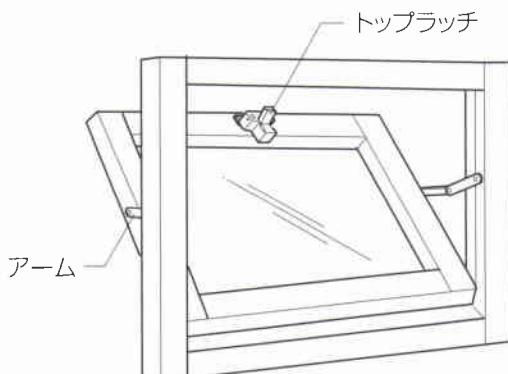
■フック棒(オプション品)



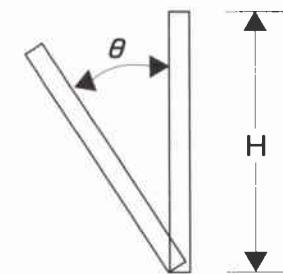
※サッシ高さにより角度が違います。

### ■障子の開閉(外倒し窓)

- ①トップラッチを下に引いてください。窓の位置が高くて手が届かない場合は、フック棒(オプション品)を使用してください。
- ②トップラッチを下に引いたまま、外側に押してください。
- ③窓の両側に付いているアームが伸びて障子が止まります。
- ④障子を閉めるときは、トップラッチを持って引いてください。
- ⑤トップラッチが完全に引掛かるまで引いてください。



■障子の開き角度



※サッシ高さにより角度が違います。

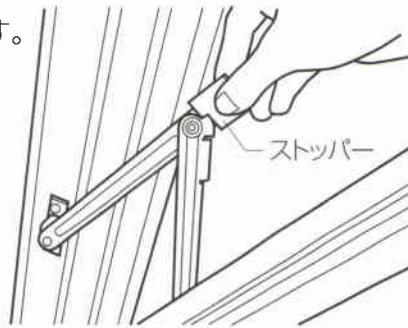
## ■内倒し窓の清掃時操作方法(PRO-SE 2段ストッパー仕様のとき)

- アームストッパーを操作して、内倒し角度を大きくすることができます。

操作するときは、必ず障子を手でささえながら行なってください。

- ①アームのストッパーを引きます。
- ②ストッパーを少し回転させ、アームのツメに引っ掛けます。
- ③反対側のストッパーを同様に操作します。
- ④窓を手でささえながら開きます。
- ⑤窓を閉めるときは、そのまま閉めることができます。

ストッパーはセット状態にもどります。



清掃時操作方法
●窓の開閉は、必ず窓を支えながら作業をしてください。
①ストッパーを引いてください。
②ストッパーを回転させ、アームのツメにひっかけてください。
③反対側のストッパーを同様に操作してください。
④窓を手で支えながら開いてください。⑤窓を閉めるときは、そのまま閉めることができます。

## ■内倒し窓用固定網戸の脱着方法

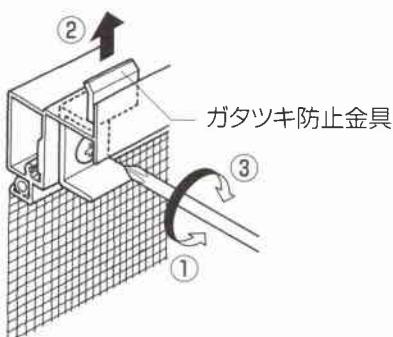
### 【網戸建て込み方法】

- ①障子の外側に網戸を乗せます。
- ②網戸を下に押さえながら障子を閉めます。
- ③障子を再度開き、網戸を外に押し出します。
- ④ガタツキ防止金具をセットします。



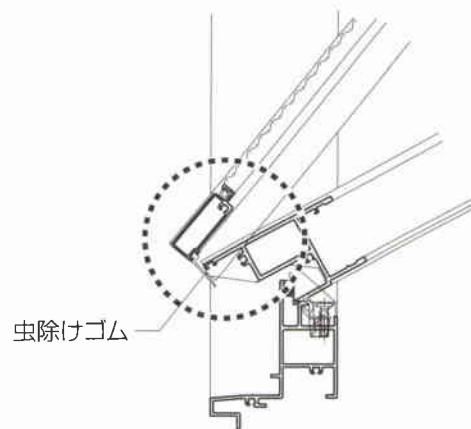
### 【ガタツキ防止金具セット方法】

- ①ねじをゆるめます。
- ②ガタツキ防止金具を上げます。
- ③ねじを締めます。



### 【網戸取外し方法】

- ①ガタツキ防止金具を解除します。
- ②網戸上框を室内側へ引き込みます。
- ③虫除けゴムのベース部が障子に引っ掛からないよう下框を持ち上げながら網戸を引き込みます。



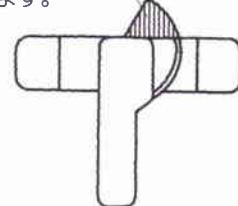
# 上げ下げ窓の取扱い(クレセント方式・ラッチ方式)

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-SE

## ■ご使用上のお願い

- クレセント方式上げ下げ窓のクレセントを左に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。実施しないと、障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。
- ラッチ式上げ下げ窓の可動障子を閉めるときは、必ずラッチを手で支え、上げ下げしてください。実施しないと部品が破損するおそれがあります。

※この部分が外障子にあたります。



## ■障子の開閉

### ■クレセント方式

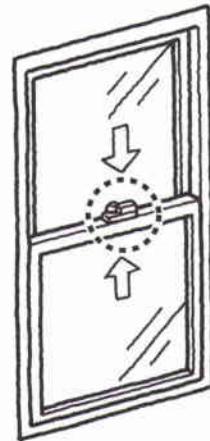
- クレセント方式の中には、障子が内外連動で動く「滑車タイプ」と、障子がそれぞれ内外独立して動く「バランサータイプ」があります。

①クレセントを左に180°回してください。ロックが解除され、障子が移動可能になります。

※クレセントは必ず180°回転させてください。回転させないと障子が当たり、破損します。

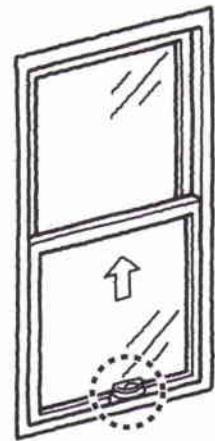
②閉めるときは、クレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてからクレセントを回してロックしてください。

### ■クレセント方式 (PRO-70AT・PRO-SE)



### ■ラッチ方式 (PRO-II)

※ラッチは大きさにより2個所取付となります。



### ■ラッチ方式

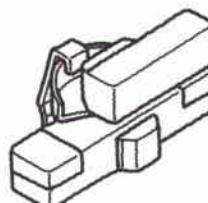
- ラッチ式は内(下)障子が開閉できます。

①ラッチ上部のラッチレバーを押下げることにより障子が移動可能となります。

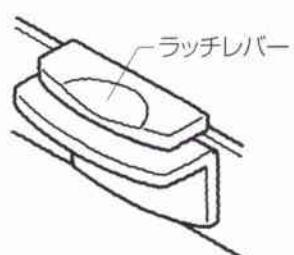
②閉めるときは、開けるときと同様、ラッチレバーを押下げ、障子をスライドさせます。

※窓を閉めたら、必ずラッチレバーが上がっていることを確認してください。

### ■クレセント



### ■ラッチ



## ■可動障子の内倒し方法(ラッチ方式上げ下げ窓)

●ガラス面のお掃除に便利な「障子内倒し機構」を採用しました。サブロックを内側にスライドすることにより可動障子を内倒しできます。(PRO-IIシリーズの場合)

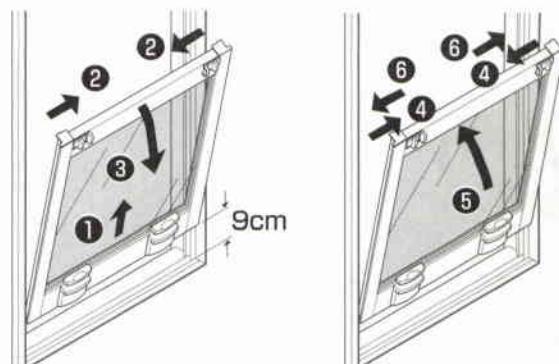
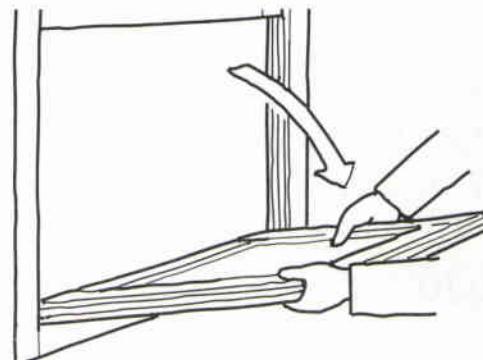
## ■お手入れ時のお願い

●可動障子を倒す場合は、固定アームを装備しておりませんので、常に倒した障子を手でささえ、下記操作手順に従って操作してください。

## ■可動障子の内倒し手順

- ①障子を2段(9cm)上げた状態にします。
- ②左右のつまみを内側に引き寄せ、  
③障子を室内側に静かに倒します。
- ④元に戻すときは、つまみを引き寄せたまま、  
⑤障子を立て起こし、外側に押し付ける。
- ⑥つまみを矢印方向に緑の表示が見えるまで  
押し込みます。
- ⑦障子の上部を持ち手前に引き、外れない  
ことを確認します。

## ■障子内倒し機構



## ■ガラスの建込み方法(クレセント方式上げ下げ窓)

### ■滑車タイプ

●必ず内障子からガラスを入れてください。外障子に先に入れると内障子が動き、おもわぬケガにつながるおそれがあります。

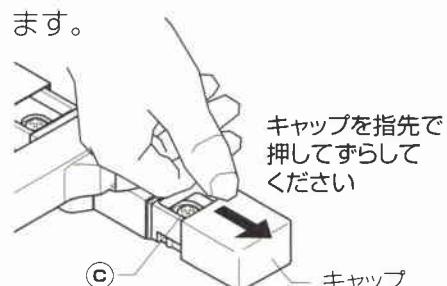
- ①左右の内・外障子ストッパーを外し、内外の障子がやりこせる状態にします。
- ②クレセント及びクレセント受け取付け板を外します。
- ③障子を閉めて内障子にガラスを入れます。
- ④外障子にガラスを入れます。
- ⑤クレセント及びクレセント受け取付け板を元通りに取付けます。
- ⑥左右の内・外障子ストッパーを元通りに取付けます。

### ■バランサータイプ

- ①クレセントをかけた状態で内障子にガラスを入れます。
- ②クレセントを開錠してクレセントを外します。
- ③内障子を開けて、外障子のクレセント受け取付け板を外します。
- ④外障子にガラスを入れます。
- ⑤クレセント・クレセント受け取付け板を元通りに取付けます。

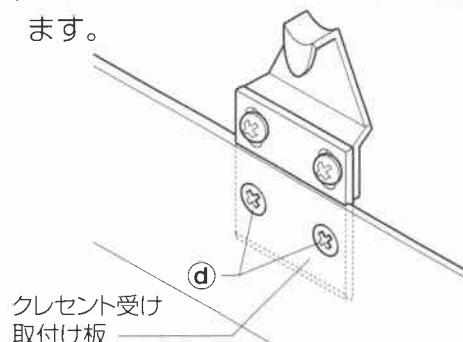
### ■クレセントの外し方

- ①キャップを左右にずらします。
- ②プラスドライバーでねじ④を外します。



### ■クレセント受け取付け板の外し方

- プラスドライバーでねじ④を外します。



## ■上げ下げ窓用網戸の取付け方法

### ▲注意

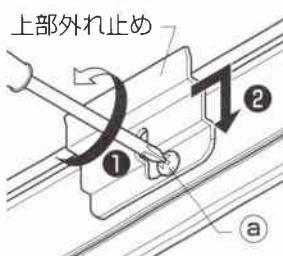
- 網戸の建込み後、必ず上部外れ止めをセットしてください。網戸が落下するおそれがあります。

### ■取付け上のお願い

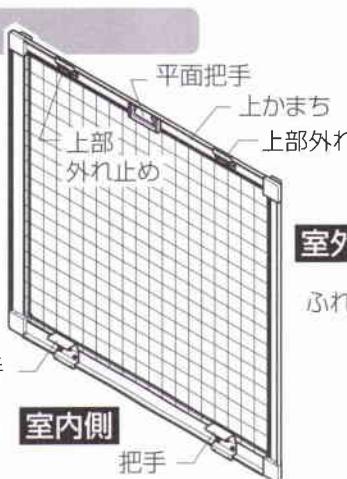
- 網戸の建込みは、2人以上で行ってください。特に、外部にベランダなどがない場合の建込み作業は、網戸を落とさないよう慎重に行ってください。

### ■取付け順序

- ①建込み前に上部外れ止めのねじ②をゆるめ、上部外れ止めを下げます。

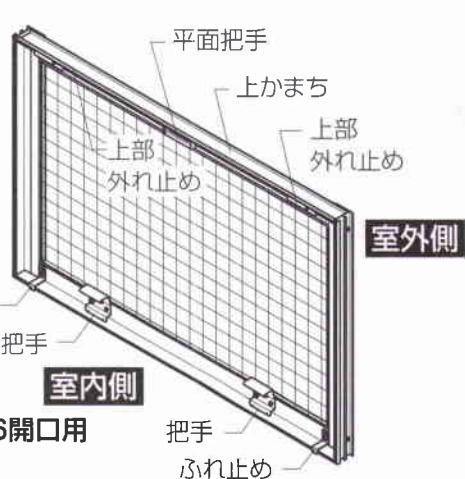


【障子】



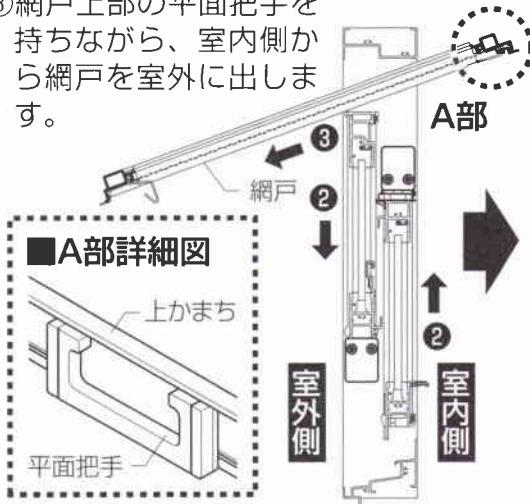
●17開口用 室内側

●36開口用 室内側

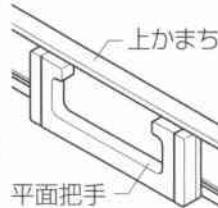


- ②障子を最大限開放します。

- ③網戸上部の平面把手を持ちながら、室内側から網戸を室外に出します。



■A部詳細図



A部

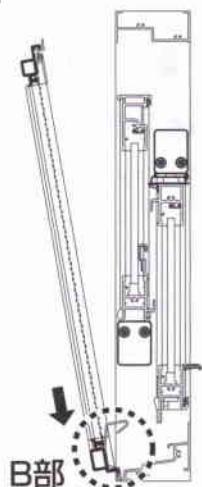
- ④下部の部品を下枠のレールに引っ掛けます。  
※17開口用は把手、36開口用はふれ止めを引っ掛けます。

#### ■B部詳細図

●17開口



●36開口



B部

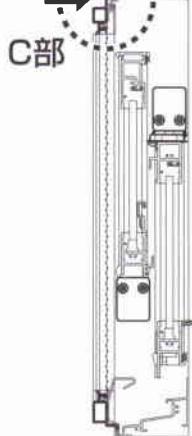
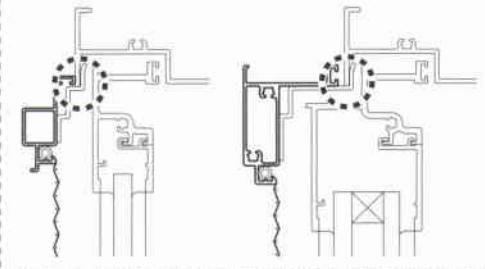
- ⑤平面把手を持って、網戸の上かまちを上枠に引寄せます。

- ⑥上部外れ止めを右図のようにセットして網戸を固定します。

■C部詳細図

●17開口

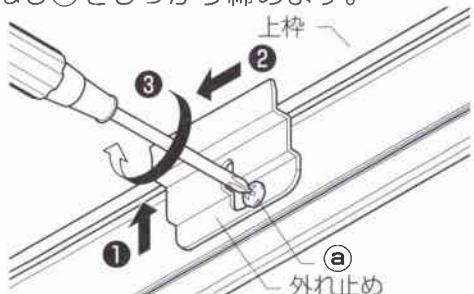
●36開口



C部

#### ■上部外れ止めセット方法

- ①上部外れ止めを上に上げます。
- ②上部外れ止めを横にスライドさせます。
- ③ねじ②をしっかりと締めます。



※セット後にねじのゆるみがないことを確認してください。

- ⑦網戸が外れないことを確認します。

# ガラスルーバーの取扱い

□ガラスルーバー □PRO-SE

## ■ご使用上のお願い

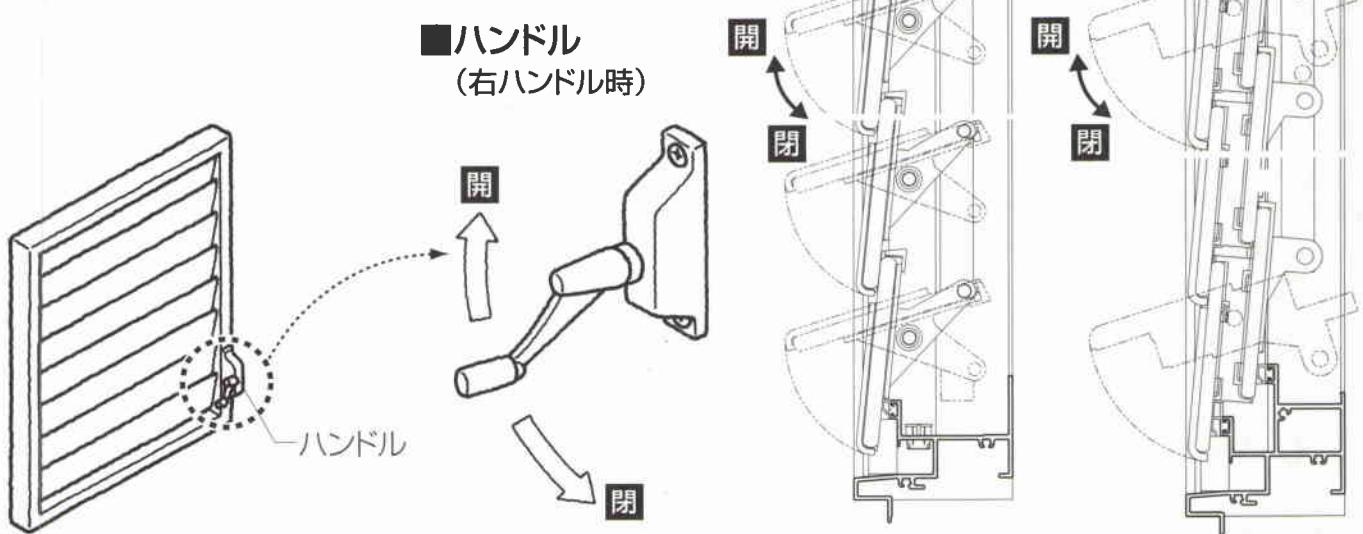
- ガラスの切り口部分は面取りしてありますが、万一触れる場合は注意してください。
- 開閉終了後はハンドルの回転が重くなったらそれ以上まわさないでください。破損のおそれがあります。
- ガラスルーバーが開いた状態では、外からガラスが外しやすくなります。就寝時・外出時は、必ずガラスルーバーを閉じてください。

## ■お手入れ時のお願い

- 防火用のステンレス製ガラスアタッチメントは、サビにくい材質を使っていますが、環境条件によっては、汚れや塩分やもらいサビを放置するとサビ発生のおそれがあります。  
7頁の「お手入れ方法」を参考の上、汚れの軽いうちに清掃してください。

## ■ルーバーの開閉操作

- ①ハンドルを回すと、ルーバー(羽根)が開きます。  
(商品により、70~90°位まで開きます。)
- ②ハンドルを逆に回すと、ルーバー(羽根)が閉まります。  
※開閉金具は下記のハンドル式の他に五角にぎり式、  
滑車式のものがあります。



注)左ハンドル時は、開閉が  
逆になります。

[シングルガラス]  
ルーバー

[ダブルガラス]  
ルーバー

# オーニング窓の取扱い

□PRO-SE

## ▲注意

- 風の強いときはハンドルを回して窓を閉めてください。窓を閉めないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

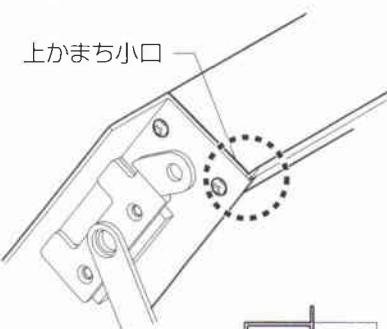
### ■ご使用上のお願い

#### 【障子開閉について】

- 窓を閉める際はハンドルが動かなくなるまで回してください。
- 開閉終了後はハンドルが動かなくなったらそれ以上回さないでください。破損のおそれがあります。

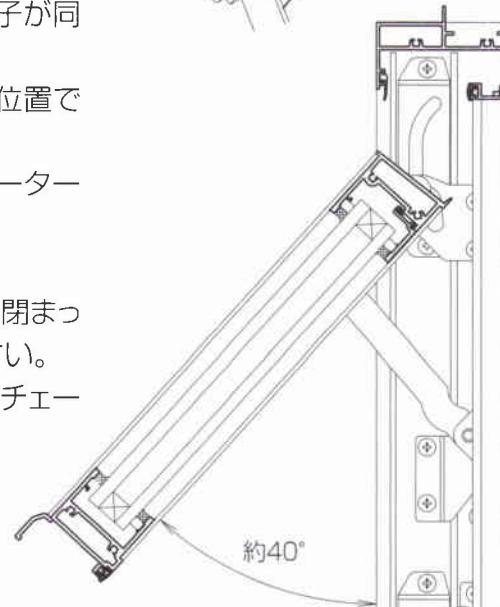
#### 【お手入れについて】

- 清掃時などに上かまちの小口部分には手を触れないようご注意ください。



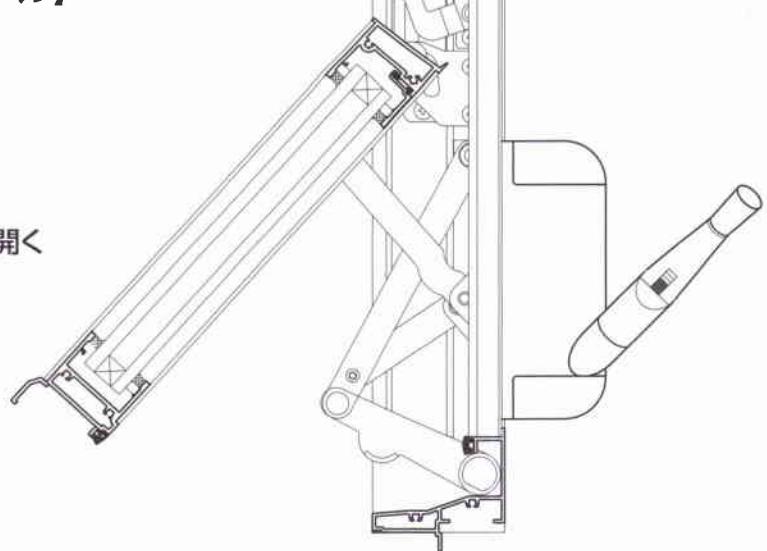
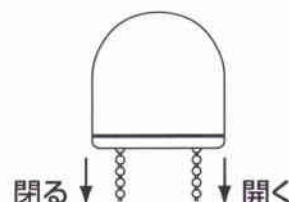
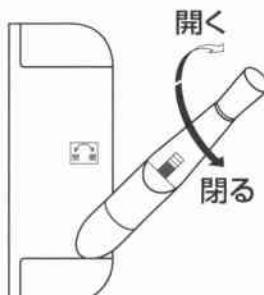
### ■障子の開閉

- ハンドルを回転させることによりすべての障子が同時に開閉します。
- 窓の角度はハンドル操作により0～約40°の位置で無段階に調節できます。
- ハンドル形状は標準ハンドルと高窓用オペレーター ハンドルの2種類あります。  
①ハンドルを時計回りに回すと障子が開きます。  
②ハンドルを逆に回すと障子が閉まります。窓が閉まつてもハンドルが動かなくなるまで回してください。  
③高窓用オペレーター ハンドル使用時はボールチェーンを操作し、障子を開閉してください。



【ハンドル】

【オペレーター ハンドル】



## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### ■ご使用上のお願い

- 非常時開放操作をスムーズに行うために、下記のことをお守りください。

- ・ チェーン把手まわりに物を置かないでください。
- ・ 把手のチェーンを何かにまきつけておかないでください。

- フック棒での外倒し窓の閉鎖は、窓高さと開き角度により操作範囲に制限があります。  
(上枠の高さが床面より2.4m程度が上限で、開き角度は60°より小さいこと。)

### ■窓の開閉操作

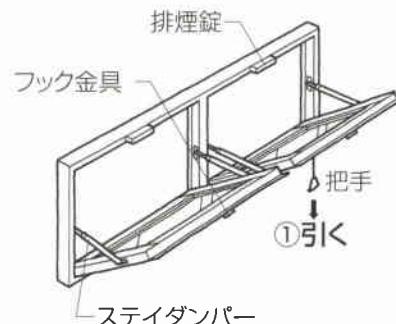
#### ■障子開放

- 把手チェーンを引いてください。上枠にあるロックが解除され、ステイダンパーの力で障子が開き、設定角度で自動停止します。

#### ■外倒し窓



#### ■内倒し窓



#### ■横軸回転窓



#### ■障子閉鎖

- 上枠にあるフック金具にフック棒(オプション品)をかけ、引きます。内倒し窓・横軸回転窓の場合は、押上げます。
- 外倒し窓、内倒し窓にはワイヤーにて窓を閉める排煙復帰装置(オプション品)の設定もあります。

## ■閉鎖方式

### ●外倒し窓



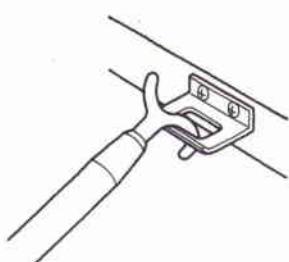
### ●内倒し窓



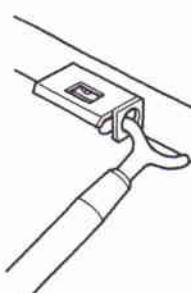
### ●横軸回転窓



【フック金具】



【フック金具】



【フック棒】  
(オプション品)



# 排煙窓、オペレーターの取扱い

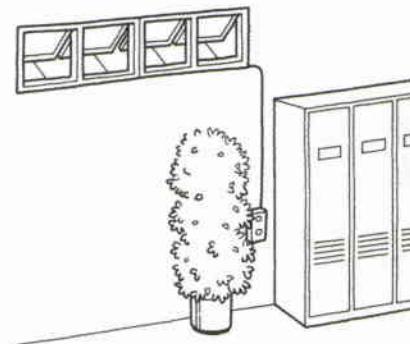
(開口形式:外倒し窓・内倒し窓・横軸回転窓)

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### ■ご使用上のお願い

- ハンドルボックスの周囲には、物を置かないでください。非常時の解放操作が遅れてしまうおそれがあります。



- ハンドルは、いつでも使えるよう保管場所を決めて保管してください。



- 閉鎖操作時にハンドルレバーの回転が重くなったら、それ以上回さないでください。破損するおそれがあります。



### ■定期点検のお願い

- オペレータ排煙窓は、室内の煙などの排煙を目的とした非常開放用窓ですので、1ヶ月に1度を目安に作動確認を行なってください。

よって、オペレータ排煙窓は非常時開放用のため、1日に何回も開閉する換気窓としての使用には適しません。

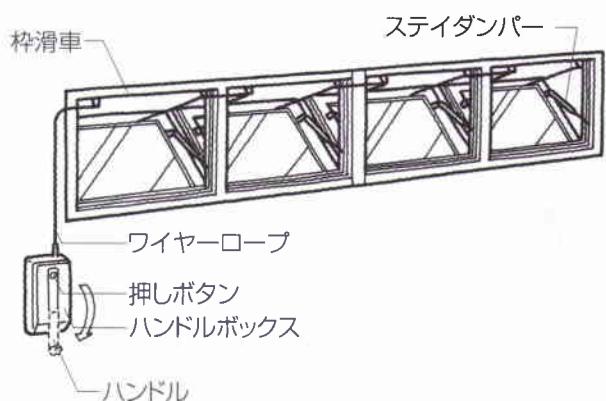
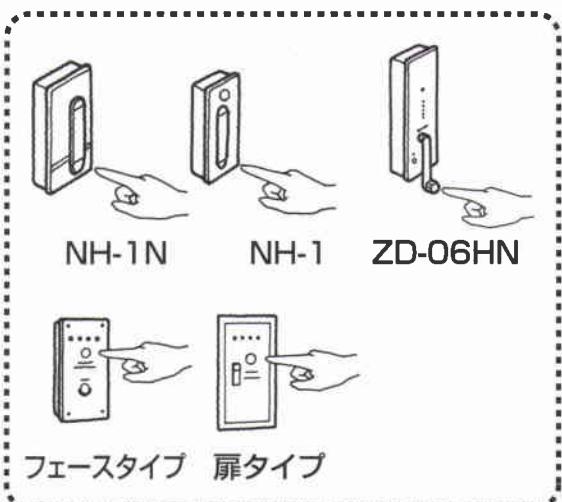
- 浴場、プールなどに使用されている場合は、環境条件により、装置のサビ、劣化が早く進みます。定期的な点検(月1回程度)や清掃を行なってください。又オペレーター装置などのメンテナンス契約をお進めします。当社お客様担当窓口へご相談ください。



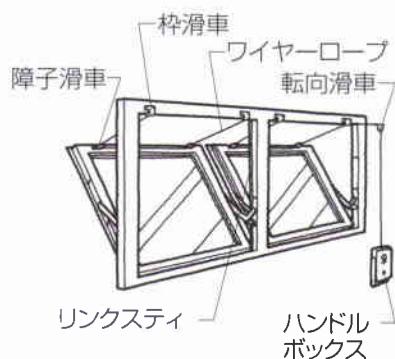
## ■障子の開閉

### ■開放操作

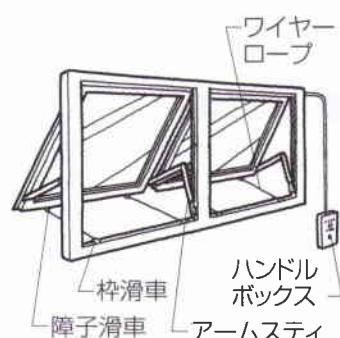
- ハンドルボックスの開あるいは押しボタンをいっぱいまで押込みます。(各窓が1窓ずつ開いていき、全窓開きます。)



### ■外倒し窓



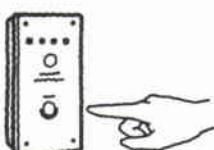
### ■突き出し窓



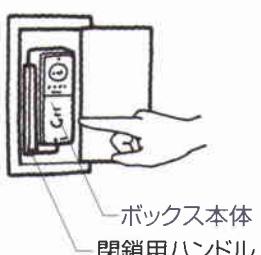
## ■閉鎖操作

- ハンドルを取り、差込み、時計方向に回します。(又は、ハンドルが内蔵されているタイプは、ハンドルを引出し時計方向に回す。)

### ●フェースタイプ



### ●扉タイプ



### ●ZD-06HN



### ●NH-1N



#### 【ハンドル収納】



### ●NH-1



#### 【ハンドル収納】



# 開き窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-100シリーズ □EXシリーズ □MSシリーズ □TBR-100TC  
□PRO-Rシリーズ □PRO-SE

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### お願い

- 障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指をはさまないように、アームストッパー又は調整器から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬケガにつながるおそれがあります。

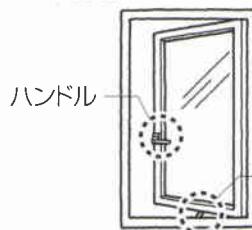
### ご使用上のお願い

- 障子を開けたときは必ずアームストッパー又は開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- アームストッパー又は開き調整器の操作はハンドルをしっかりと持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を動かすときは、必ずアームストッパーや調整器を解除してから行ってください。障子や金物が破損するおそれがあります。
- 障子を閉めるときは、ハンドルを水平に保ったまま(開位置)閉めて、障子が枠のパッキン材に当たってからハンドルを閉位置にしてください。ハンドルやサッシが破損するおそれがあります。
- 非常用進入口は、非常に消火活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時は閉鎖し、施錠してください。

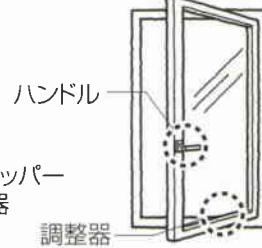
### ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が開閉可能となります。)
- ②ハンドルを持ち障子が止まるまで内開きは手前に、外開きは押出してください。(開き調整器が動き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)
- ※ガラスに▼マークが付いている窓は、非常用進入口で障子が90°まで開くように設定されています。
- ③さらに開く場合は、アームストッパー又は開き調整器の「押」を押しながら、障子を開いてください。次の設定角度で止まります。
- ④障子を閉めるときは、アームストッパー又は開き調整器の「押」を押し動き出したら離し、障子を閉めてください。
- ⑤障子を閉めたら必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

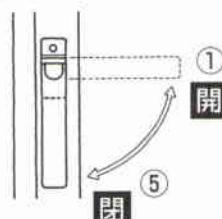
### ■外開き窓



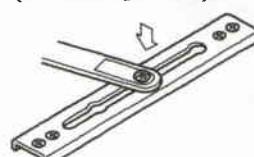
### ■内開き窓



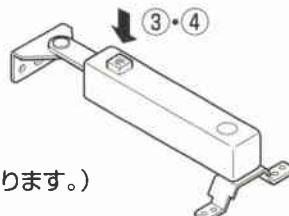
### ■ハンドル



### ■アームストッパー (PROシリーズ)



### ■開き調整器



(※キー付の設定もあります。)

- 商品に注意ラベルを張付してありますので、その指示をお守りください。



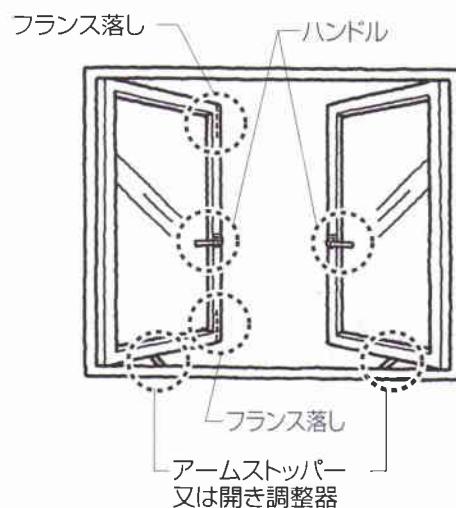
## ■フランス落し

- 両開き窓の場合、片側を固定するフランス落しが上下に取付けられています。
- ※フランス落しの固定忘れ、又は破損があつたりすると、ロックされても扉が開くおそれがあります。ロック後確認してください。

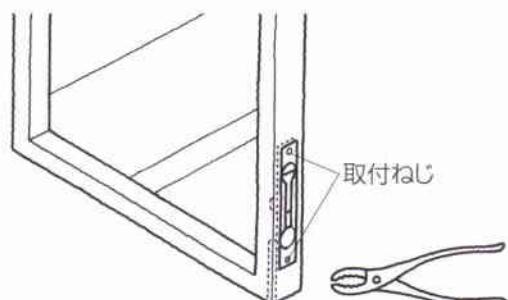
## ■フランス落しに破損等がないのに、固定解除操作をしても扉がスムーズに開かない場合

※ロット棒のゆるみが原因の場合が多いので次の操作で調整してください。

- ①フランス落し取付ねじを外します。
- ②フランス落しを手前に引きながら、10mm程度持ち上げて、障子を開きます。
- ③障子をアームストップー又は調整器で固定したら、フランス落しを取り付け、ねじを締付けます。
- ④ロット棒をプライヤーなどで締付けます。
- ⑤障子を閉めます。

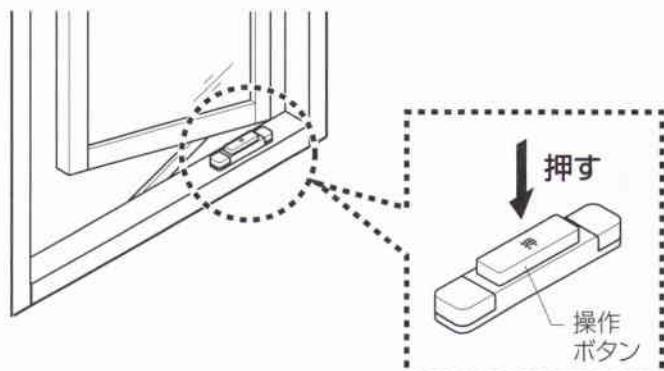


## ■フランス落し



## ■インペイ式調整器(オプション)

- 下枠にあるボタンの「押」を押しながら障子の開閉を行なってください。障子が動きだしたら、ボタンから手を離してください。



## ■ハンドルの種類(オプション)

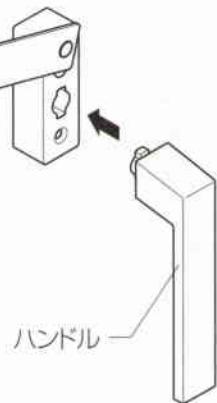
### ■キー付ハンドル

- ハンドルの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



### ■脱着ハンドル

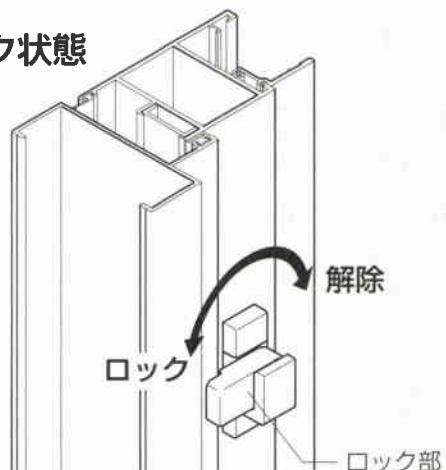
- 通常時はハンドルを外しておき、非常時にハンドルを挿入してハンドルを回転させ、障子の開閉を行なうタイプです。



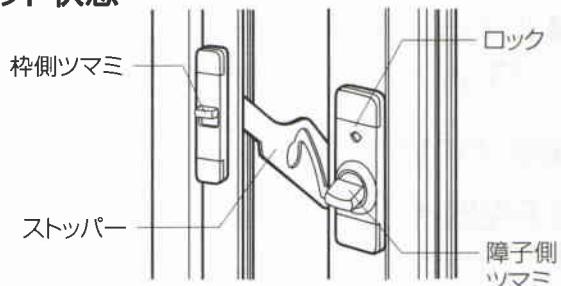
## ■サブロック(オプション)の操作方法

- ①ロック部を回転させて、ロック状態にすることで、ロック機能が働きます。
- ②解除するときは、ロック部を180°回転させます。
- 防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めて、ハンドルで施錠すると同時にサブロックをロックしてください。

### ロック状態

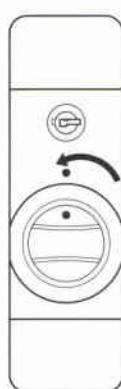


### セット状態



## ■ストッパーのセット方法

- ①障子を閉めます。
- ②障子側のツマミを90°左に回してマーク(ストッパー)を合わせます。
- ③ロックを、キー又はコインで回し施錠します。(ロック施錠)

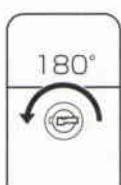


ロック施錠

ストッパー  
セット状態

## ■ストッパーの解除方法

- ①枠側のツマミを下げる、障子を開めます。
- ②障子側のロックを、キー又はコインで回し解錠します。(ロック解除)
- ③障子側のツマミを右へ90°回します。(ストッパー解除)



ロック解錠

ストッパー  
解除状態

# たてすべり出し窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-IIシリーズ □PRO-100シリーズ □EXシリーズ □TBR-100TC □PRO-Rシリーズ □PRO-SE

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。風で障子が動くため、錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### お願い

- 障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指をはさまないように、アームストッパー又は調整器から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬケガにつながるおそれがあります。

### ご使用上のお願い

- 障子を開けたときは必ずアームストッパー又は開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- アームストッパー又は開き調整器の操作はハンドルをしっかりと持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を動かすときは、必ずアームストッパーや調整器を解除してから行ってください。障子や金物が破損するおそれがあります。
- 障子を閉めるときは、ハンドルを水平に保ったまま(開位置)閉めて、障子が枠のパッキン材に当たってからハンドルを閉位置にしてください。ハンドルやサッシが破損するおそれがあります。
- 非常用進入口は、非常時に消火活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時は閉鎖し、施錠してください。

### ■障子の開閉

#### ■調整器仕様(オプション)

①ハンドルを上に90°回してください。

(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)

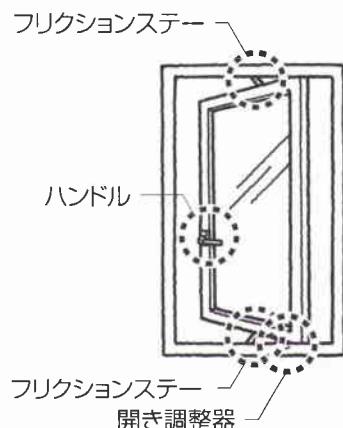
②ハンドルを持ち障子を押出してください。(開き調整器が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)

\*ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口で障子が90°開くように設定されています。

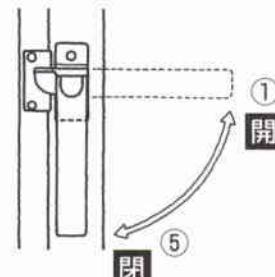
③さらに開く場合は、「押」を押しながら、障子を開いてください。

④障子を閉めるときは、開き調整器の「押」を押し動き出したら離し、障子を閉めてください。

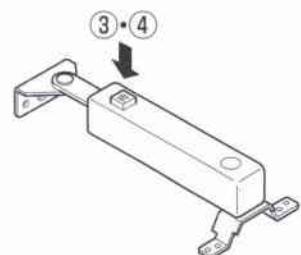
⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



#### ■ハンドル

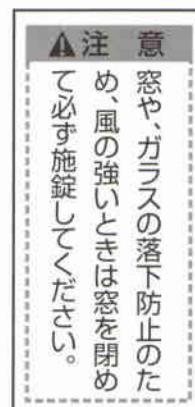


#### ■開き調整器



(\*キー付の設定もあります。)

- 商品に注意ラベルを張付してありますので、その指示を必ずお守りください。

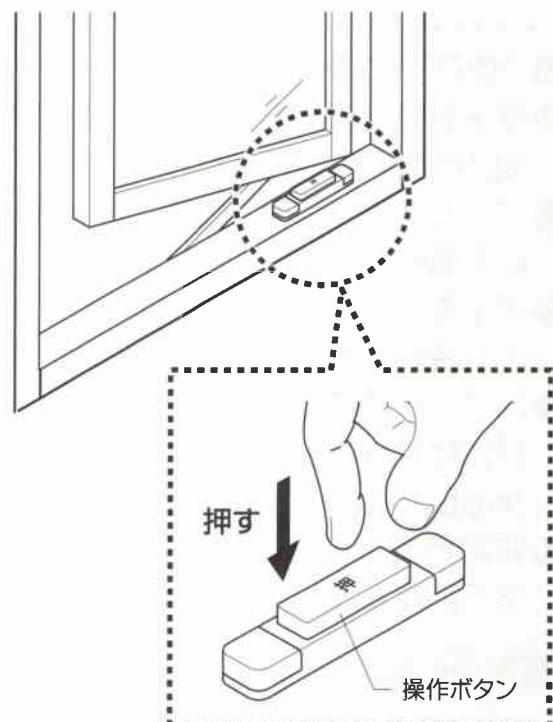


### ■ストップ付フリクションステー(オプション)

- 下枠にあるボタンの「押」を押しながら障子の開閉を行ってください。障子が動きだしたら、ボタンから手を離してください。(開き調整器を使わないときにオプションで使用します。)

- 下記オプション部品は、開き窓の頁を参照願います。

- ・ハンドルの種類
- ・サブロック
- ・小開口ストッパー



# たて軸回転窓の取扱い

□PRO-70シリーズ □PRO-100シリーズ □TBR-360FF □EXシリーズ □TBR-100TC □PRO-SE

## ▲注 意

●風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### お願い

●障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指をはさまないように、アームストッパー又は調整器から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬケガにつながるおそれがあります。

### ■ご使用上のお願い

●障子を開けたときは必ずアームストッパー又は開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。

●アームストッパー又は開き調整器の操作は、ハンドルをしっかりと持って行ってください。風にあおられることがあります。

●障子を動かすときは、必ずアームストッパー又は調整器を解除してから行ってください。障子や金物が破損するおそれがあります。

●障子を閉めるときは、ハンドルを水平に保ったまま(開位置)閉めて、障子が枠のパッキン材に当たってからハンドルを閉位置にしてください。ハンドルやサッシが破損するおそれがあります。

●非常用進入口は、非常に消火活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時は閉鎖し、施錠してください。

### ■障子の開閉

#### ■開き調整器仕様

①両側のハンドルを上に90°回してください。  
(ロックが解除され、障子が回転可能になります。)  
(片側ハンドルの場合もあります。)

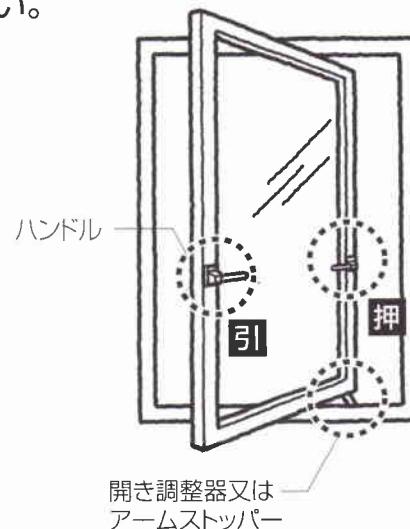
②ハンドルを持ち障子を回転させ、止まったところで固定されます。  
(開き調整器が動き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)

※ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口で、障子が90°まで開くよう設定されています。

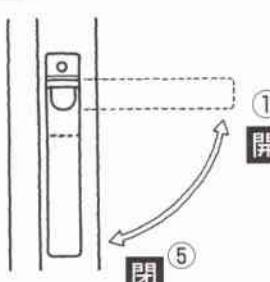
③さらに開く場合は、開き調整器の「押」を押し、開きます。(調整器のみ)

④障子を閉めるときは、開き調整器の「押」を押し動き出したら離し、障子を閉めます。

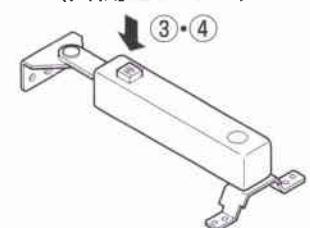
⑤障子を閉めたら必ず両側のハンドルを下向きにしてロックしてください。



#### ■ハンドル



#### ■開き調整器 (外開きタイプ)

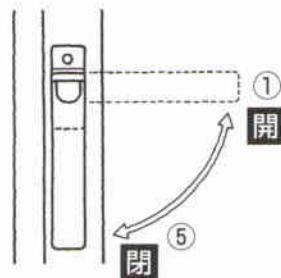


(※キー付の設定もあります。)

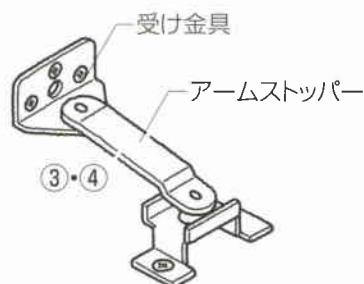
## ■あおり止めストッパー仕様(PROシリーズ)

- ①両側のハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が回転可能になります。)
- ②両側のハンドルを持ち障子を約90°まで回転させてください。
- ③アームストッパーを受け金具の丸穴に確実に差込んで固定してください。
- ④障子を閉めるときはアームストッパーを受け金具より外し、アームストッパー受け台に戻してください。
- ⑤障子を閉めたら必ず両側のハンドルを下向きにしてロックしてください。

## ■ハンドル



## ■あおり止めストッパー

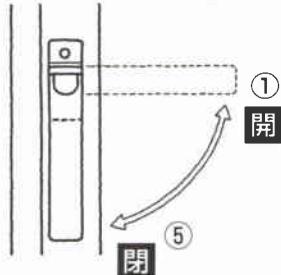


(※キー付ハンドル、脱着ハンドルは開き窓の頁を参照願います。)

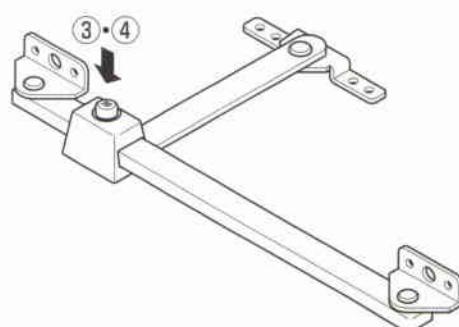
## ■開き調整器(内開きタイプ)(PRO-SE)

- ①両側のハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が回転可能になります)
- ②ハンドルを持ち障子を回転させ、止まったところで固定されます。(開き調整器が働き、設定角度で自動的に障子がストップし固定されます)
- ③さらに開く場合は、開き調整器の「押」を押し開けます。
- ④障子を閉めるときは、開き調整器の「押」を押し、動き出したら離し、閉めます。
- ⑤障子を閉めたら必ず両側のハンドルを下向きにしてロックしてください。

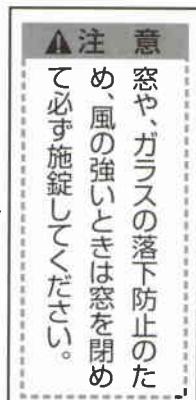
## ■ハンドル



## ■開き調整器(内開きタイプ)



※商品に注意ラベルを張付していますので、その指示を必ずお守りください。



# ブラインド内蔵たて軸回転窓の取扱い

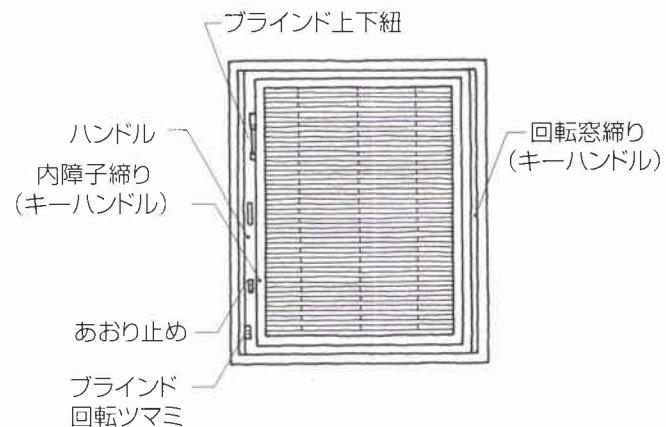
□アルペックス

## ▲注 意

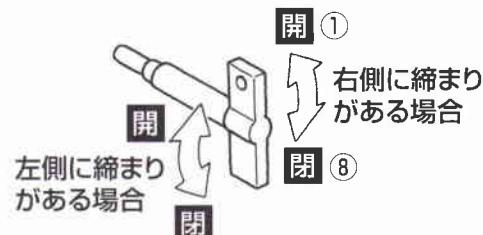
- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子の急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### ■障子の開閉

- ①回転窓締りにキーハンドルを差し込み90°回転してください。ロックが解除されます。
- ※左側にキーハンドルがある場合は時計回りに、右側にハンドルがある場合は反時計回りに、回転してください。
- ②キーハンドルを外します。
- ③ハンドルを90°回転してください。ロックが解錠され、障子が開閉可能になります。
- ④ハンドルを持ち障子を押出してください。
- ⑤障子を開放しておく場合は、あおり止めをかけてください。
- ⑥障子を閉めるときはあおり止めを外して、たて枠に収納してください。
- ⑦障子を閉めたら、ハンドルを下向きにしてロックしてください。
- ⑧障子を閉めたら、キーハンドルを差込み、開いたときと反対方向に90°回しロックしてください。
- ⑨キーハンドルを外して大切に保管してください。
- ⑩締りが2種類、ハンドルとキーハンドル締りがありますので、注意してください。



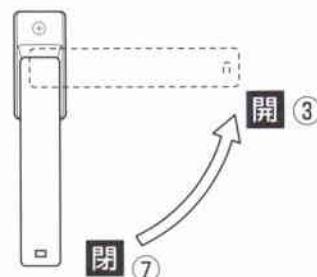
### ■キーハンドル



### ■あおり止め



### ■ハンドル



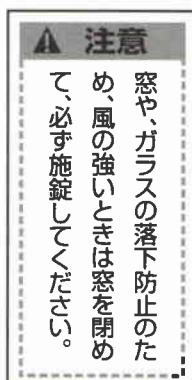
## ■メンテナンス時の内障子の開閉

- ①内障子締まりに、キーハンドルを差し込み、90°回転してください。ロックが解除され、障子が回転可能になります。
- ※左側にキーハンドルがある場合は時計回りに、右側にハンドルがある場合は反時計回りに、回転してください。
- ②キーハンドル側の框を手前に引けば、内障子が開きます。
- ③閉めるときは、開けたときの逆の操作を行い、最後に必ずキーハンドルを差込み、90°回転させてロックしておいてください。
- ④キーハンドルを外して、大切に保管しておいてください。

## ■ブラインドの操作

- ①ハンドル側の開閉ツマミを回すとブラインドの羽根が回転します。
- ②ハンドル側の紐を引くとブラインドが上がります。

※商品に注意ラベルを張付していますので、その指示を必ずお守りください。



# 横軸回転窓の取扱い

□TBR-360FF

## ▲注意

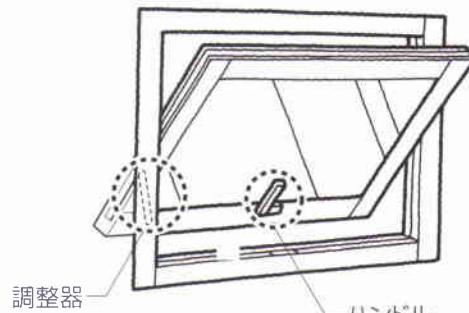
- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■ご使用上のお願い

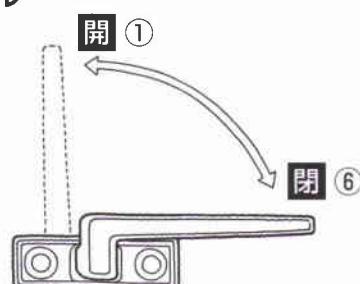
- 障子を開けたときは必ず開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- 調整器の操作はハンドルをしっかりと持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を反転したときは必ず反転防止ストッパーでロックしてください。突風によりあおられることがあります。

## ■障子の開閉

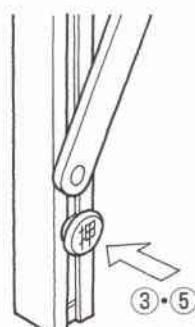
- ①ハンドルを上に90°回してください。  
(ロックが解除され、障子が回転可能になります。)
- ②止まったところで固定されます。(開き調整器が働き、設定された約20°の角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)
- ③さらに開く場合は、開き調整器の「押」ボタンを押しながら、障子を開いてください。
- ④障子を閉めるときは、右手でハンドルを持ち外側に軽く押出します。
- ⑤次に左手の指で、開き調整器の「押」ボタンを押し、障子が動きはじめたら指をはなし、障子を閉めてください。
- ⑥障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



## ■ハンドル

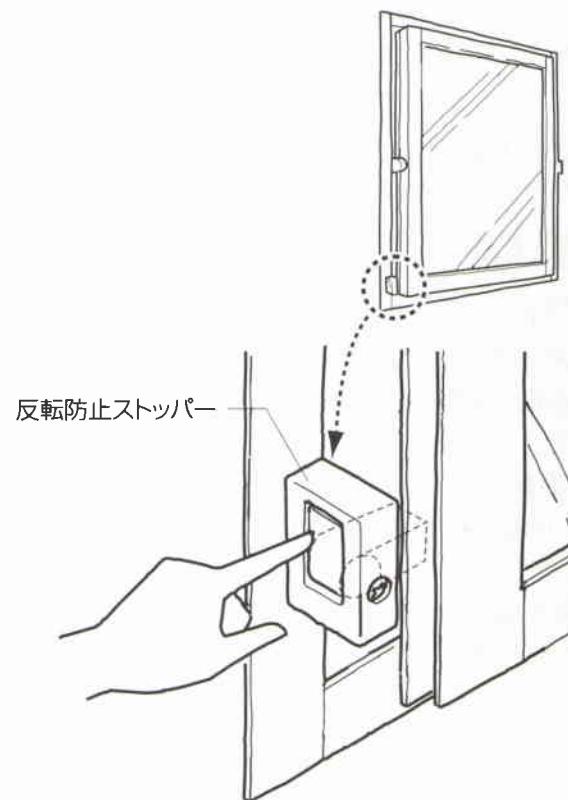


## ■調整器



## ■清掃時の障子の反転

- ①開き調整器の「押」を押しながら障子を回転させると、窓が反転し清掃ができます。
  - 縦枠下部の反転防止ストッパーを押し、受けにセットしてください。障子が固定されます。
  - 風にあおられないように注意して回転させてください。
  - 反転防止ストッパーに衝撃を与えると破損することがあります。
- ②閉めるときは、反転防止ストッパーを起こしてください。
- ③障子の下側を持ち、注意して回転させてください。
- ④開き調整器が働き、障子は90°(水平)の位置でストップします。
- 強風時には、風にあおられ危険ですので使用しないでください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



\*商品に**本体表示ラベル**を張付しておりますので、よくお読みのうえその指示を必ずお守りください。

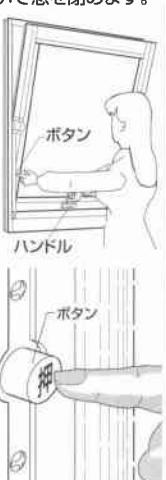
▼

**窓の閉め方**

ボタンを押して操作します。

1. 右手でハンドルを持ち外側に軽く押出します。

2. 左手の指でボタンを押しロックが外れたら指を離し手前に引いて窓を閉めます。



**注意**

▲ 窓や、ガラスの落下防止のため、風の強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。

# 横軸回転窓の取扱い(ホリゾンタルオープン)

□ホリゾンタルオープン

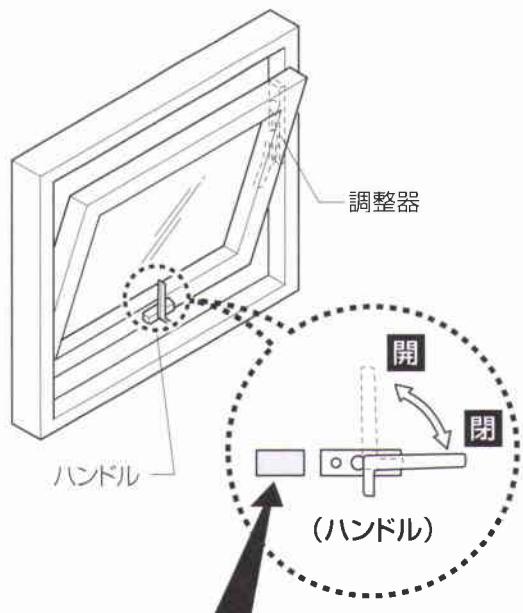
## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■障子の開閉

### ■換気時

- ①ハンドルを90°回してください。(ロックが解除され障子が回転可能になります。)
- ②ハンドルを枠の外側の溝に回して固定してください。換気可能となり、障子がストップします。
- ③ハンドルを枠の溝から外して、障子を閉めてください。
- ④障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにロックしてください。



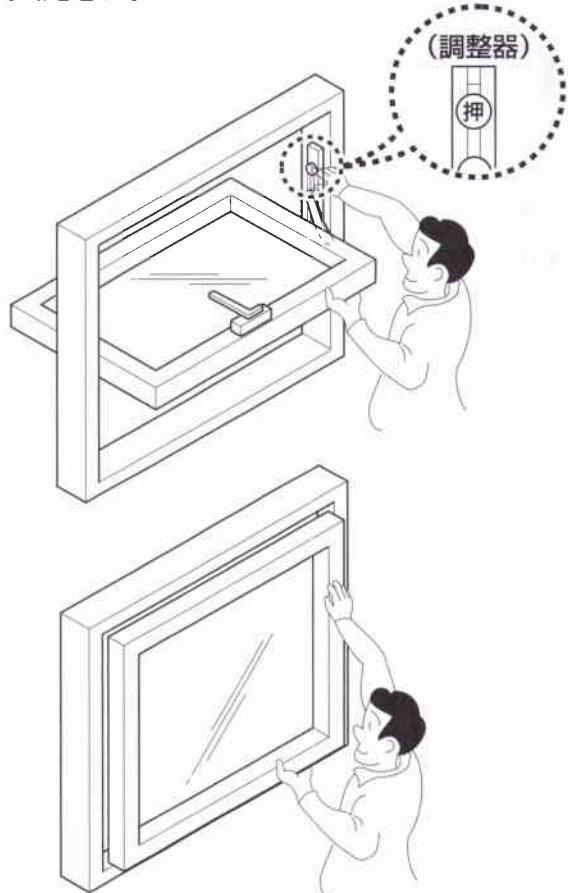
**注意**  
▲ 窓や、ガラスの落下防止のため、風の強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。



- 商品に注意ラベルを張付していますので、その指示をお守りください。

### ■清掃時

- ①ハンドルを90°回してください。(ロックが解除され障子が回転可能になります。)
- ②90°(水平)で障子はストップします。反転するときは調整器の「押」を押し、調整器ストップ機構を外してから、障子を開いてください。反転させるときは、障子の上框を片手で持ちながら開いてください。
- ③障子がストップするまで開けてください。
- ④障子を閉めるときは、90°(水平)でストップします。調整器の「押」を押し、調整器のストップ機構を外してから閉めてください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにロックしてください。



# インフロント(平列内動片引窓)の取扱い

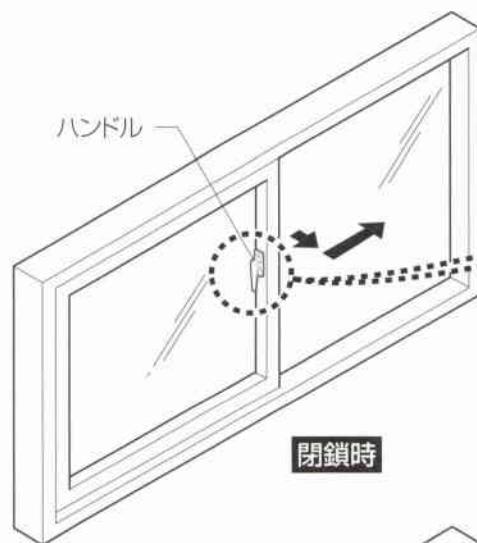
## □インフロント

### ■ご使用上のお願い

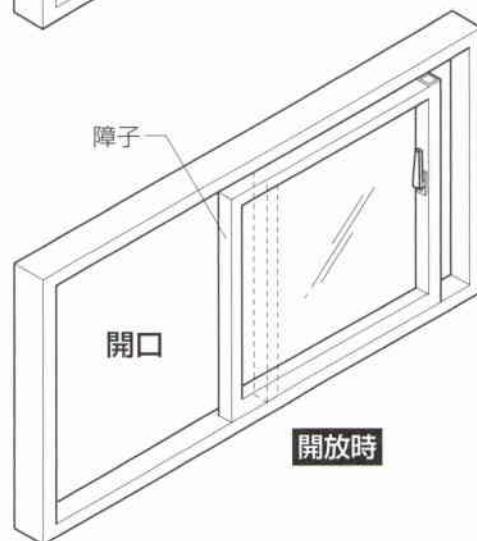
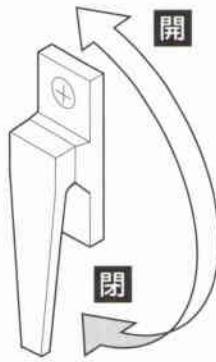
- ガラス障子についての取外しはしないでください。必要なときは当社お客様担当窓口に連絡願います。
- 障子レール内は異物があると脱輪の原因になりますので、時々清掃を実施してください。

### ■障子の開閉

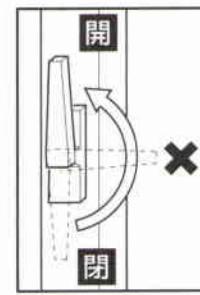
- ①ハンドルを、張付けの操作方法表示ラベル手順に従って180°回転してください。  
(ロックが解除され障子のスライドが可能となります。)
- ②ハンドルを持ち手前に引きながら開けてください。
- ③任意の位置でストップします。
- ④障子を閉めるときは、操作方法表示ラベル手順に従って閉めてください。
- ⑤障子を閉めたら必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



### ■ハンドル操作



### 開閉方法



窓を開けるときは、ハンドルの「開」の位置までいっぱいに回し、そのまま窓を手前に引きながら開けてください。



窓を閉めるときは、一方の手で窓枠を押しながら、ハンドルを「閉」の位置までいっぱいに回してください。

# 反転窓の取扱い

□プロスイング70 □プロスイング100

## ▲注意

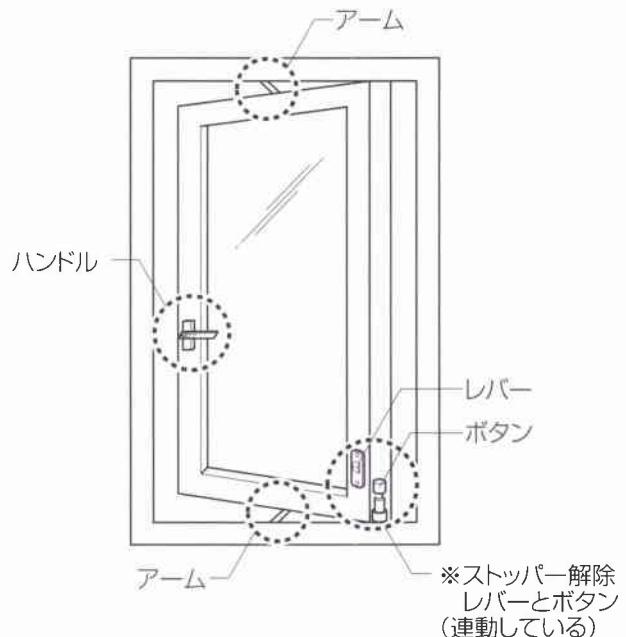
- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### ■ご使用上のお願い

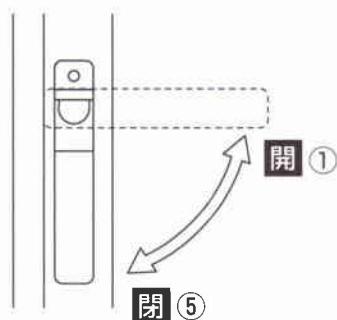
- 障子を開けたときは必ずストッパーで固定してください。突風により閉まる場合があります。
- ストッパー解除の操作はハンドルをしっかり持って行ってください。風でおあられことがあります。
- 障子を反転したときは必ずストッパーでロックしてください。突風によりあおられることがあります。
- 外側の窓ガラスの清掃時以外は窓を反転させないでください。
- 非常用侵入口は、非常時に消火活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時は閉鎖し施錠してください。

### ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
  - ②ハンドルを持ち障子を押出してください。(ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)
- ※ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口で障子が90°開くように設定されています。
- ③さらに開く場合は、ストッパー解除レバーを押し下げながら、障子を開いてください。動きはじめたらレバーから指をはなしても大丈夫です。
  - ④障子を閉めるときは、同解除レバーを押下げながら、障子を閉めてください。(90°から閉めるときはボタンの方を押します。)
  - ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

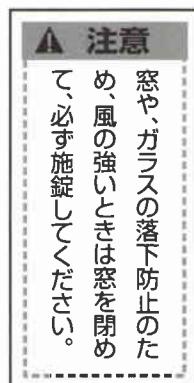


### ■ハンドル



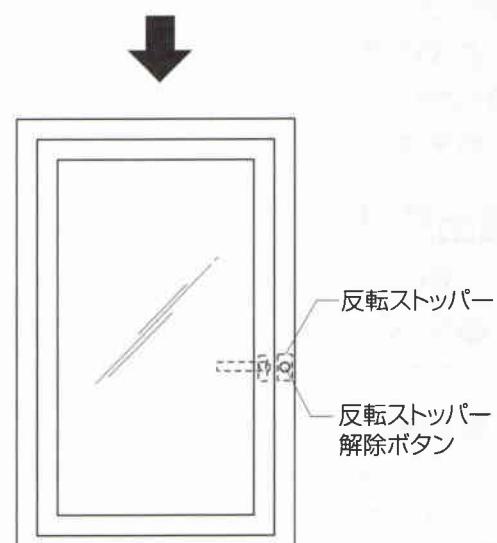
(※キー付ハンドルの設定もあります。)

- 商品に注意ラベルを張付してありますので、その指示をお守りください。



## ■清掃時の障子の反転

- ①窓を90°以上に反転させるとときは、吊り元の縦框下部のストッパー解除ボタンを押しながら、縦框をいつたん矢印方向に押します。
- ②次に下框の手かけを持って障子を手前に引くと窓が反転し、清掃ができます。  
※タテ枠中央の反転ストッパーで障子が固定されるのを確認してから、清掃をしてください。
- ※風にあおられないように注意して反転させてください。
- ③閉めるときは、縦枠中央の反転ストッパー解除ボタンを押してください。
- ④障子下框の手かけを持ち、注意して押開いてください。
- ⑤ストッパーが働き、障子は90°の位置でストップします。
- ⑥ストッパー解除ボタンを押しながら障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



# ビル出窓の取扱い

□ビル出窓シリーズ

## ■正面引違い部

### ▲注意

- ガラス障子を窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ず掛けください。正しく掛かっていないと障子の落下による事故（人身、物損）につながるおそれがあります。又、ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

## ■ご使用上のお願い

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃を実施してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。
- クレセントを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。確実に実施しないと障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。  
(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)

## ■袖開き部

### ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠（ハンドル）をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■ご使用上のお願い

- 障子を開けたときは必ず開き調整アームを働くようにしてください。風にあおられることがあります。
- 調整アームの操作はハンドルをしっかり持って行ってください。風にあおられことがあります。

## ■出窓部

### お願い

- 床板（地板）にはのらないでください。出窓の破損やケガにつながるおそれがあります。
- 出窓の屋根に乗ったり、はしごをかけないでください。無理な重さをかけると、変型したり、転落によりケガをするおそれがあります。

## ■ご使用上のお願い

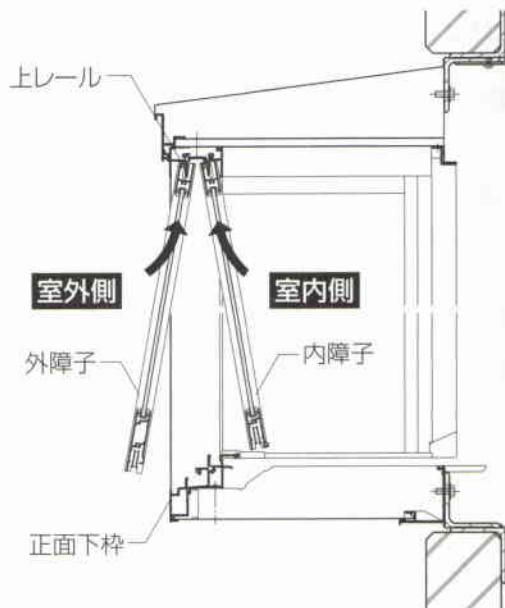
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠け等の原因になります。

## UB・UK・RB・RK型

### ■障子の建込み

#### ■障子の建込み(正面引違い部)

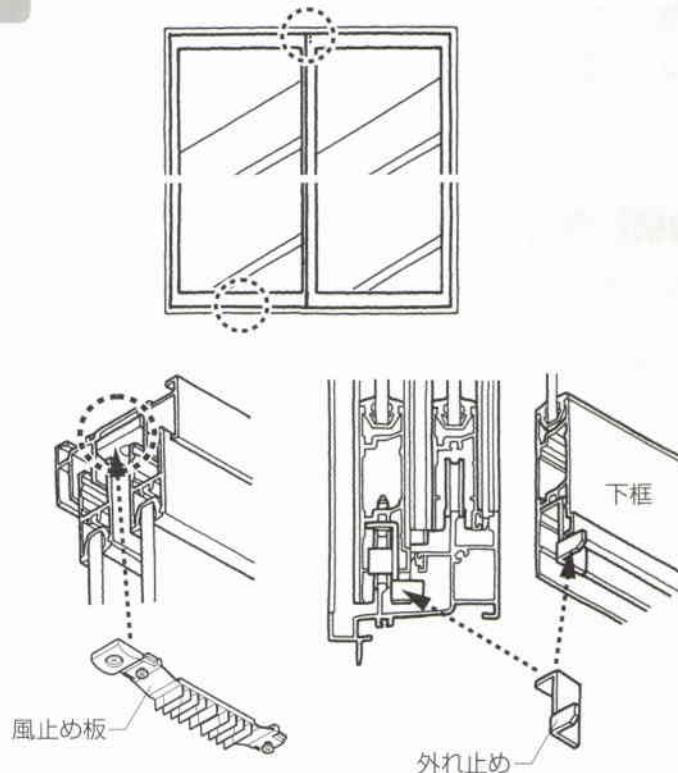
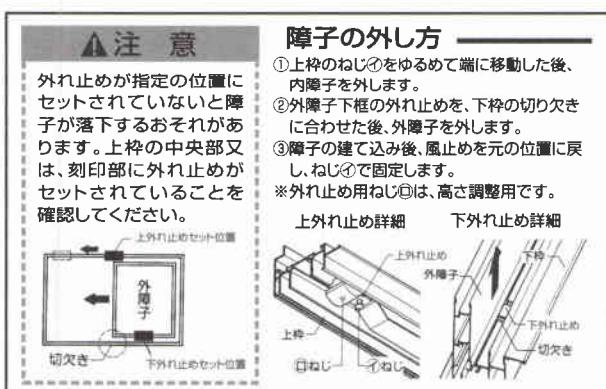
- ①上レールに付いている風止め板を、内観左側にスライドさせます。
- ②室外側から、外障子下框の外れ止めを正面下枠中央の切欠きに合わせて建込みます。
- ③内障子を室内側から入れます。
- ④「引違い障子の建付け調整」を参照して調整します。



### ■外れ止め部品のセット

#### ■セット方法

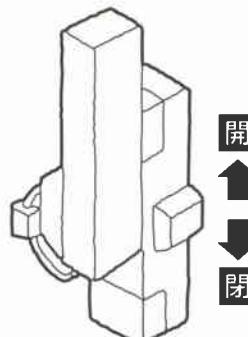
- 商品に注意ラベルを張付してありますので、その指示をお守りください。



### ■クレセント

#### ■ダブルロック

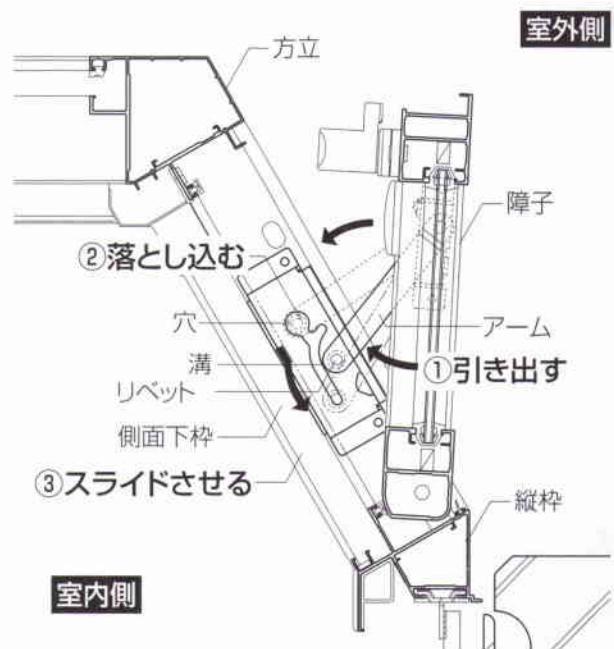
- クレセントの横についているボタンを上下に動かすことにより、ハンドルの回転を可能にしたり、不可能にしたりすることができるタイプです。(※キー付クレセントやサブロック対応もできます)



## UA・UD・RA型

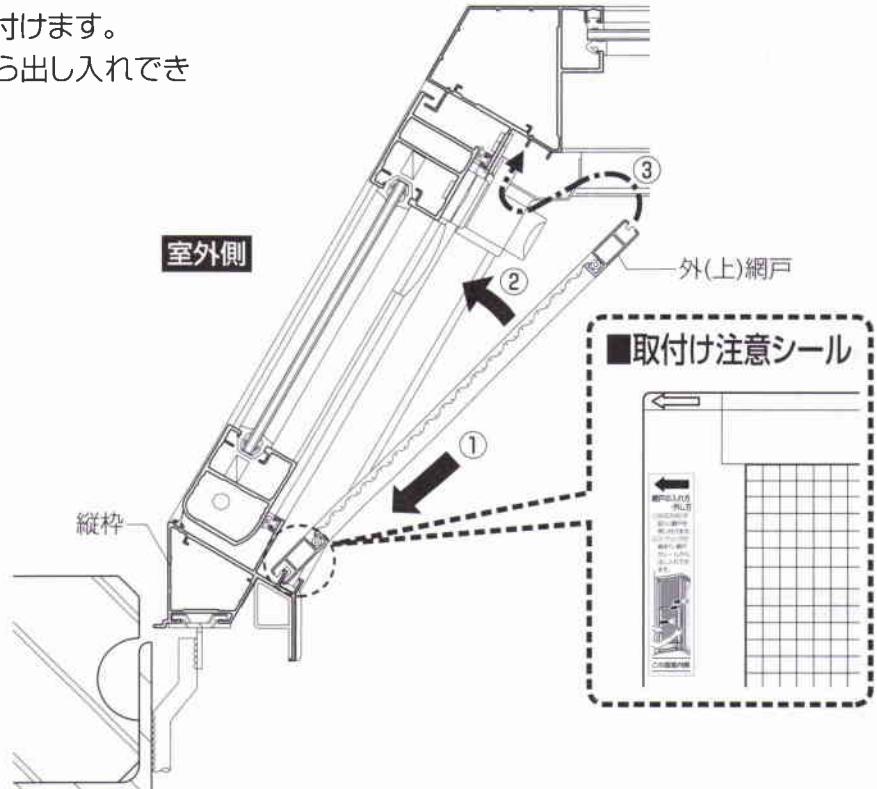
### ■開き窓の開閉

- ①障子下部にあるサブロックを必ず開にしてからあけてください。
- ②ハンドルを上に90°回してください。
- ③ハンドルを持ち障子が止まるまで押出してください。(開閉調整アームが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。)
- ④さらに開く場合は、アームの先端を開閉調整部品の穴から外して、障子を開いてください。  
※このときは、ハンドルをしっかり持って操作してください。風にあおられることがあります。
- ⑤障子を閉めるときは、逆の手順で障子の下からアームを引出して、先端部を下枠の開閉調整器の穴に落込んで、閉めてください。
- ⑥障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



### ■網戸の脱着

- ①網戸の脱着は、矢印方向に網戸を押付けます。
- ②スプリングが縮まり網戸がレールから出し入れできます。



# プラウインII(引違い窓・内窓)の取扱い

□プラウインII

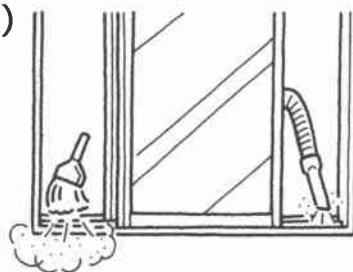
## ▲注 意

- お手入れなどのためにガラス障子を外した後、再び枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。  
又、ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

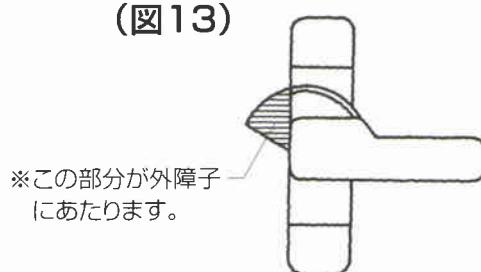
## ■ご使用上のお願い

- 内窓(プラウインII)を閉めるときは、必ず外部側の窓も閉めてください。外部側の窓を閉めないと、強風により内窓(プラウインII)の障子の破損・落下などのおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- 下枠にゴミなどがたまると、戸車の破損や漏水の原因になりますので、時々清掃を実施してください。(図12)
- クレセントが取付いている場合は、クレセントを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。実施しないと障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。(図13)(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)

(図12)

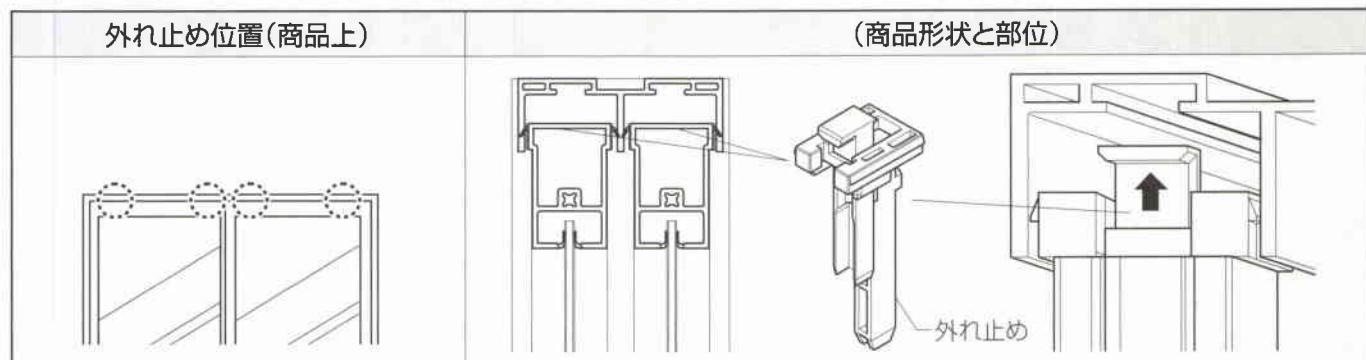


(図13)



## ■外れ止め部品のセット

- 外れ止め部品は、障子の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。



## 【セット方法】

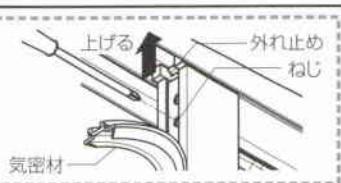
※商品に本体表示ラベルを張付してありますので、よくお読みのうえその指示を必ずお守りください。

## ■本体表示ラベルの表示例

### ▲注 意

障子の落下防止のため、  
必ず障子上部の外れ止め  
を左右共上げてください。

- ①ねじをゆるめます。  
(気密材でねじが見えない場合は  
気密材をめくってください。)
- ②障子の開閉に支障のない範囲で、  
外れ止めをいっぱいに上げます。
- ③ねじをしめます。



# プラウインII(開き窓・内窓)の取扱い

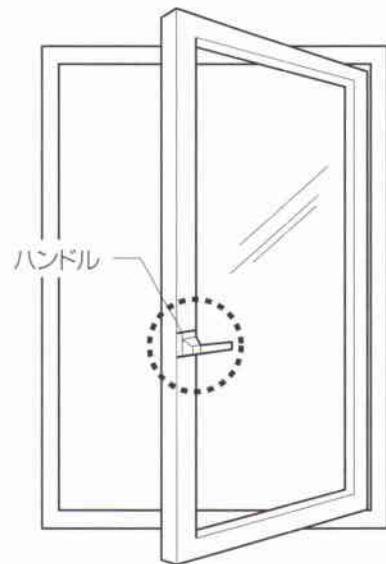
□プラウインII

## ■ご使用上のお願い

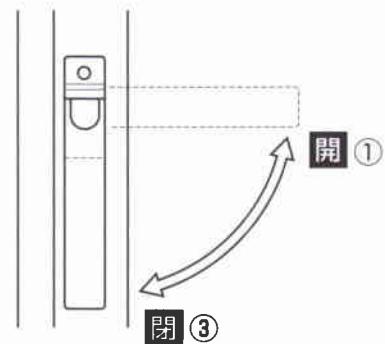
- 内窓(プラウインII)を閉めるときは、必ず外部側の窓も閉めてください。外部側の窓を閉めないと、強風により内窓(プラウインII)の障子の破損・落下のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。
- 内窓は開けたままにしないでください。風で障子があおられ、壁などをキズつけるおそれがあります。又、障子は持上げないでください。外れるおそれがあります。

## ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
- ②ハンドルを持ち、手前に引いてください。
- ③障子を閉めたら必ずハンドルを下向きにロックしてください。



## ■ハンドル



# プラウインII(ケンドン式FIX窓・内窓)の取扱い

□プラウインII

## ■ご使用上のお願い

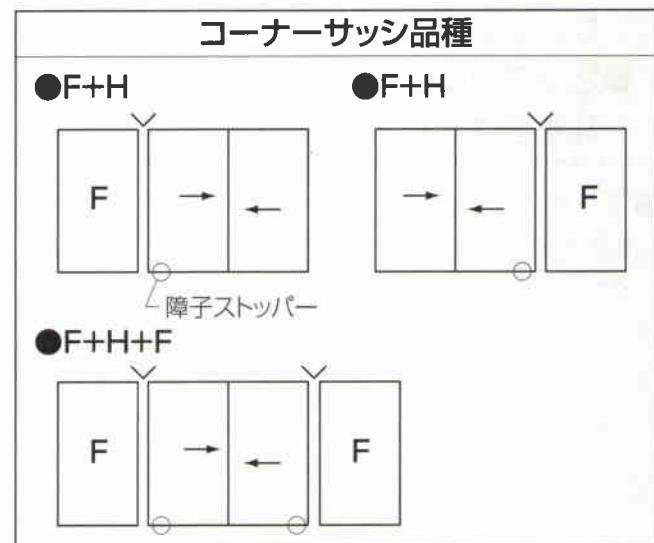
●清掃時以外は障子を外さないでください。又、障子を外す際は、風の強いときはさけてください。突風によりあおられることがあります。

## ■障子(FIX部)の外し方

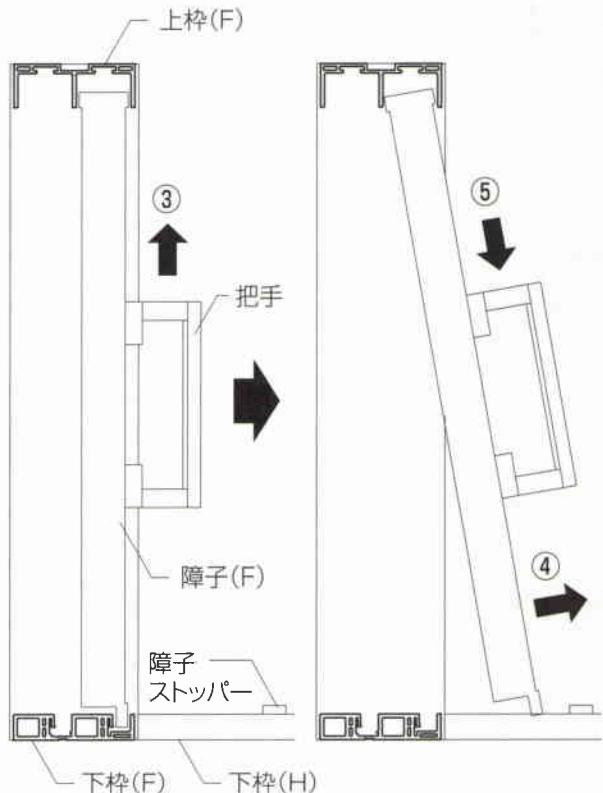
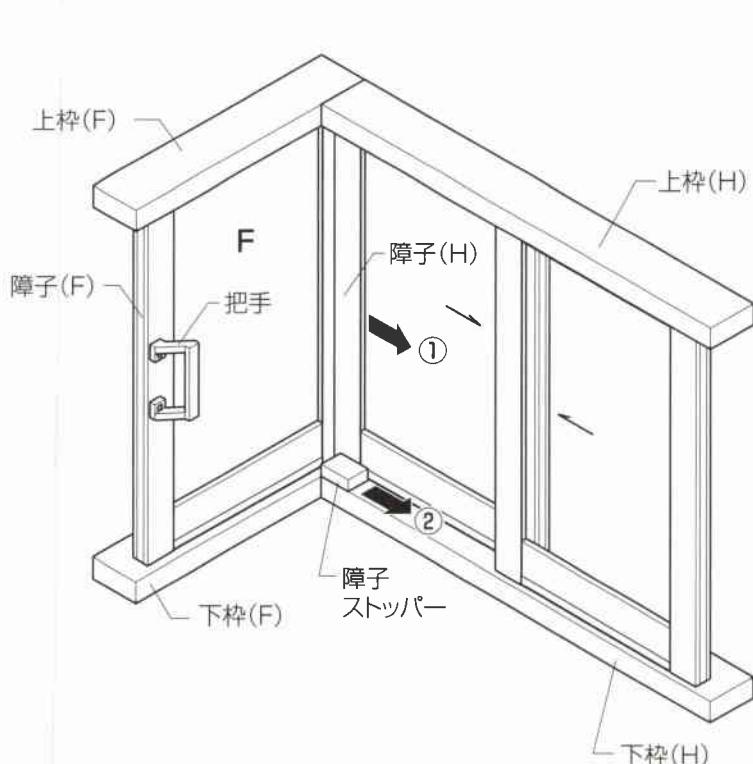
※清掃時に障子を外す際は、把手と縦框を両手でしっかりと持ち、右図の要領で行ってください。

- ①障子(H)を開けます。
- ②障子ストッパーをスライドさせます。
- ③障子(F)を上へ持上げます。
- ④障子(F)の下を室内側へ引きます。
- ⑤障子(F)を下へ下げながら外します。

※障子を建込む際は、逆の手順で行ってください。  
(FIX窓の単窓のときは、③～⑤の手順で行ってください。)



## ■コーナーサッシ(F+H)

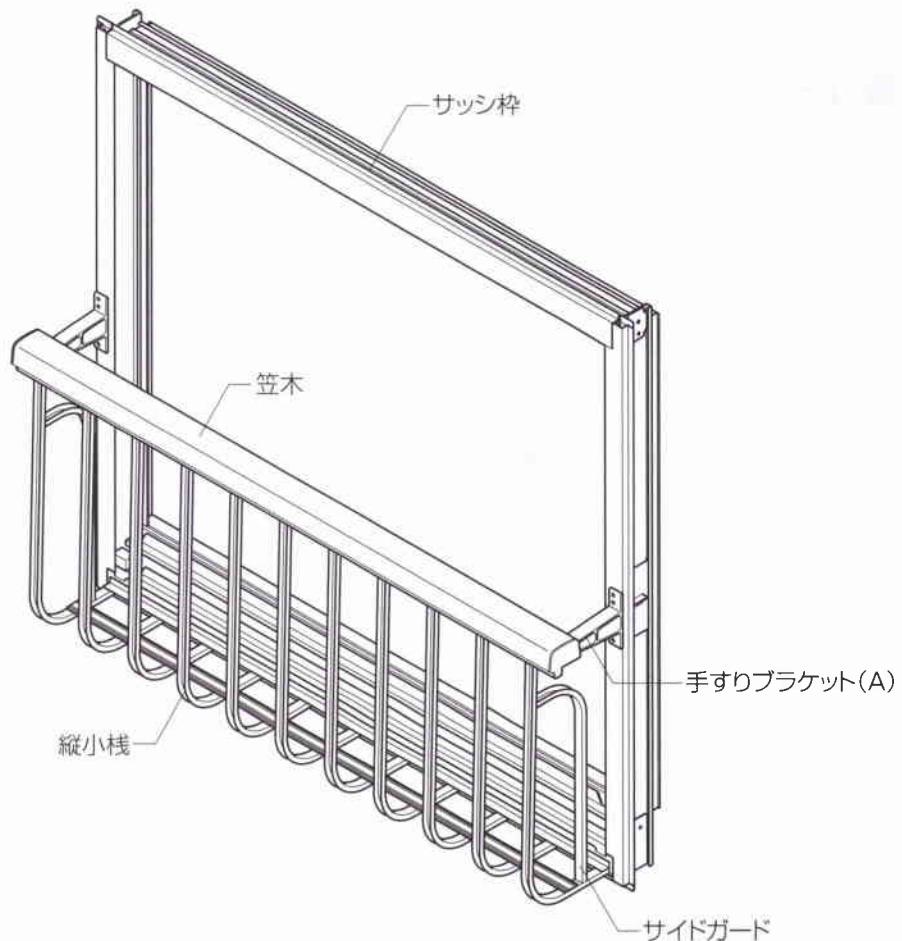
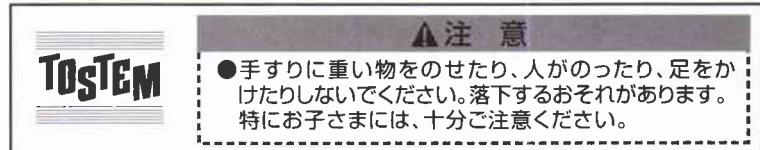


# 窓手すりの取扱い

□PRO-IIシリーズ □PRO-SE

## ▲注 意

- 窓手すりに、無理な力をかけないでください。強度を配慮して設計・製作されていますが、人がのったり、身を乗出すなど無理な力が加わると、落下・転落のおそれがあります。
- 窓手すりにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。
- 手すりの笠木部に注意ラベルを張付してありますので、その指示をお守りください。



# 手すり(ベランダ・廊下用)の取扱い

□ベランダ手すりII □バー 手すりII □ハンドライン □レールテック-N

## ▲警 告

人の転落・製品の破損による被害のおそれがありますので、下記事項を守ってください。

●製品の上には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。

●製品から身をのりださないでください。

- 商品に警告ラベルを張付してありますので、その指示をお守りください。



LAHS-791

## ▲警 告

人の転落・製品の破損による被害のおそれがありますので、下記事項を守ってください。

●製品の上には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。

●製品から身をのりださないでください。

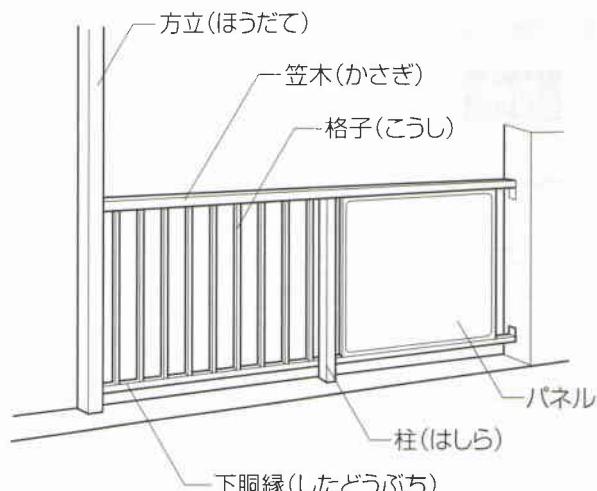
\*お子様が手すりの側にいるときは、絶対に目を離さないでください。又、手すりの近くには、植木台や箱などのように足掛かりとなる物を置かないでください。



## ■保守点検について

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、手すりが破損し、人身事故などの原因になるおそれがあります。次の様な不具合がないかどうか、お手入のときなどを利用して点検してください。

- 手すりを手でゆするとグラグラする。
- 格子(パネル)や部材が外れたり、曲ったりしている。
- パネルに大きなキズや、ひび割れがある。
- ねじや部品などが外れたり、ゆるんでいる。
- 部材や部品が腐食している。
- 柱の埋込み部や建物との取付け部に腐食や、コンクリートのひび割れがある。



# Vルーバーの取扱い

## ■ご使用上のお願い

- 開閉操作はルーバーを手で持って行わないでください。故障の原因となります。

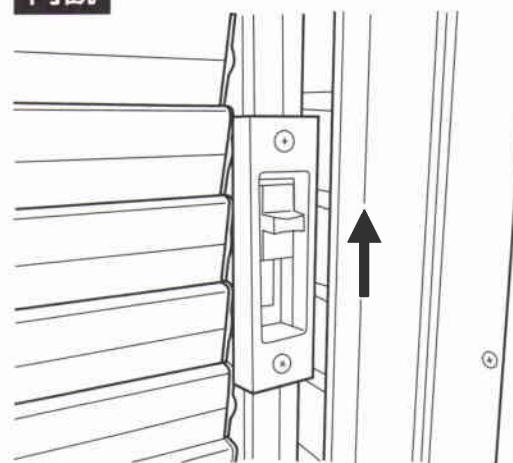
## ■操作方法

- 開閉操作盤のツマミを上下させることで、ルーバーの角度調整が9段階でき、その位置でルーバーが自動的に固定されます。
  - ・一般タイプは左右どちらか1個所に開閉操作盤がつきます。
  - ・中方立付の場合は、左右に1個所ずつに開閉操作盤がつきます。
  - ・上下分割可動仕様の場合は、片側の上下2個所に開閉操作盤がつきます。

## ●閉めるとき

- 開閉操作盤のツマミを上いっぱいに移動させると、全閉状態になります。

内観



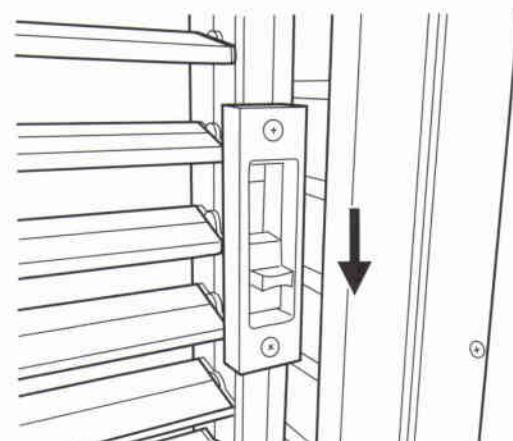
外観



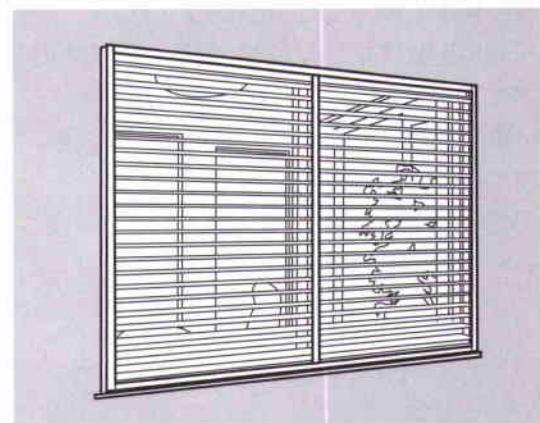
## ●開けるとき

- 開閉操作盤のツマミを下いっぱいに移動させると、全開状態(ルーバーがほぼ水平)になります。

内観



外観



# 網付面格子の取扱い

## ▲注 意

- お手入れなどのために面格子を外した後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ず所定の位置にセットし固定してください。又ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。外れ止め部品が正しくかかっていないと、面格子の落下による事故(人身・物損)につながるおそれがあります。

### ■お手入れ時のお願い

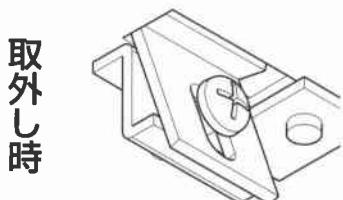
- 網の清掃時に網を強く押すと、網が外れることがあります。力を入れすぎないでください。
- 網戸部は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミや埃も防ぎます。それだけに汚れるのも早いので、まめに掃除をしないと風通しも悪くなります。
- 網戸部の掃除は、外れ止め部品のビスをゆるめて網付面格子を外し、庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこります。そしてゴミや埃を落としてから中性洗剤をスポンジにつけ網の部分に塗るような気持ちでつけます。このとき、力を入れすぎると網が外れることがあります。最後に全体を水で洗い、乾かします。(詳細は次頁)
- 面格子を取外さないで網戸部を掃除する場合は、室内側・室外側から水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、洗剤が残らないように水洗いした後、ふき取ってください。
- 網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光があたったり、風雨にさらされる等、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網が外れることがあります。時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部の外れのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。異常があれば、お早めに張替えてください。

## ■網付面格子の取付け・取外し方法

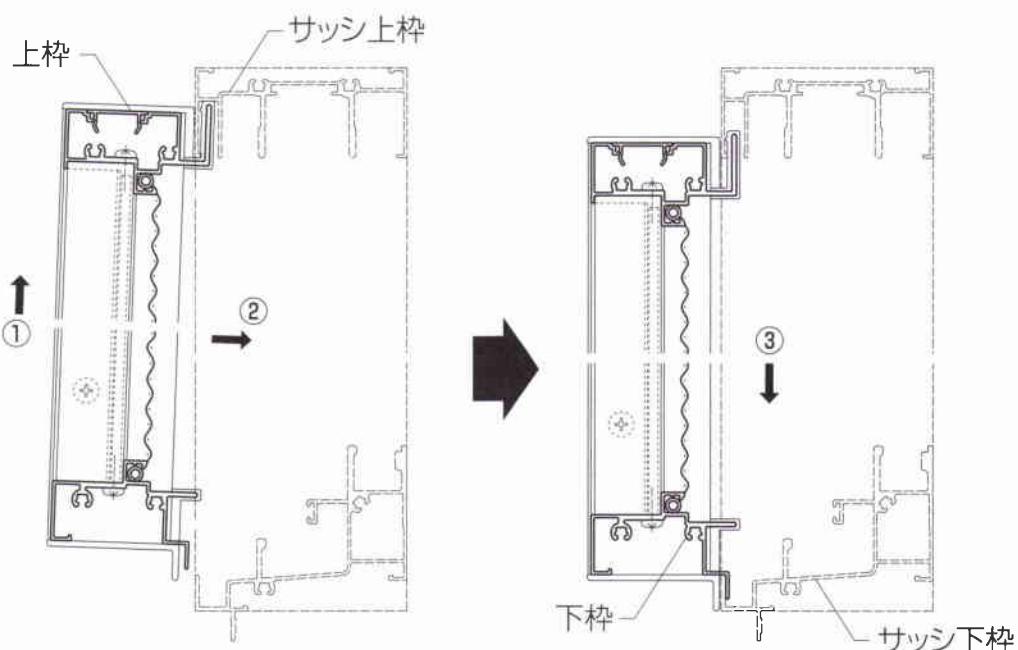
### ●取付け方法

- ①上部外れ止め部品(フック)のねじを緩め、上枠の外れ止め部品をいっぱいに下げます。(図14、17)
- ②網付面格子本体を建て込みます。(図15)
- ③外れ止め部品(フック)を上げ、ねじで固定して、面格子が外れないことを確認してください。(図16、17)

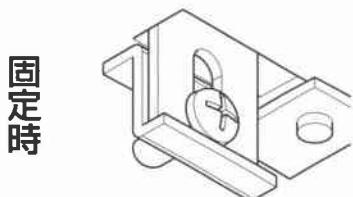
(図14)取外し時外れ止め



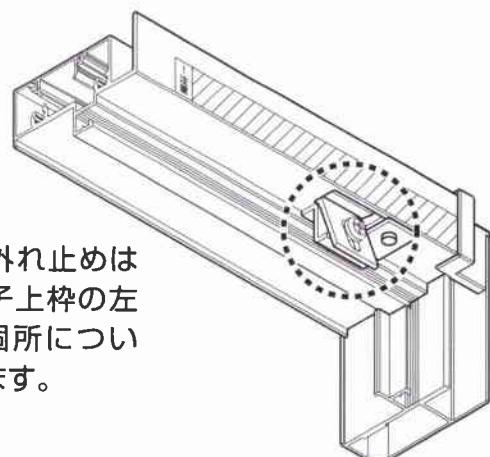
(図15)建て込み方法



(図16)取付け固定時外れ止め



(図17)外れ止め位置



### ●取外し方法

- 取外しは、取付けと逆の手順で行なってください。

# ヘーベシーベフェンスターの取扱い(大型片引窓・引違窓)

□レポールウインドー

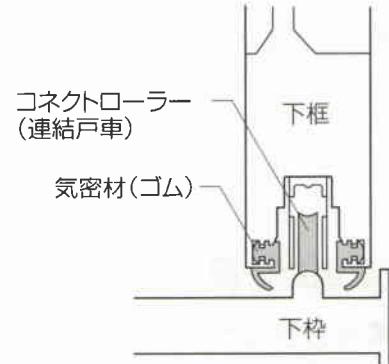
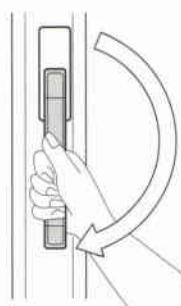
## ■ご使用上のお願い

- 障子を外すときは、特殊な工具(吸盤)が必要になります。(最寄りの当社お客様担当窓口へご相談ください。)
- 窓を開けておくとき及び閉じているときは、必ずレバーハンドルを上にしてください。レバーハンドルを下げたままにすると、戸車がいたみやすくなり、動きが悪くなることがあります。

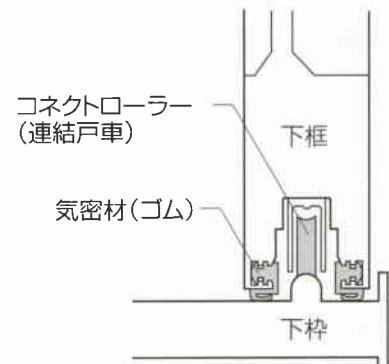
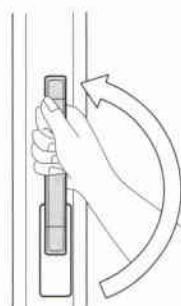
## ■窓の開閉

- ①窓を開けるときはレバーハンドルを180°下に回してください。障子が上がりロックが解除されます。
- ②レバーハンドルを持って横に引くと開きます。
- ③窓を開けたら必ずレバーハンドルを上に回してください。(ロックされます。)
- ④窓を閉めるときは、レバーハンドルを180°下に回してから、障子を動かしてください。(ロックが解除されます。)
- ⑤窓を閉めたら、必ずレバーハンドルを上に回してください。レバーハンドルを下げたままにすると戸車がいたみやすくなり、動きが悪くなることがあります。

## ■窓を動かすとき(開ける、閉める)



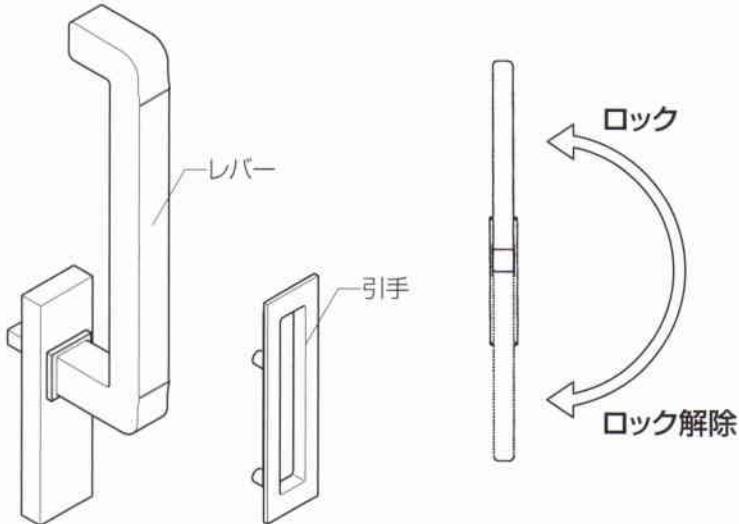
## ■窓をロックするとき(閉鎖、開放固定)



## ■レバーハンドルの種類(代表例)

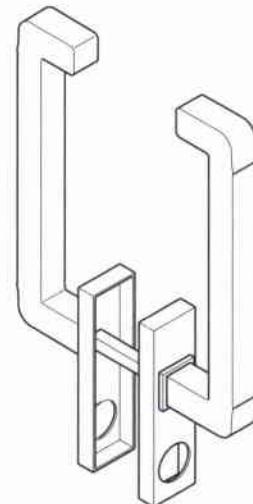
### ■標準型レバーハンドル

- レバーハンドルを180°回転させることにより、ロックとロックの解除ができます。



### ■キー付きレバーハンドル

- キーを操作することによりレバーハンドルを固定することができます。

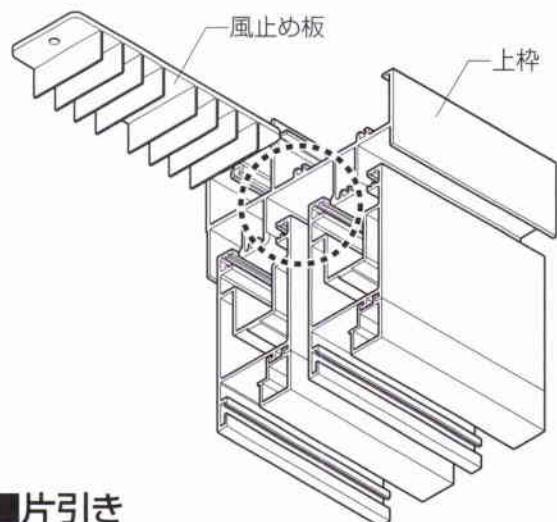


## ■風止め板

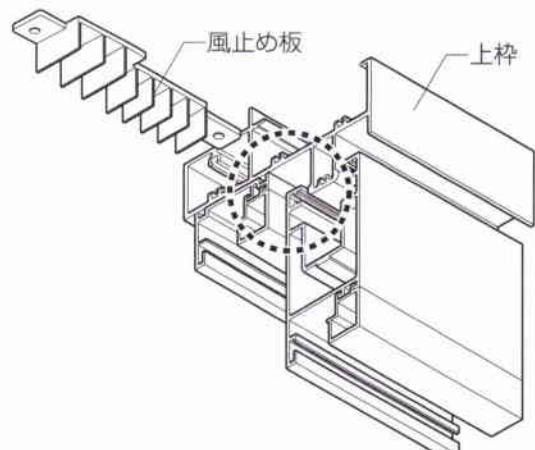
- 召合せ上部からの風の進入を防ぐためにサッシの上枠に取付けられている、EPDMゴム製の部品です。

※位置がずれていたら、元の位置に戻してください。  
部品がなくなった場合は、取寄せてください。(障子を外すときは取外してください。)

### ■引違い



### ■片引き



# ヘーベシーベフェンスター用網戸の取扱い

□レポールウィンドー

## ▲注 意

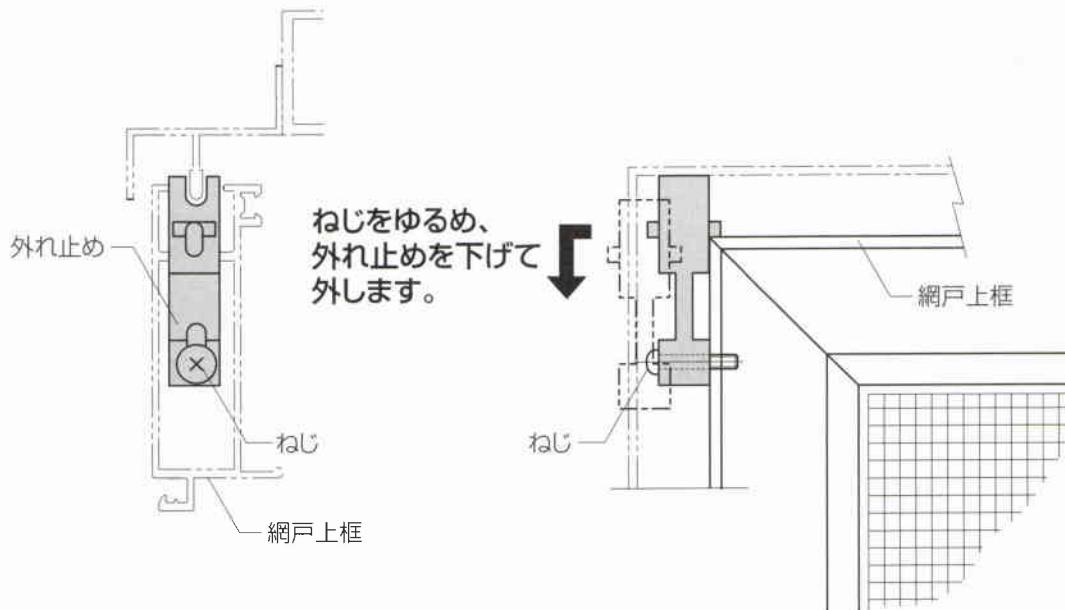
- 網戸を窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。正しくかかっていないと網戸の落下による事故(人身、物損)が発生するおそれがあります。又ご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。

### ■お手入れ時のお願い

- この製品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸によりかかったりしないでください。
- 網戸の清掃時に網を強く押すと、網が外れることがあります。力を入れすぎないでください。

### ■外れ止め金具のセット方法

- ①ねじをゆるめます。
- ②外れ止めを下げます。
- ③網戸を持上げ、建込みます。
- ④外れ止めを上げます。  
(ダボを上框の位置にのせます。)
- ⑤ねじを締めます。
- ⑥網戸を持上げ、外れないことを確認してください。



# キップドリーフェンスターの取扱い(内倒し・内開き窓)

□レポールウィンドー

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### お願い

- 障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指をはさまないように、アームストッパーから手を離してください。手や指をはさみ、思わぬケガにつながるおそれがあります。

### ■ご使用上のお願い

- 窓を開けているときはトリガーに手をふれないでください。ふれながらハンドルを回すと内倒し・内開き状態になります。

### ■窓の開閉

- 換気を行う場合は内倒して使用してください。内開きはメンテナンスのときのみ使用してください。

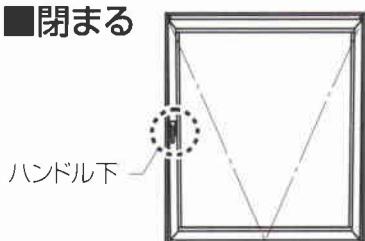
### ●内倒しのやり方

- ①ハンドルを閉から内倒し位置まで90°回してください。(ロック(施錠)が解除され、障子が開閉可能となります)障子を手前に引くと上部が開き内倒しになります。
- ②窓を閉めるときは、ハンドルを持って障子を押して閉めて必ずハンドルを締まるの位置まで回して施錠してください。

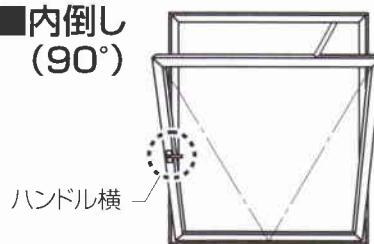
### ●内開きのやり方

- ③メンテナンスで内開きにするときは、障子をいったん閉めてハンドルを締まるの位置に戻してから、ハンドルの鍵を使って解除してください。
- ④ハンドルを閉から内開き位置まで180°回して障子を手前に引くと内開きになります。(障子はアームストッパーが働き90°でストップします)
- ⑤メンテナンスが終わりましたら必ずハンドルのキー操作を行い内倒し窓でご使用ください。

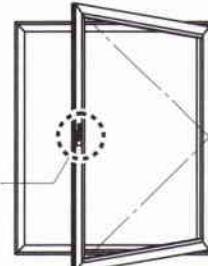
### ■閉まる



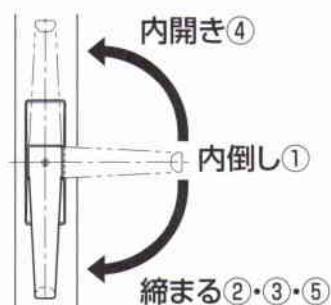
■内倒し  
(90°)



■内開き  
(180°)

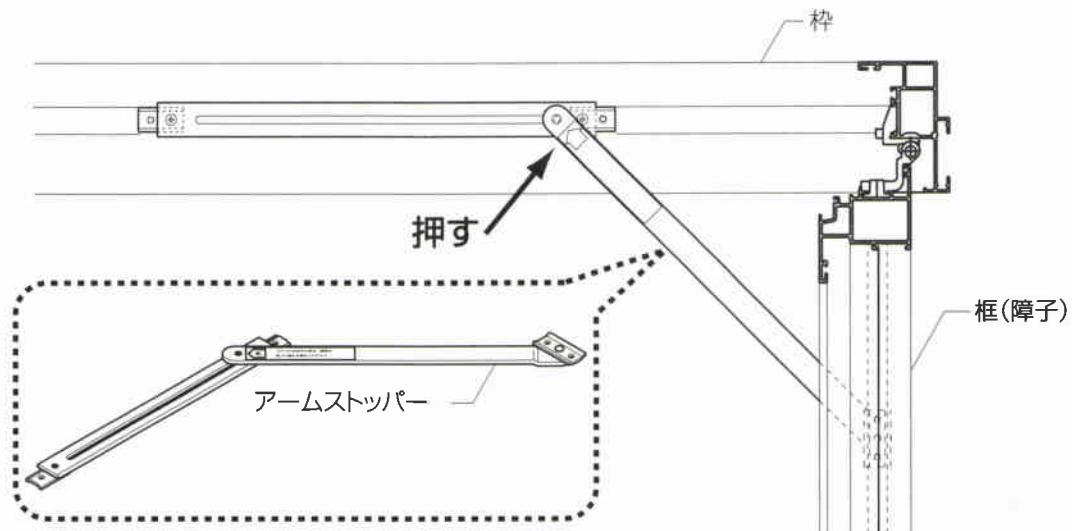


### ■ハンドル



## ■アームストッパー

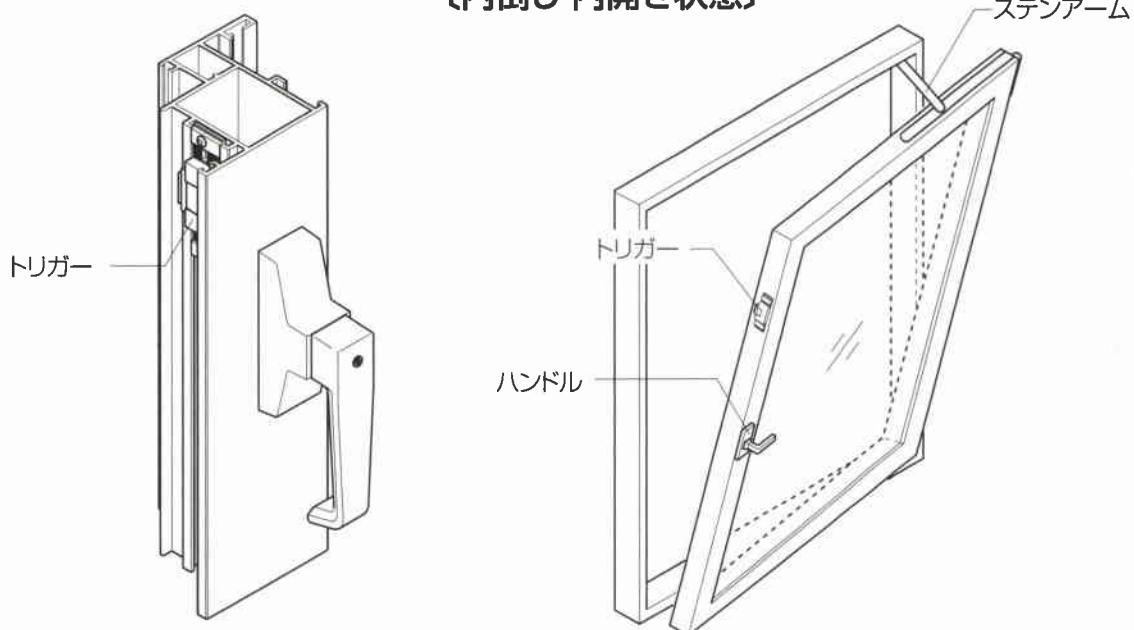
- 内開きで90°以上開かないようにする金具です。ストップを外すときは端部を押して障子を動かしてください。動きだしたらアームストッパーから手を離してください。



## ■トリガー(安全装置)

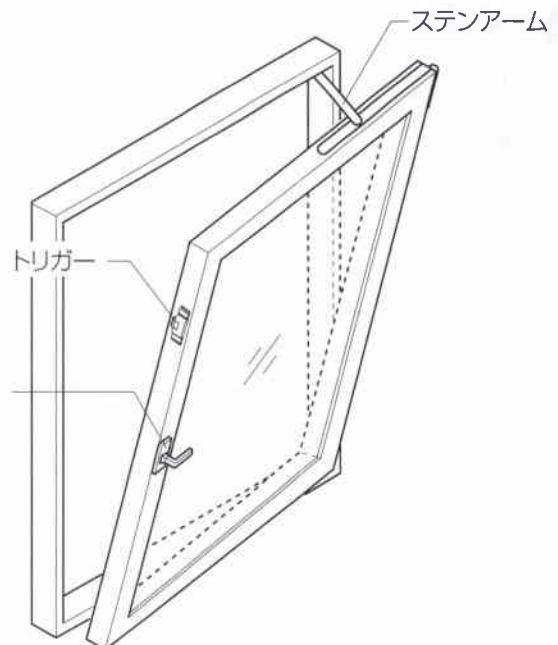
- 窓を開けているときに、ハンドルが回らないようにする装置です。
- 窓を開けているときは、トリガーに手をふれないでください。ふれながらハンドルを回すと、内倒し・内開き状態になり閉めづらくなります。

〔内倒し・内開き状態〕



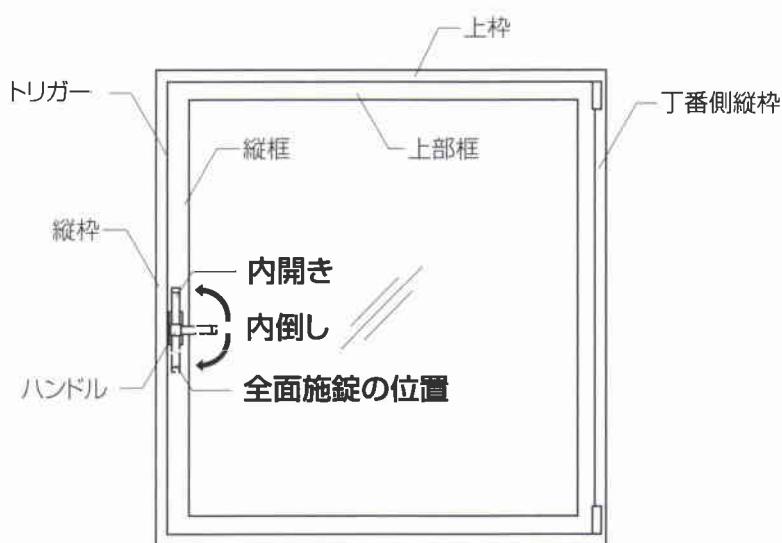
## ■内倒し・内開き状態の手直し方法

- ①現在の不具合の状態は、右図のようになっていると思われます。
- ②トリガーという部品が縦框上部に付いています。
- ※トリガーを矢印の方向に押してハンドルを操作してください。ハンドルが自由に回転します。ご確認ください。

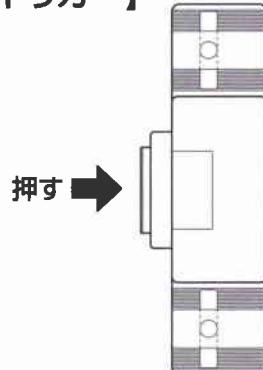


### 【内倒し・内開き状態】

- 内倒しと内開きが同時に作動し框(障子)が外れたようになります。



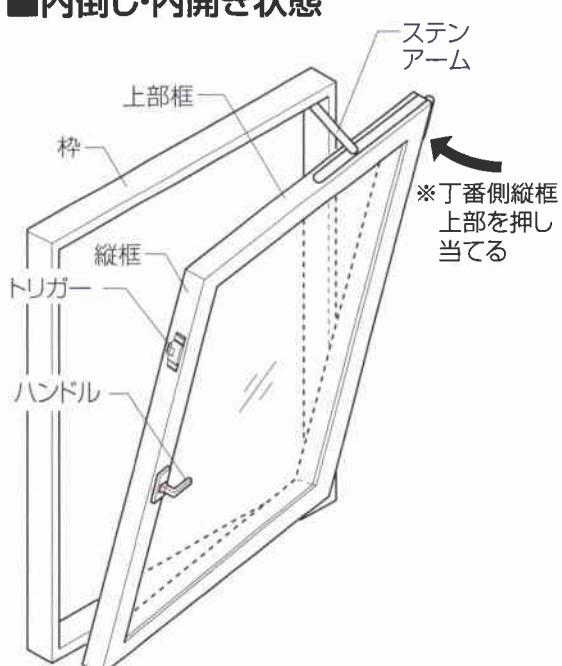
### 【トリガー】



③次に、トリガーを押しながらハンドルを横に90°回転させた後、丁番側縦框上部に手をそえて枠に押当ててください。

その状態のままトリガーを押しながらハンドルを垂直(180°)にします。この状態が、正規の『内開き』となります。

## ■内倒し・内開き状態



## ■内開き状態

※ステンアームが上部框と平行になるようにしてください。



# ブラインドインキップドリーの取扱い (ブラインド内蔵 内倒し内開き窓)

□レポールウインドー

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

### お願い

- 障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指をはさまないように、アームストッパーから手を離してください。手や指をはさみ、思わぬケガにつながるおそれがあります。

### ■ご使用上のお願い

- 窓を開けているときはトリガーに手をふれないでください。ふれながらハンドルを回すと内倒し・内開き状態になります。

### ■窓の開閉

- 換気を行う場合は内倒しで使用してください。内開きはメンテナンスのときのみ使用してください。

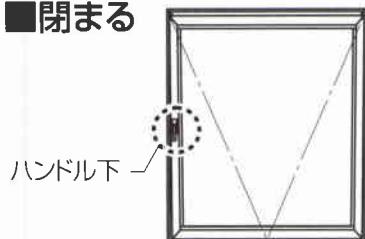
### ●内倒しのやり方

- ①ハンドルを閉から内倒し位置まで90°回してください。(ロック(施錠)が解除され、障子が開閉可能となります)障子を手前に引くと上部が開き内倒しになります。
- ②窓を閉めるときは、ハンドルを持って障子を押して閉めて必ずハンドルを締まるの位置まで回して施錠してください。

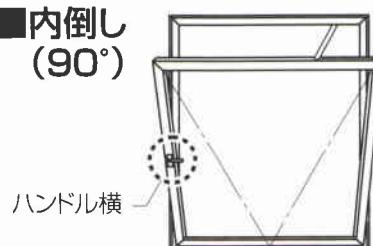
### ●内開きのやり方

- ③メンテナンスで内開きにするときは、障子をいったん閉めてハンドルを締まるの位置に戻してから、ハンドルの鍵を使って解除してください。
- ④ハンドルを閉から内開き位置まで180°回して障子を手前に引くと内開きになります。(障子はアームストッパーが働き90°でストップします)
- ⑤メンテナンスが終わりましたら必ずハンドルのキー操作を行い内倒し窓でご使用ください。

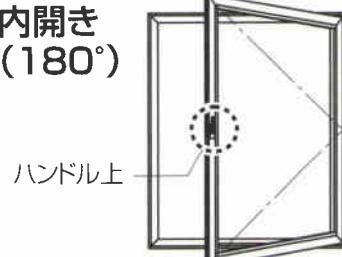
### ■閉まる



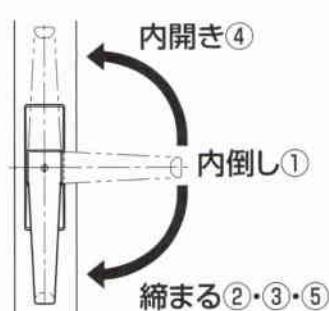
### ■内倒し (90°)



### ■内開き (180°)

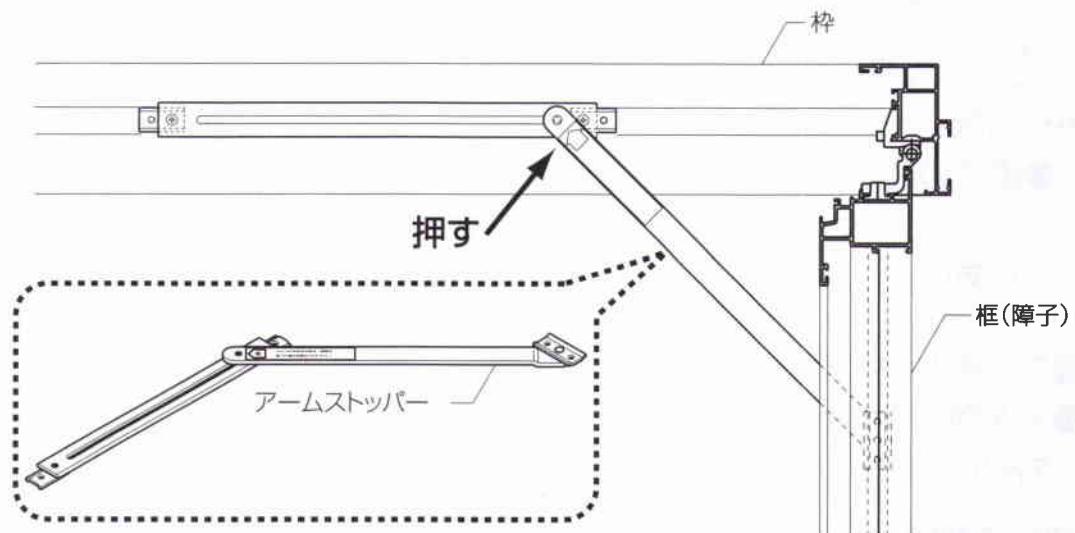


### ■ハンドル



## ■アームストッパー

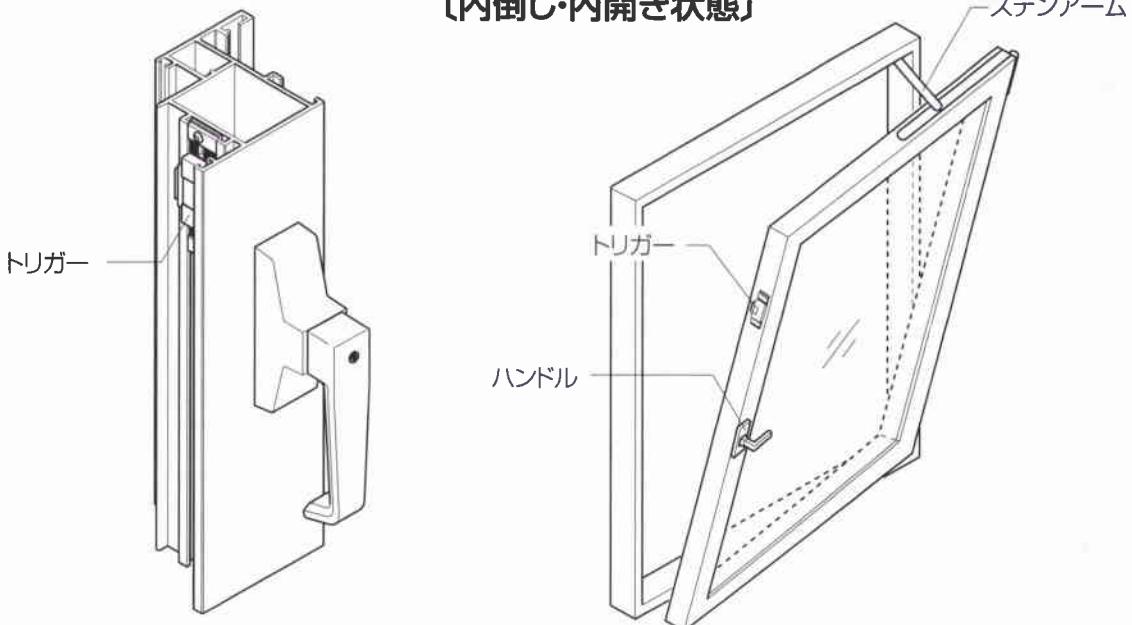
- 内開きで90°以上開かないようにする金具です。ストップを外すときは端部を押して障子を動かしてください。動きだしたらアームストッパーから手を離してください。



## ■トリガー(安全装置)

- 窓を開けているときに、ハンドルが回らないようにする装置です。
- 窓を開けているときは、トリガーに手をふれないでください。ふれながらハンドルを回すと、内倒し・内開き状態になり閉めずらくなります。

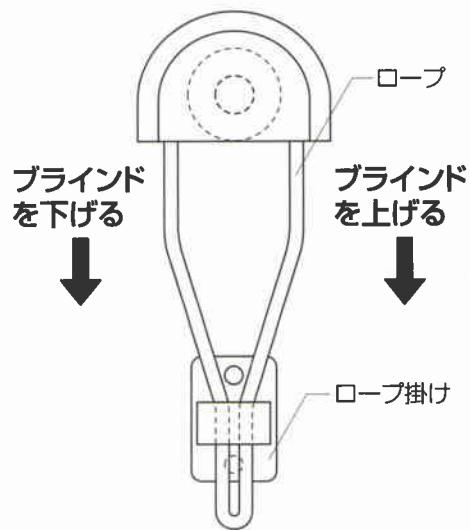
[内倒し・内開き状態]



- 内倒し・内開き状態の手直し方法は、キップドリーフェンスターの頁を参照願います。

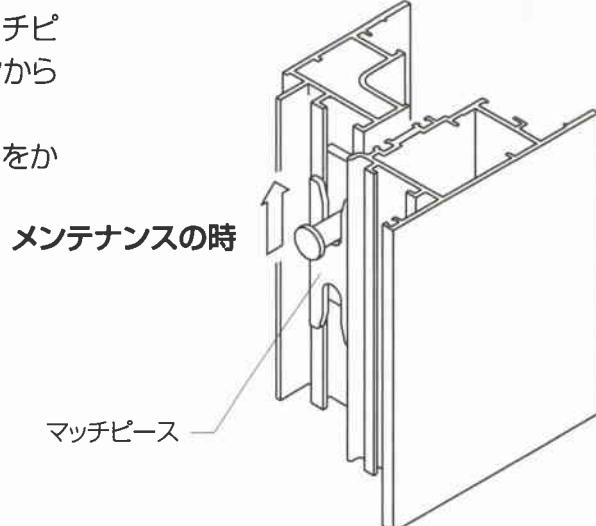
## ■ブラインドの操作

- ①ロープの右側を引けばブラインドは上昇し、ロープの左側を引けばブラインドは下降します。
- ②羽根の角度を調整するには、両方のロープを持って少しづつ、交互に引くと羽根が、開閉します。

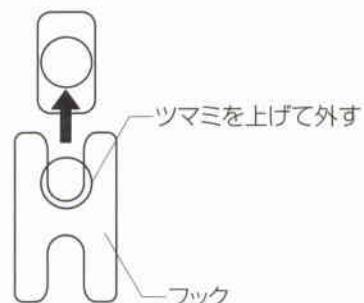


## ■メンテナンス時の内外障子の開閉

- ①障子を内開きにし、内外障子を止めているマッチピース(上下2個)のツマミを上に引上げて、フックから外すと内外障子が分かれます。
- ②作業がおわったら内外障子を閉じマッチピースをかけて固定します。



## ■マッチピース



# ブラインドインFIXの取扱い (ブラインド入り はめ殺し窓)

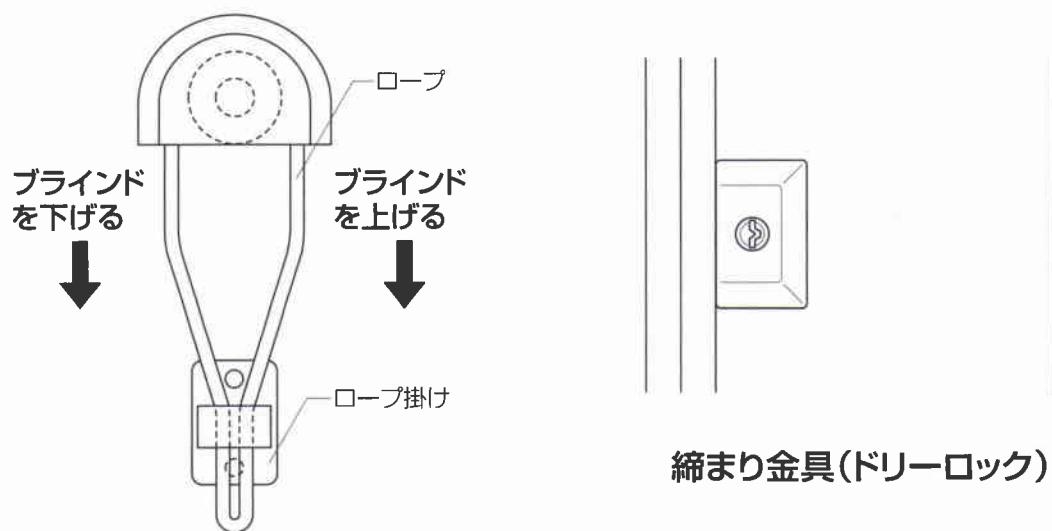
□レポールウィンドー

## ■ブラインドの昇降

- 操作ロープをロープ掛けから外し、右のロープを引くとブラインドは上がります。ブラインドの羽根の開閉は任意の位置でどちらかのロープを引くと羽根が回転します。好みの角度でロープをロープ掛けに固定します。

## ■内部ガラスの清掃及びブラインドのメンテナンス

- 内障子は内開きになっています。縦框に付いている締まり金具(ドリーロック)を、鍵を使って解除してください。縦框を手でつかんで、内側に開いてください。



# シュビングフェンスターの取扱い(大型横軸回転窓)

□レポールウインドー

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと、障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

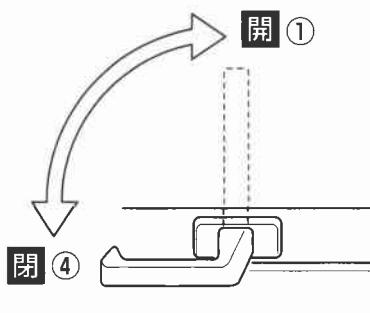
## ■ご使用上のお願い

- 障子を開けたときは必ず開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- 調整器の操作はハンドルをしっかり持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を反転したときは必ず反転防止ストッパーでロックしてください。突風によりあおられることがあります。

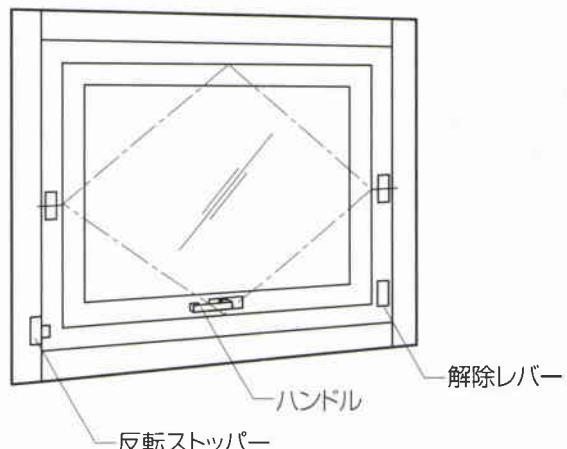
## ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除され、障子が回転可能になります。
- ②ハンドルを持って、障子を押出すようにして開くとアームストッパーが働き設定された角度で固定されます。
- ③障子を閉めるときはハンドルを持って障子を押さえながら、アームストッパーの解除レバーをつまんで障子を閉めてください。
- ④障子を室内側いっぱいまで引寄せた状態で、必ずハンドルを横向きに90°回して、ロックしてください。

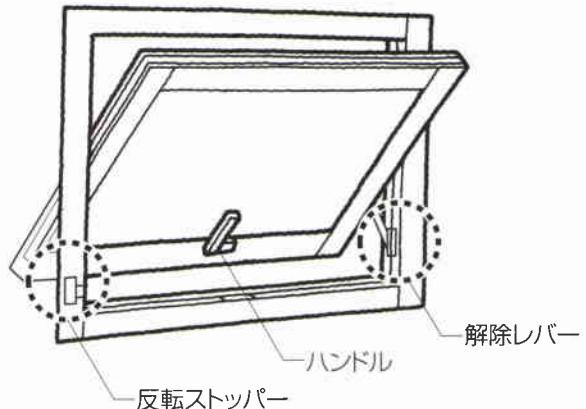
## ■ハンドル



## ■閉



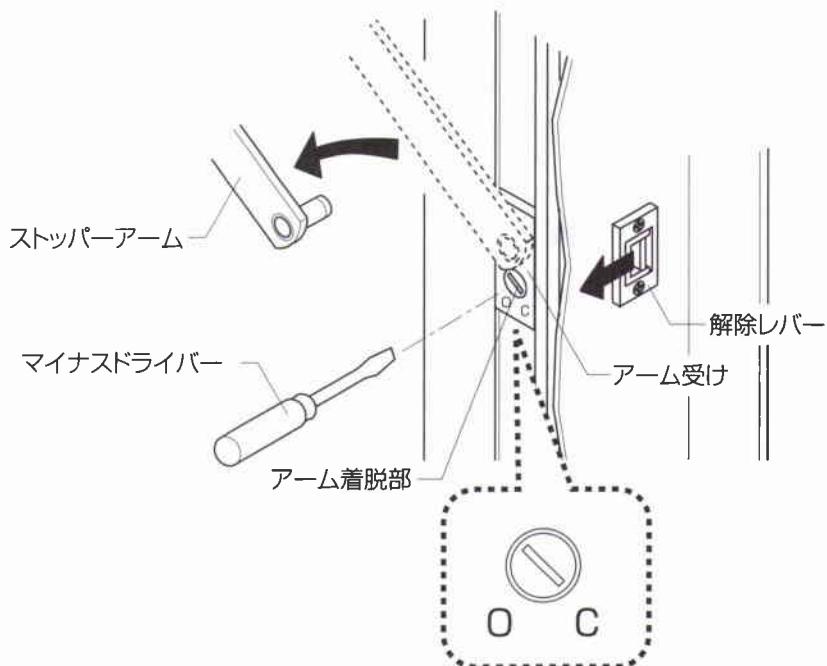
## ■開



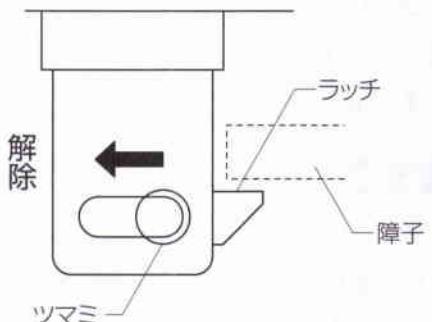
## ■清掃時の障子の反転

- ①アームストッパーが作動する位置まで障子を回転させます。
- ②アーム受のボタンを“O”に合わせ、ロックを解除し、アームを外します。
- ③障子を180°ゆっくり回転させ、反転ストッパーで固定します。  
※反転ストッパーに衝撃をあたえると破損することがあります。
- ④閉めるときは、反転ストッパーのツマミ固定を解除してください。
- ⑤障子を回転させ、アームをアーム受に入れてください。
- ⑥アーム受のボタンを“C”に合わせ、ロックします。  
※強風時には、風にあおられて危険ですので反転の操作はしないでください。

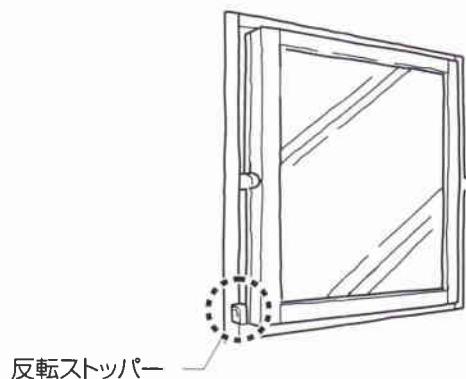
## ■ストッパーアーム



## ■反転ストッパー



## ■反転



□レポールウインドー

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと、障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

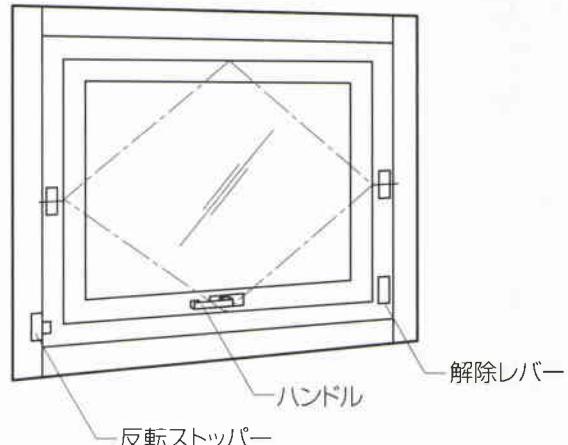
## ■ご使用上のお願い

- メンテナンス等で障子を分離させた後は、必ず障子下部のマッチピースでロックしてください。ロックしていないと障子の落下が発生するおそれがあります。
- 障子を開けたときは必ず開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- 調整器の操作はハンドルをしっかりと持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を反転したときは必ず反転防止ストッパーでロックしてください。突風によりあおられることがあります。

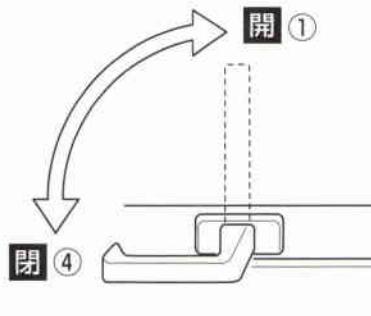
## ■障子の開閉

- ①ハンドルを上に90°回してください。ロックが解除され、障子が回転可能になります。
- ②ハンドルを持って、障子を押出すようにして開くとアームストッパーが働き設定された角度で固定されます。
- ③障子を閉めるときはアームストッパーの解除レバーをつまんで障子を閉めてください。
- ④障子を室内側いっぱいまで引寄せた状態で、必ずハンドルを横向きに90°回して、ロックしてください。

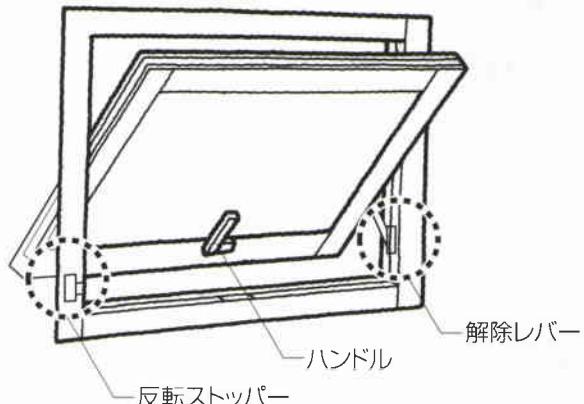
## ■閉



## ■ハンドル



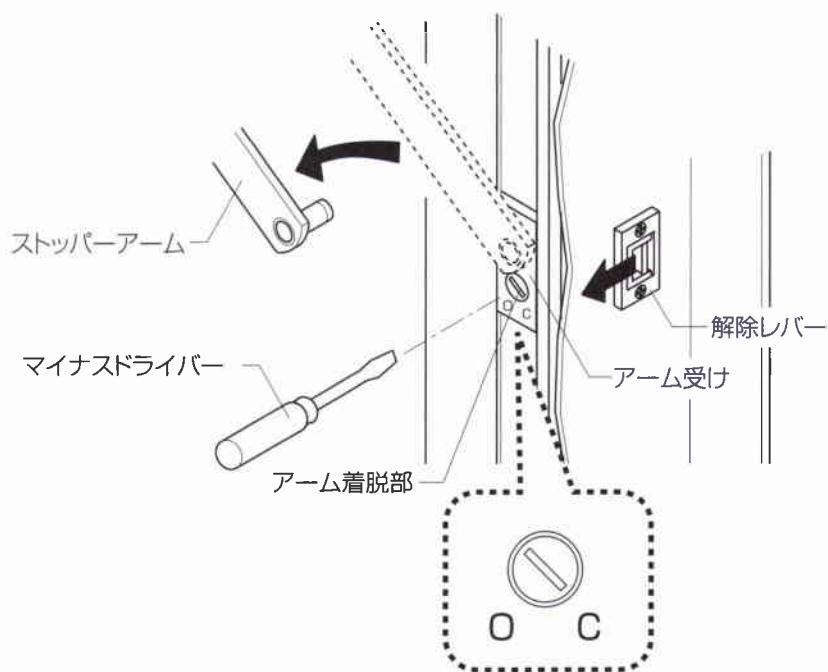
## ■開



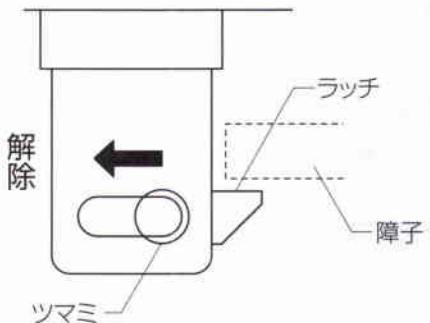
## ■清掃時の障子の反転

- ①ブラインドを上げてください。
- ②アームストッパーが作動する位置まで障子を回転させます。
- ③アーム受のボタンを“O”に合わせ、ロックを解除し、アームを外します。
- ④障子を180°ゆっくり回転させ、反転ストッパーで固定します。  
※反転ストッパーに衝撃をあたえると破損することがあります。
- ⑤閉めるときは、反転ストッパーのツマミ固定を解除してください。
- ⑥障子を回転させ、アームをアーム受に入れてください。
- ⑦アーム受のボタンを“C”に合わせ、ロックします。  
※強風時には、風にあおられて危険ですので反転の操作はしないでください。

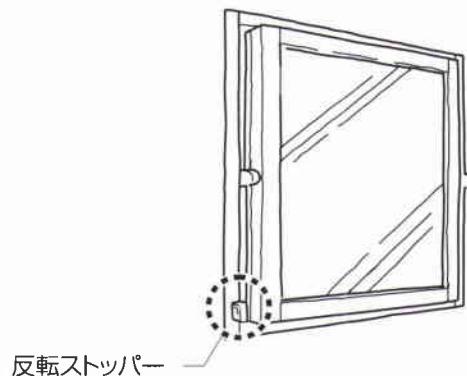
### ■ストッパーアーム



### ■反転ストッパー

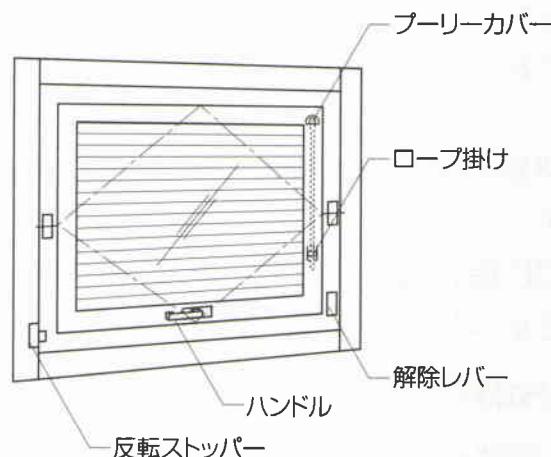
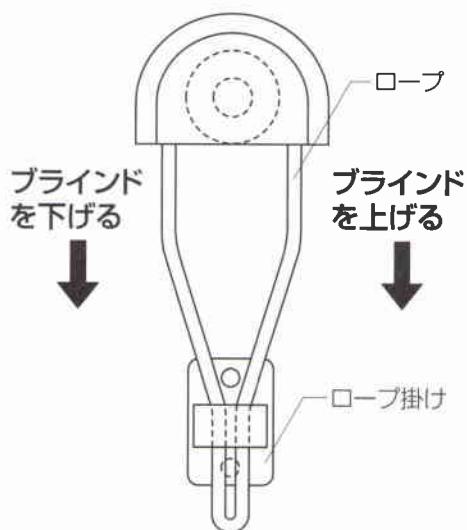


### ■反転



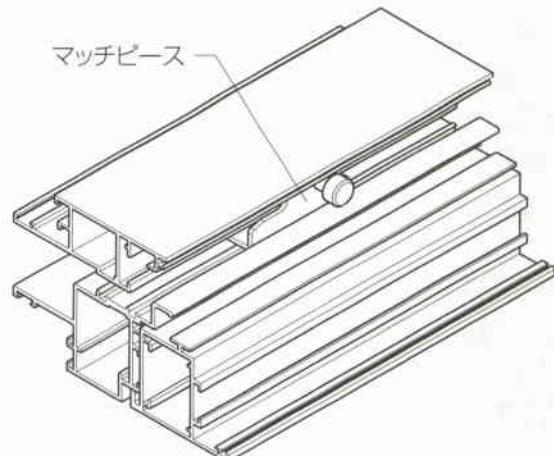
## ■ブラインドの操作

- ①操作ロープをロープ掛けから外し、右のロープを引くとブラインドは上昇し、左のロープを引けば降下します。
- ②羽根の角度を開閉するには、ブラインドを所定の位置まで下してから、両方のロープを持って少しづつ、交互に引くと羽根が、開閉するので好みの角度にして、ロープをロープ掛けにかけます。

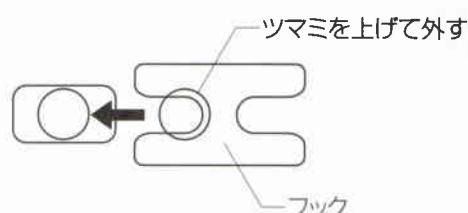


## ■メンテナンス時の内外障子の開閉

- ①障子を180°回転させ、反転ストッパーで固定します。
- ②障子下部のマッチピース(2~3個)のツマミを引いて左右に移動するとロックが解除されます。
- ③内側の障子を引上げて、外側の障子に付いているアームを内側の障子の受にかけて固定します。
- ④もとにもどすには内側の障子を固定しているアームを外し、障子を閉じます。
- ⑤障子下部のマッチピース(2~3個)のツマミを左右に移動すると、ツマミが上がりロックされます。
- ⑥反転ストッパーのツマミ固定を解除してください。



## ■マッチピース



# ベンチフェンスターの取扱い(たて軸回転窓)

□レポールウインドー

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

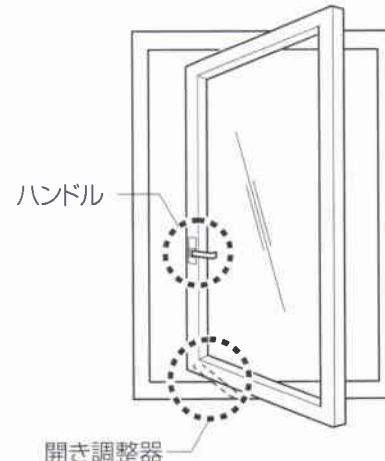
## ■ご使用上のお願い

- 障子を開けたときは必ず開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- 調整器の操作はハンドルをしっかり持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 非常用進入口は非常に消火活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時は閉鎖し、施錠してください。

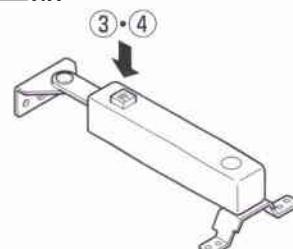
## ■障子の開閉

### ■開き調整器仕様のとき

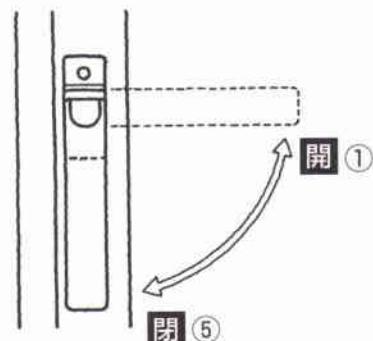
- ①ハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が回転可能になります。)
- ②ハンドルを持って押すと障子が開きます。(開き調整器が動き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)
- ※ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口で、障子が90°まで開くよう設定されています。
- ③さらに開く場合は、開き調整器の「押」を押し、開きます。
- ④障子を閉めるときは、開き調整器の「押」を押し動き出したら離し、障子を閉めます。
- ⑤障子を室内側いっぱいまで引寄せた状態で、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



### ■開き調整器



### ■ハンドル



# ブラインドインベンデフェンスターの取扱い (ブラインド内蔵 たて軸回転窓)

□レポールウインドー

## ▲注 意

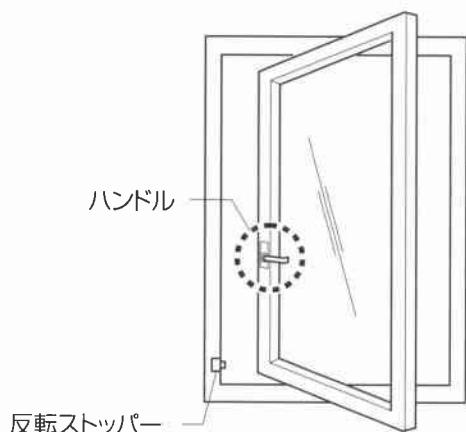
- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■ご使用上のお願い

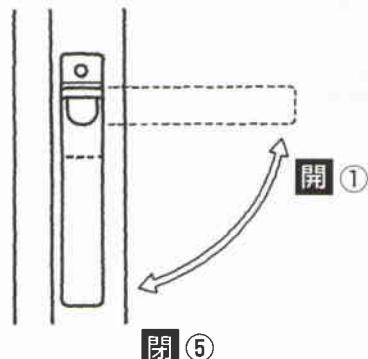
- 障子を開けたときは必ず反転ストッパーで障子を固定してください。突風により閉まる場合があります。

## ■障子の開閉

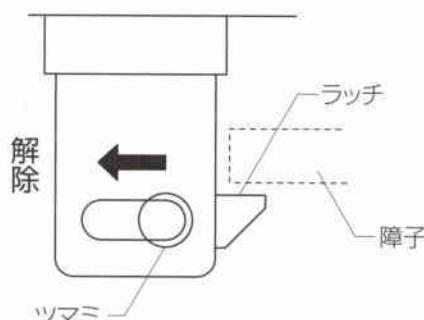
- ①ハンドルを上に90°回してください。(ロックが解除され、障子が回転可能になります。)
- ②ハンドルを持って押すと障子が開きます。
- ③180°回転させ、反転ストッパーで固定します。  
※反転ストッパーに衝撃をあたえると破損することがあります。
- ④障子を閉めるときは、反転ストッパーのツマミ固定を解除してください。
- ⑤障子を室内側いっぱいまで引寄せた状態で、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



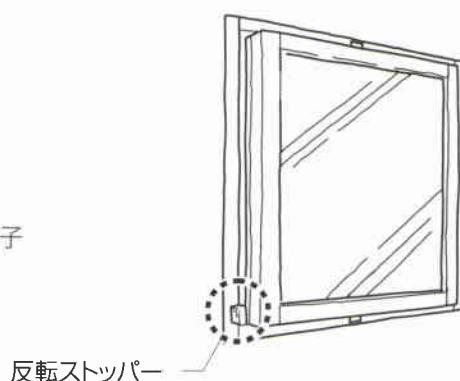
■ハンドル



■反転ストッパー

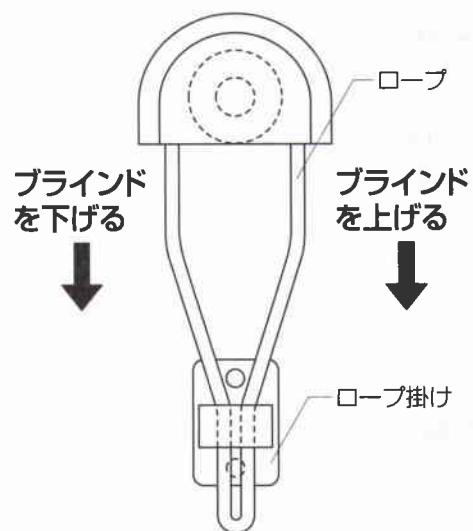


■反転



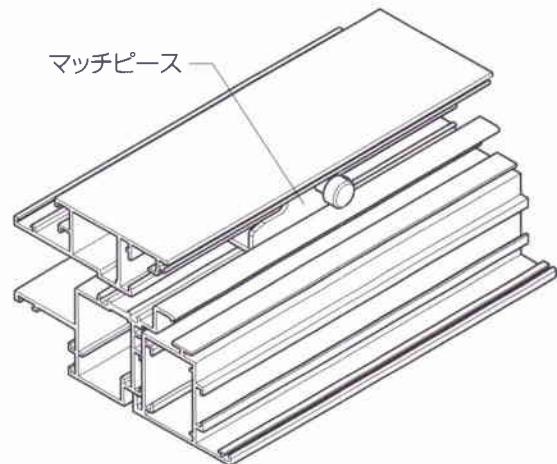
## ■ブラインドの操作

- ①操作ロープをロープ掛けから外し、右のロープを引くとブラインドは上昇し、左のロープを引けば降下します。
- ②羽根の角度を開閉するには、ブラインドを所定の位置まで下してから、両方のロープを持って少しづつ、交互に引くと羽根が、開閉するので好みの角度にして、ロープをロープ掛けにかけます。

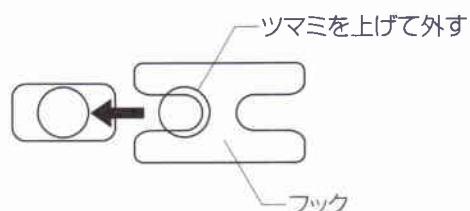


## ■メンテナンス時の障子の開閉

- ①障子を180°回転させます。
- ②障子下部のマッチピース(2~3個)のツマミを引いて左右に移動するとロックが解除されます。
- ③内側の障子を引上げて、外側の障子に付いているアームを内側の障子の受にかけて固定します。
- ④もとにもどすには内側の障子を固定しているアームを外し、障子を閉じます。
- ⑤障子下部のマッチピースを左右に移動すると、ツマミが上がりロックされます。



## ■マッチピース

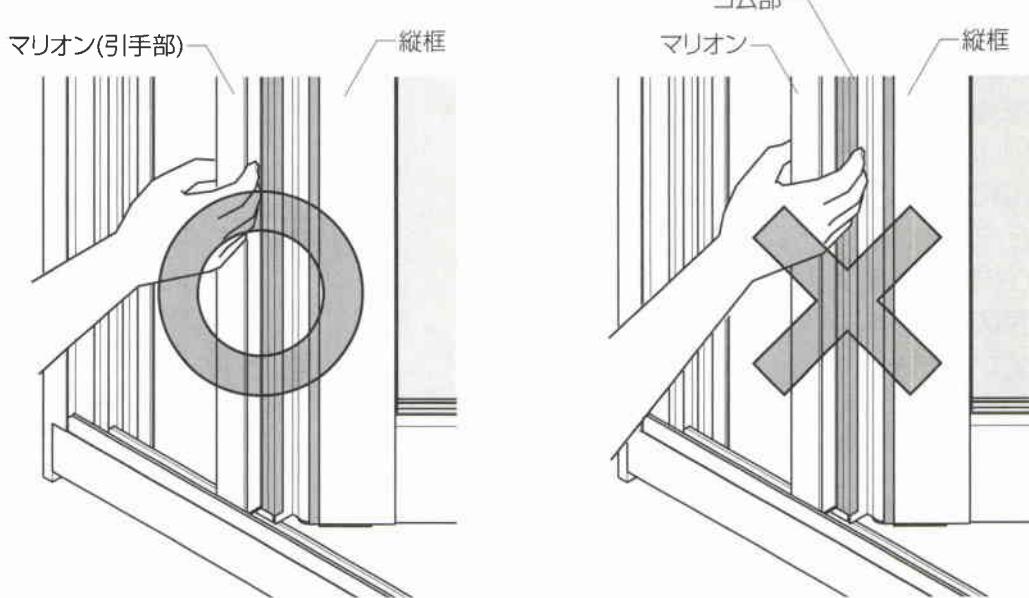


# ウイングオープンの取扱い

## □ウイングオープン

### ■ご使用上のお願い

- 扉を閉めるときは、マリオンと折戸縦框の間に指をはさまれないように、ゴム部から指をはなし、必ず引手部を持って扉を閉めてください。



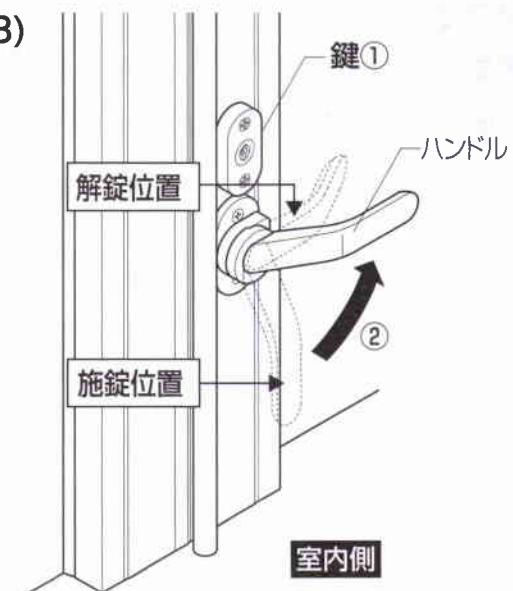
- 折戸が開いたときはストッパーをかけて、必ず固定してください。よりかかったりすると障子が不意に動いたりすることがあります。
- 折戸を開けたら人の接触、風などで折戸が閉まらないよう、ストッパーをかけて折戸を固定してください。
- 折戸を閉めたら人の接触、風などで折戸が開かないよう、必ず施錠して折戸を固定してください。
- 3枚建のドア部は外部ハンドル付きですので、防犯上必ず施錠してください。

## ■操作方法

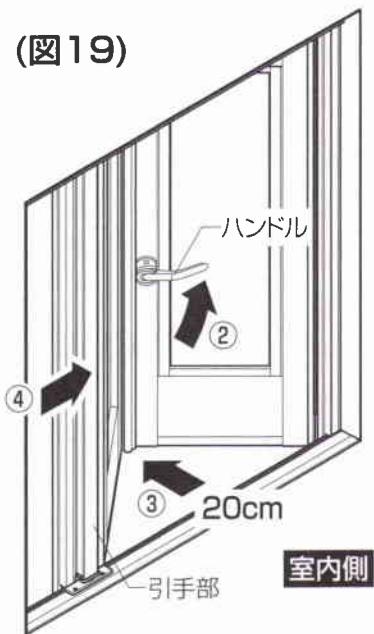
### 1 折戸を開けるとき

- ①鍵付きの場合、鍵で解錠します。
  - ②ハンドルを90°回します。(解錠位置)(図18)
  - ③20cmほど外へ押出します。(図19)
  - ④ハンドル部を持ってスライドさせ全開します。
  - ⑤ストップアーツマミを下げます。(図20)
  - ⑥折戸がうごかないことを確認します。
- \*折戸が開いている状態でハンドルを解錠位置から回そうとすると、安全装置が働いてハンドルが回らなくなりますので無理に回したりしないでください。破損や故障の原因になります。
- \*折戸を施錠しているとき以外は、ハンドルを必ず解錠位置にしてください。その他の位置で折戸の開閉を行うと、ハンドルや折戸が破損するおそれがあります。

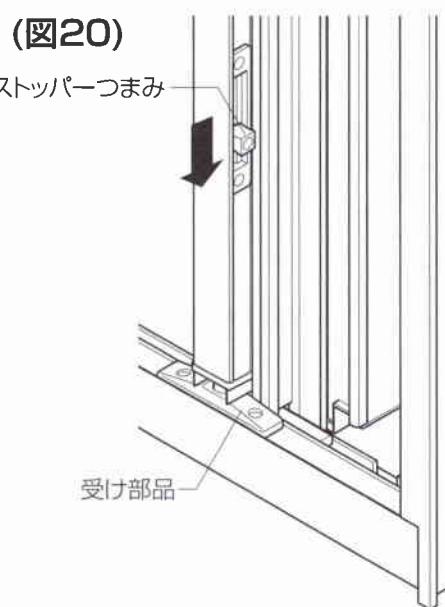
(図18)



(図19)



(図20)



### 【4枚建折戸の開け方】

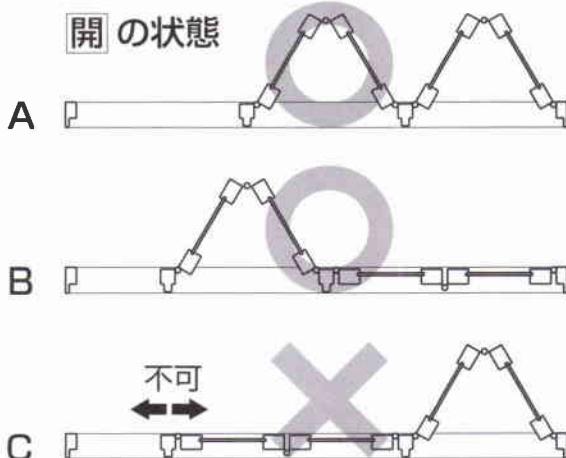
\*4枚建の折戸は右図A、Bのような開け方をご使用ください。Cのような開け方はしないでください。折戸が固定されないため、折戸が破損するおそれがあります。又、この状態で障子を左右に動かさないでください。折戸を破損するおそれがあります。(図21)

### 閉 の状態



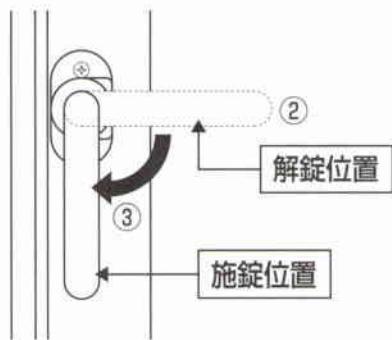
(図21)

#### 開 の状態



## 2 折戸を閉めるとき

- ①折戸のストッパーを上げてください。
- ②ハンドルを手前に引きます。(図22)
- ③ハンドルをそのまま下へ回し、ハンドルを垂直にします。  
※鍵付(オプション品)の場合は必要に応じて、その施錠をしてください。



(図22)

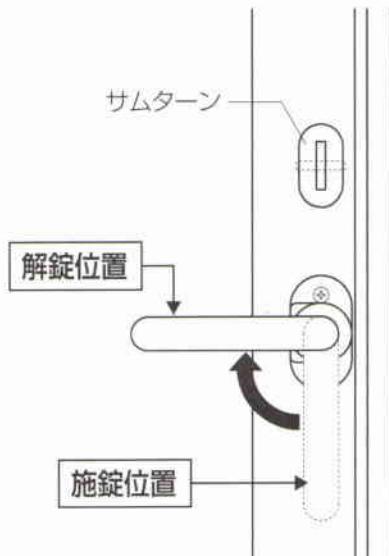


## 3 ドアを開けるとき

- ①サムターンを垂直にし解錠します。
- ②ハンドルを上に90°回してください。(解錠位置)

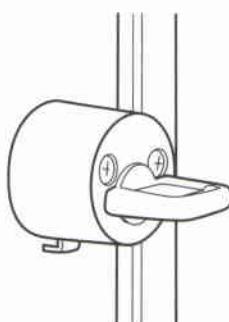
## 4 ドアを閉めるとき

- ドアを開けるときと逆の操作をして施錠します。



## 5 セキュリティサムターンの操作(オプション)

- 防犯のため、就寝時や外出時は、室内側のサムターンを取り外してください。
- 室内側に付いているサムターンは、ボタンを押すだけで簡単に取り外すことができます。万一ガラスを割られて外から手を入れられても、サムターンがないため鍵が開けられないシステムです。(なお、サムターンのキーで外部シリンドラーは操作できません)



サムターンが装着されている状態



シリンドラー下部のボタンを押すだけでサムターンを取り外せます。



サムターンを取り外した状態

## ■調整方法

※障子の上下調整及び開閉力の調整は引き渡し時に行っておりますが、使用中に変化してきた場合、下記要領に従って障子の調整を行ってください。

### ①障子の上下調整

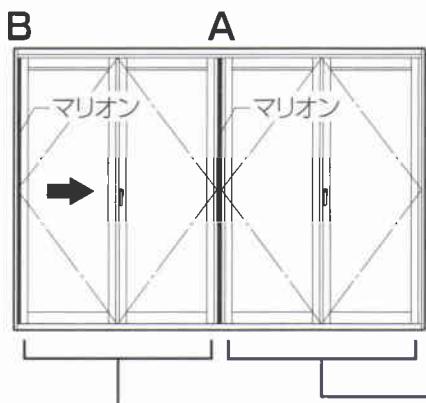
●マリオン上部の調整ねじを下記要領で回して上下調整してください。

### ②障子の開閉力調整

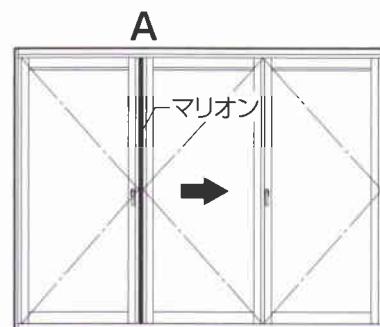
●マリオン上部の調整ねじを障子が下がる方向に回すと、折戸の開閉力が軽くなります。逆に障子を上げる方向にねじを回すと開閉力が重くなります。

※4枚建の調整はAのマリオンから調整してください。

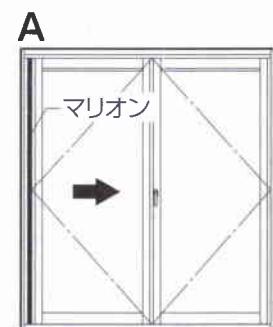
#### ●4枚建



#### ●3枚建



#### ●2枚建



※Bのマリオンを調整すると上記の障子の上下及び開閉力調整ができます。

※Aのマリオンを調整すると上記の障子の上下及び開閉力調整ができます。

### 【マリオンの調整】

●下枠と下桿及びガイド車がこすり合ってないかを確認してください。こすり合ってる場合は、マリオンを上げて調整します。

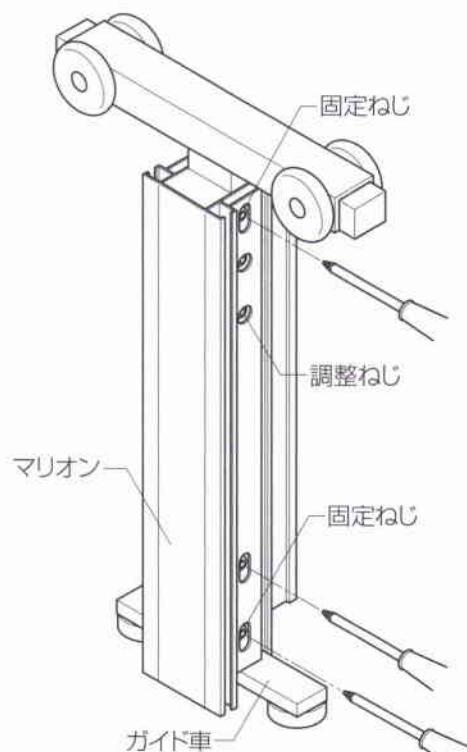
●調整方法はマリオン上部の上吊車の高さ調整シールに従ってください。

※固定ねじをゆるめてから調整します。位置決めの後、再度ねじをしめてください。

#### ■調整ねじ

※固定ねじをゆるめてから調整し位置決めの後再度ねじをしめてください。

マリオン  
下がる (+) マリオン  
上がる



### ③ドア閉じ速度調整

●閉じ速度は引渡し時に調整しておりますが、使用中に変化してきますので定期的な点検が必要です。

●速度調整区間は閉じ始めと閉じ終わりの2区間に分かれています。

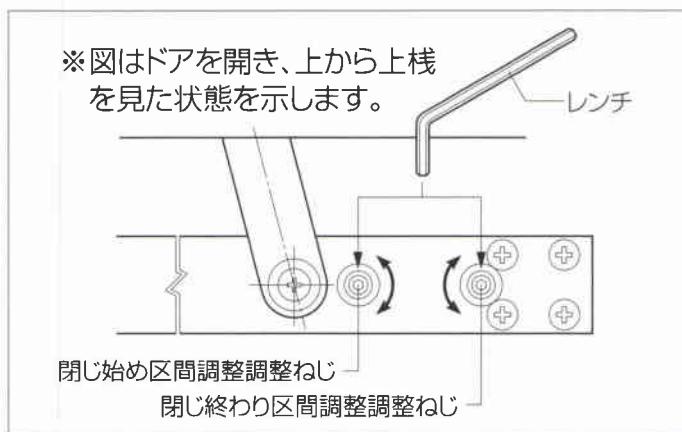
①閉じ始め区間を調整します。

②閉じ終わり区間を調整します。

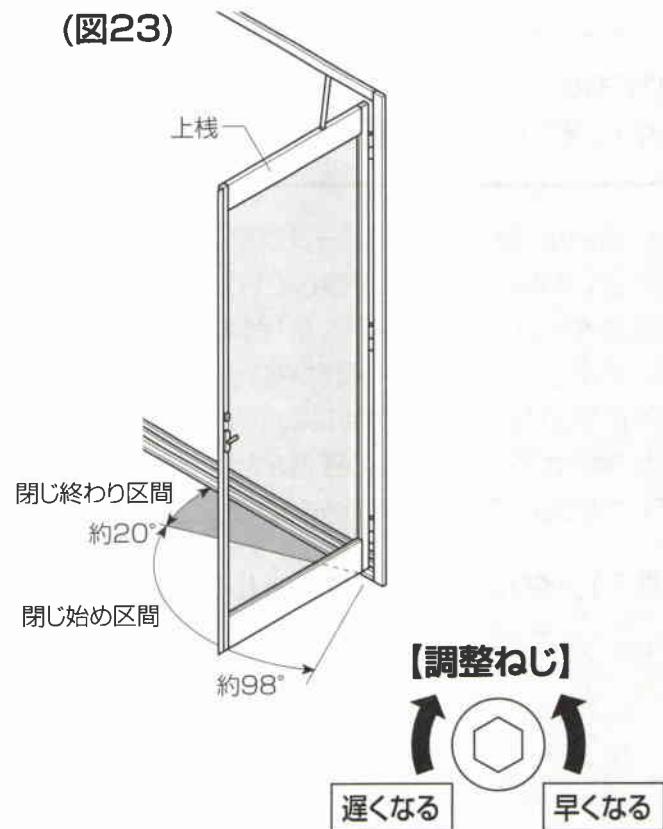
※調整は六角レンチ(付属)で調整します。

※速度調整ねじは3回転以上回さないでください。

※ドアクローザーはメーカー保証期間が2年になっております。



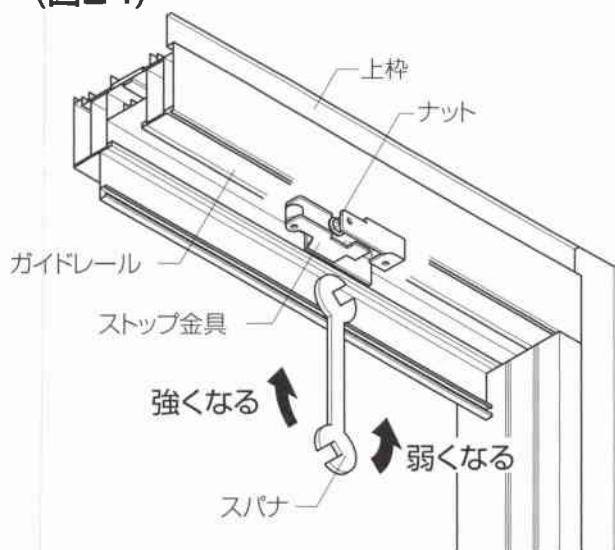
(図23)



### ④ストップ保持力調整

●ストップ保持力を調整したい場合は、ストップ金具のナットをスパナ(付属)で回転させます。

(図24)



### ⑤ストップ角度の変更方法

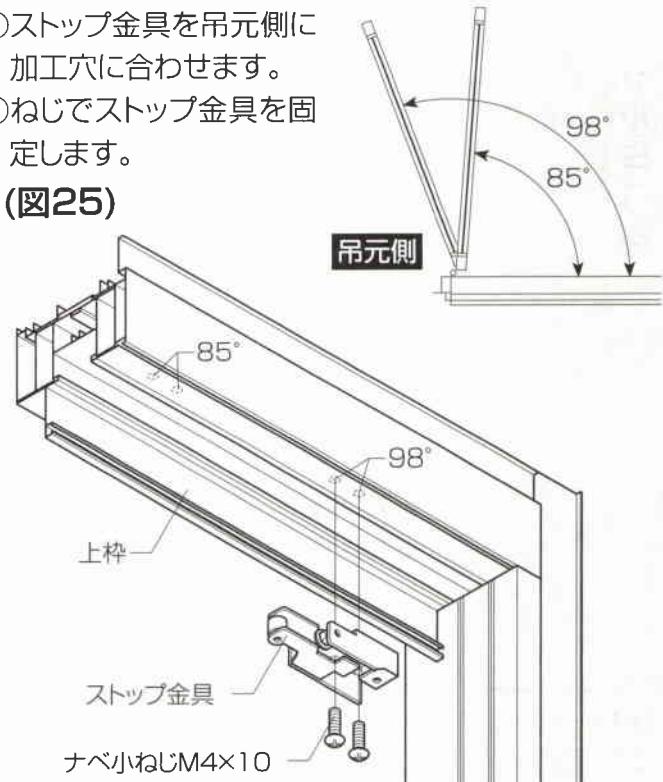
●開き角度は標準で85°に設定されています。ストップ金具を吊元側に移すと開き角度は98°に変更できます。

①ストップ金具のねじを外します。

②ストップ金具を吊元側に加工穴に合わせます。

③ねじでストップ金具を固定します。

(図25)



# カーテンウォールのメンテナンス方法

## □カーテンウォール

清掃はアルミニウム建材の汚れの程度及び表面の種類により異なりますが、その関係はおよそ(表1)のとおりであります。

よってそれに適した清掃方法及び洗剤を選ぶことが大切で実施にあたっては次のような注意が必要です。

- 1) 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金べらなどは使用しないでください。又、清掃時、小石、砂、金属片が用具に付着してもアルミニウム建具をキズ付けることがあります。
- 2) 酸性又はアルカリ性の洗剤(例えば塩酸、硝酸、タイル洗浄剤、か性ソーダなど)は一時的に汚れがよく取れるように見えますが、腐食や変色を起こしますので使用をさけてください。
- 3) 市販のクリーナーの中には、アルミニウムを腐食させるものがありますので注意してください。
- 4) 清掃はアルミニウムの圧延または押出しによる筋目方向にそって行うときれいにできます。
- 5) 中性洗剤の使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分をふきとってください。

表1)メタルカーテンウォールの汚れの程度とメンテナンス方法

種別	汚れの程度	軽い	ひどい	著しくひどい (汚れが著しく腐食(点食)を含む)
アルミニウム	陽極酸化皮膜	<p>①除去しやすい汚れの場合 ※洗剤の使用を避け清水拭きをする。 ブラッシング→清水拭き→乾布で空拭き。</p> <p>②落ちない汚れの場合 ※中性洗剤(注1)を使用する。 洗剤(1~2%希釈液)拭き→清水拭き→乾布で空拭き。(洗剤分の残留のないよう十分に配慮)</p>	<p>※中性洗剤、ナイロンパッド(注2)を使用する。 ブラッシング→洗剤塗布→ナイロンパッドでこすり洗い(圧延方向に従う) →拭きとり→清水拭き→乾布で空拭き。 (洗剤分の残留のない様十分に配慮)(材質保全のために表面保護膜剤の使用がよい)</p>	<p>※中性洗剤、ナイロンパッド、表面保護膜剤(注3) ※酸化皮膜促進剤(注4)を使用する。(要技術) ブラッシング→洗剤塗布→ナイロンパッドでこすり洗い(圧延方向に従う)→汚れ、腐食生成物の除去まで数回繰り返す→拭きとり→清水拭き→保護膜剤又は、酸化皮膜促進剤の塗布→乾布で空拭き。</p>
	塗膜	<p>①除去しやすい汚れの場合 ※洗剤の使用を避け清水拭きをする。 やわらかい布で表面のほこりの除去→清水拭き→やわらかい乾布で空拭き。</p> <p>②落ちない汚れの場合 ※中性洗剤を使用する。 (洗剤分の残留に注意)</p>	<p>※中性洗剤、スポンジを使用する。 柔らかい布で表面のほこりの除去→洗剤塗布→スポンジでこすり洗い→拭きとり→清水拭き→やわらかい乾布で空拭き(溶剤系洗剤クリーナーの使用は不可、洗剤分の残留に注意)</p>	<p>※中性洗剤、ナイロンパッド、水ペーパー(注5)を使用する(要高技術)。 洗剤塗布→ナイロンパッドでこすり洗い→水ペーパー掛け→汚れ、腐食生成物の除去まで数回繰り返す→清水拭き→シンナー拭き(脱脂)→乾布で空拭き→防錆→表面塗装</p>

(注1)PH7の洗剤

(注3)市販数種仕様に従う

(注2)スコッチブライト(グリーン又はブラウン)

(注4)アルミン仕様に従う (注5) #600

種別	汚れの程度	軽い	ひどい	著しくひどい (汚れが著しく腐食(点食)を含む)
ステンレス		<p>①除去しやすい汚れの場合 乾布で空拭き、又は清水拭き→乾布で空拭き。</p>	<p>表面にさびが生じてる場合 ※中性洗剤又は薬液ナイロンパッドを使用する。 清水拭き→洗剤又は薬液塗布→ナイロンパッドでこすり洗い(研磨方向に従う)→拭きとり→清水拭き→乾布で空拭き。 (薬液がアルミ等にかかるぬよう注意)</p>	<p>①表面にさびが固着し黄褐色に変色してする場合 ※洗剤(PH6~PH9)又は薬液、炭酸カルシウム(200メッシュ以下)を使用する。洗剤又は薬液に炭酸カルシウムを加えナイロンパッドで研磨に従いこする→拭きとり→清水拭き→乾布で空拭き。</p> <p>②鉄さびが付着してさびが生じてる場合 硝酸(15%~20%希釀液)で拭きとる。効果のない時は弗化水素酸(0.5~1%)を加え洗浄する。(ゴム手袋使用、水洗いを十分行う、養生に注意)</p>
スチールのホーロー塗膜		アルミニウム塗膜と同じ。		

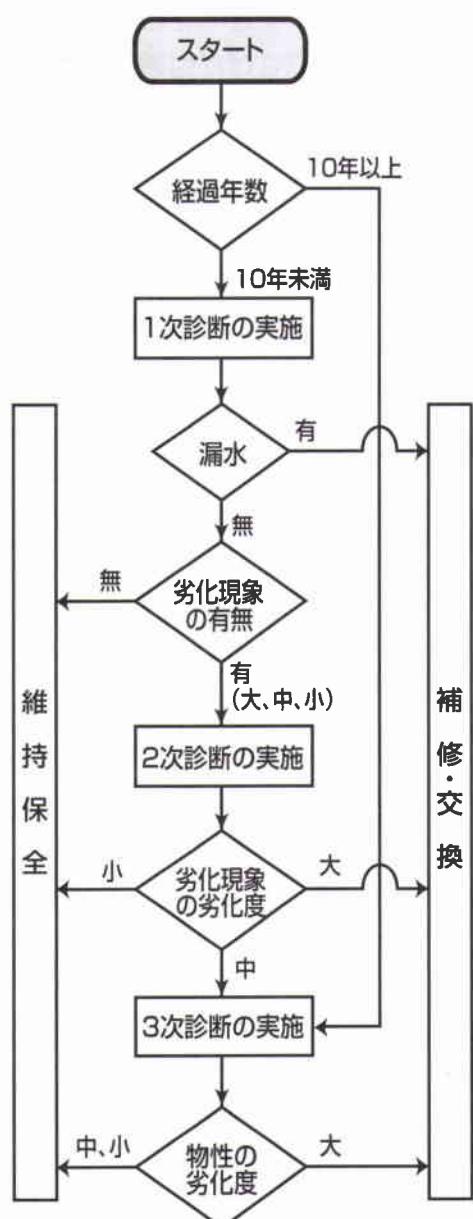
# メタルカーテンウォールのシーリングのメンテナンスについて

シーリング材とは、各種の部材間の接合部や隙間(総称して目地と呼ぶ)に充てん又は、装着して目地に水密・気密を付与する外、ガラスなどに対しては固定する働きを有する材料です。

シーリング材は、建築物の防水材料である以上、その機能は長期的に維持させなければなりません。又、同時に建築意匠上の観点から、美観を損なうようなことが、生じてはなりません。しかし、特に外装用の場合、紫外線、温度、水分などの影響を直接長期間受けることになり、劣化は免れません。

シーリング材の劣化判定基準は、下記の「劣化診断のフロー」と「調査項目ごとの劣化度の分類」を参考に、シーリングの検査と補修をお奨めいたします。

## ■劣化診断のフロー



## ■調査項目ごとの劣化度の分類

調査項目	劣化度			
	大	中	小	
防水機能関連項目	漏洩又はその痕跡	あり	—	なし
	シーリング材の被着面からの剥離	深さの1/2以上 又は深さ5mm以上	深さの1/4~1/2 又は深さ2~5mm	深さの1/4未満 又は深さ2mm未満
	シーリング材の破断(口開き)	厚みの1/2以上 又は深さ5mm以上	厚みの1/4~1/2 又は深さ2~5mm	厚みの1/4未満 又は深さ2mm未満
	被着体の破損(ひびわれ、欠落)	ひびわれ幅は0.3mm以上	同左 0.1~0.3mm	同左 0.1mm未満
	シーリング材の変形(だれ、くびれ)	凹凸が厚みの1/2以上又は深さ5mm以上	凹凸が厚みの1/4~1/2又は深さ2~5mm	凹凸が厚みの1/4未満又は深さ2mm未満
	シーリング材の軟化	指先にきわめて多量に付着	指先かなり付着	指先にわずかに付着
意匠関連項目	しわ	凹凸の深さ1~2mm	同左0.5~1mm	わずかに波打っている
	変色	変色がきわめて著しい	変色がかなり認められる	変色がわずかに認められる
	ひびわれ	ひびわれ幅は1~2mm	同左0.5~1mm	同左0.5mm未満
	チヨーキング	指先に粉末がきわめて多量に付着する	指先に粉末がかなり付着する	指先に粉末がわずかに付着する
	仕上材の浮き、変色	剥離や変色が認められる	ひびわれ、浮きがあるやや変色している	左の現象が軽微である

# 既存シーリング材の種類判定方法の目安

判定項目 シーリング 材種類	外観状態			切取後の試片の状態			燃焼テストの状態(試片)		
	シーリング材表面		目地周辺 の汚れ方	硬さ 柔軟性	内部気泡 の状態	臭い	燃え方	燃え力ス	臭い
	目 視	指 触							
シリコーン系	ゴミの付着が多い	指触でゴミの付着が取れきれない面	目地の上下左右共ゴミの付着による汚れ大	柔らかく柔軟性が大(2成分形)	内部気泡はほとんど見られない	ほとんど感じられない	白い煙を出して燃える	白色の粉が残る	パラフィン(ローソク)の燃えた臭いと同じ
	表面に凹みが目立つ	つるつるする		硬いが弾力性がある(1成分形)			比較的燃えにくい炭火のようになる	燃えてない周辺も白くなる	
変成シリコーン系	ゴミの付着が多い	指触でゴミが取れない	目地周辺の汚れはほとんどないが、場合によっては目地下に筋状の汚れ	柔らかく柔軟性が大	内部気泡はほとんど見られない	ほとんど感じられない	煙のない炎でよく燃える	黒っぽい燃え力スが残る	パラフィン(ローソク)の燃えた臭いと同じ
	表面の凹みは少ない	タックがある		切断面がべとべとする			炎は赤黄色	指にべとつく	
ポリサルファイド系	ゴミの付着が非常に少ない	タックが全くない	目地周辺の汚れが全くない	比較的硬めの弾力性がある	比較的内部に細かい気泡がある	ほとんど感じられない	煙のない炎で燃える場合と黒い煙で燃える場合がある	灰は白いが、燃え力スは指にべとつく	硫黄化合物独特のくさい臭いがある鼻につんとくる硫化水素、硫黄泉などの臭い
	表面に凸凹がみられる	指触で硬めの弾力性がある		切断面にタックがない					

シーリング 材種類	外観状態			切取後の試片の状態			燃焼テストの状態(試片)		
	シーリング材表面		目地周辺 の汚れ方	硬さ 柔軟性	内部気泡 の状態	臭い	燃え方	燃え力ス	臭い
	目 視	指 觸							
ポリウレタン系	初期段階ではごみの付着があるが、長期ではゴミが取れる表面にひび割れが目立つ	指触でチヨーキングにより指に粉がつく 長期ではタックがとれる	目地周辺の汚れはほとんど見られない	柔らかいが弾力性がある 長期では軟化したもの硬化したものがある	内部気泡は比較的多い 発泡している場合もある(ふくれ)	ほとんど感じられない	煙のない炎で燃える 燃える前に溶けて泡が出る 消えると白い煙が出る	白くなり、ざらざらの粉が残る 粉の内部は黒い	パラフィン(ローソク)の燃えた臭いと同じ
アクリル系	表面はほとんど仕上げ塗材が施工されている	表面はほとんど仕上げ塗材が施工されている	目地周辺の汚れは全くない	白色系が多い ゴム弹性がなく比較的硬い	内部気泡はほとんどない	かわった臭いが少しする(アクリルモノマーの臭い)			
油性コーキング系	ゴミの付着がある しわがある	押すと凹んで表面に皮膜があるが、内部は柔らかい	目地周辺に油じみがあり、そのため汚れもある	表面から数mmに皮膜があり、内部(奥)は比較的柔らかい	内部気泡はほとんどない(分からな)	油の臭いがする			

□カーテンウォール

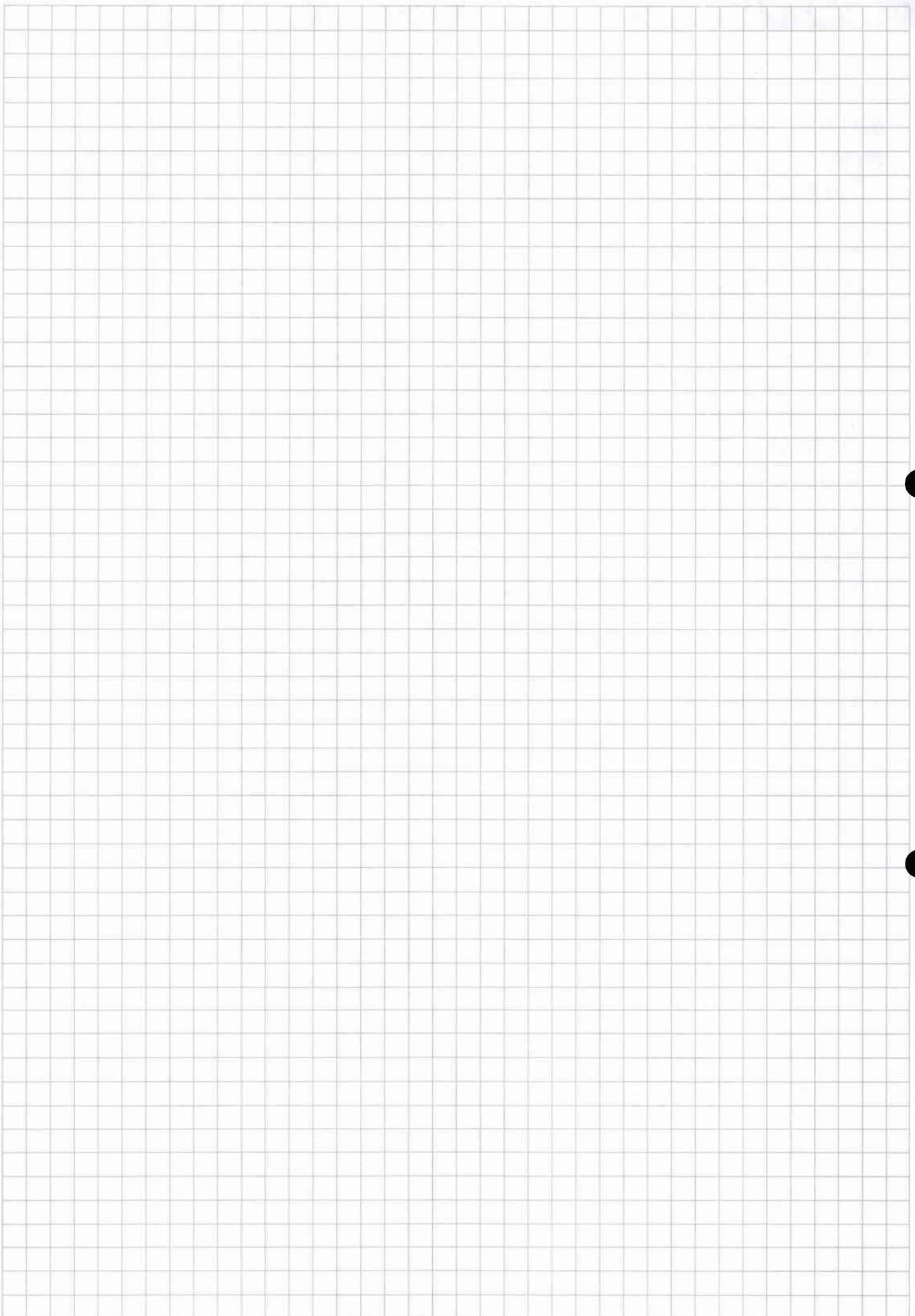
### ■お手入れ時のお願い

- 長尺セラミックタイルの清掃は基本的に不要ですが、汚れがひどい場合には、清掃用具や洗浄剤をえらんで清掃する必要があります。

又、テラコッタカーテンウォールは、アルミニウム合金製カーテンウォールの表面に長尺セラミックタイルを取付けている構造となっているため、タイル洗浄剤で清掃した場合にはアルミニウムが腐食や変色をおこす場合がありますので、清掃方法については「カーテンウォールのメンテナンス方法(種別:アルミニウム)」に準じておこなってください。

- セラミックタイルは金属などのような靱性材料と異なり、強い衝撃に対して割れることがありますので、清掃の際には強い衝撃をあたえないでください。(飛散防止の対策は施していますが、割れ方によっては小片が落下するおそれがあります。)ひび割れなどをそのまま放置しておくと、美観上の問題や、割れ方によっては小片の落下の危険性もありますので、定期的かつ計画的なメンテナンスをおすすめします。

- 1)清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールワール、金べらなどは使用しないでください。又、清掃時、小石、砂、金属片が用具に付着しても長尺セラミックタイルをキズ付けることがあります。
- 2)酸性又はアルカリ性の洗剤(例えば塩酸、硝酸、タイル洗浄剤、か性ソーダなど)はアルミニウムに付着すると、腐食や変色を起こしますので使用をさけてください。
- 3)市販のクリーナーの中には、アルミニウムを腐食させるものがありますので注意してください。
- 4)清掃はセラミックタイルの長手方向にそって行うときれいにできます。
- 5)中性洗剤の使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分をふきとってください。



トステム社商品に関する商品相談は  
**お客様相談室**

**0120-126-001**

Tel 03-3638-8181 Fax 03-3638-8447

●受付時間……月～金 9:00～18:30 土・日・祝 9:00～18:00

●外壁材商品に関する商品相談は……旭トステム外装(株)サービスデスク

Tel 03-5638-5117 ナビダイヤル0570-001-117

'06年11月23日現在

■ ご用意は

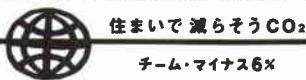


トステム株式会社

本社 〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1

ホームページ <http://www.tostem.co.jp>

トステムはチーム・マイナス6%に参加しています。



商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。商品の色は、印刷の特性上、実物とは多少違うことがありますのでご了承ください。

